

設置の趣旨等を記載した書類（資料）

【目次】

- 資料1 高等学校通信教育の現状について
- 資料2 通信制高校の生徒数
- 資料3 通信制高等学校を取り巻く現状・課題
- 資料4 通信制高等学校の数
- 資料5 中学卒業から直接通信制高校に進学した生徒数
- 資料6 通信制高校に通う15歳の生徒数と全体に占める比率
- 資料7 N/S高等学校の生徒数の推移
- 資料8 高等学校から通信制大学・短期大学への進学者数
- 資料9 職業別通信大学在籍者
- 資料10 世界と比較した日本の現在の大学進学率
- 資料11 都道府県別大学進学率
- 資料12 大学進学による人口移動
- 資料13 世帯収入と高校生の進路の相関
- 資料14 居住形態別の学生生活費
- 資料15 大学進学率男女差
- 資料16 地域格差に関する先行研究レビュー
- 資料17 米国アリゾナ州立大学の事例
- 資料18 2015年社会階層と社会移動調査研究会による調査
- 資料19 大学進学を希望しない理由
- 資料20 2040年に必要とされる人材と高等教育の目指すべき姿
- 資料21 世界のインターネット利用率
- 資料22 基盤的リテラシーについて
- 資料23 将来の職業において必要とされるスキル

- 資料24 高等教育における国立大学の将来像
- 資料25 社会の変化の中で必要とされる人材像
- 資料26 日本のChatGPT利用動向
- 資料27 AIツールの授業における利用について（ver. 1.0）
- 資料28 大学・高専における生成AIの教学面の取扱いについて
- 資料29 オンライン教育の現状と課題
- 資料30 カリキュラム・ツリー
- 資料31 3つのポリシー対応表
- 資料32 カリキュラム・マップ
- 資料33 学びの選択肢の段階的広がり
- 資料34 ZEN大学の学びの全体像の簡易図
- 資料35 オンライン受講システムZEN Study機能概要
- 資料36 履修モデル
- 資料37 単位認定試験システム機能概要
- 資料38 学修成績管理システム機能概要
- 資料39 正職員（教員）就業規則
- 資料40 定年の特例に関する規程
- 資料41 図書リスト
- 資料42 プロジェクト実践：授業概要

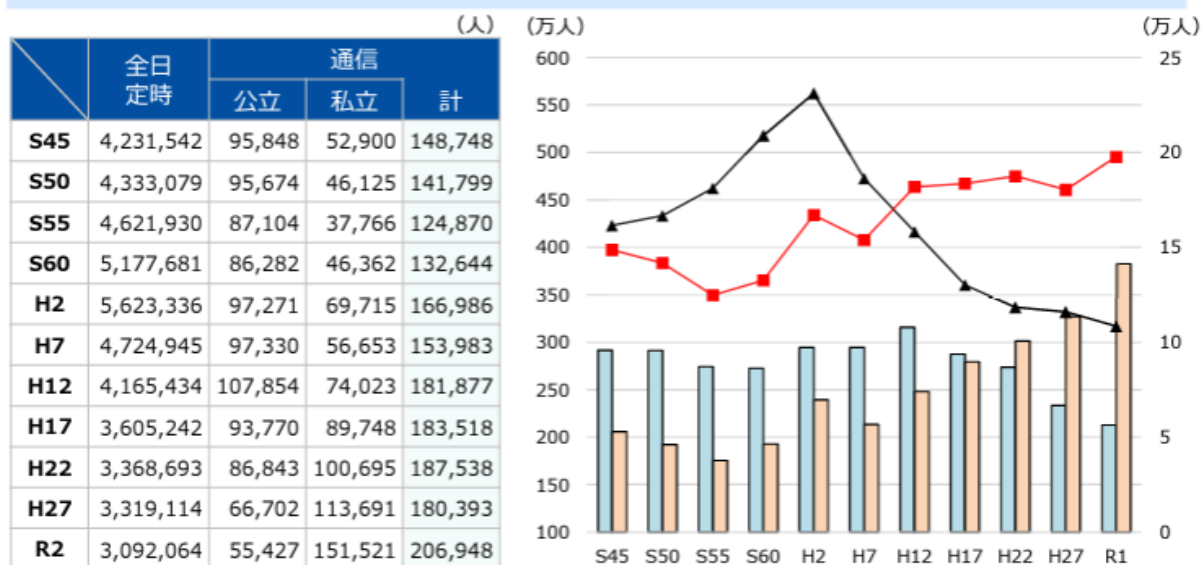
資料1 高等学校通信教育の現状について

出典：「高等学校通信教育の現状について」文部科学省（令和2年）5ページより抜粋

URL：https://www.mext.go.jp/content/20210226-mxt_koukou01-000013082_04.pdf

高等学校の生徒数（公私別推移）

- 高等学校の生徒数の推移について、近年、全日制・定時制課程の生徒数は全体として減少傾向にあるが、通信制課程の生徒数は全体として増加傾向にある。
- 公私別で見れば、私立通信制の生徒数が大きく増加している一方で、公立通信制の生徒数は徐々に減少している。



（※1）全日制・定時制課程の生徒数には、専攻科・別科に属する生徒数を含む。

（※2）通信制課程の生徒数には、他からの併修者の数は含まれていない。

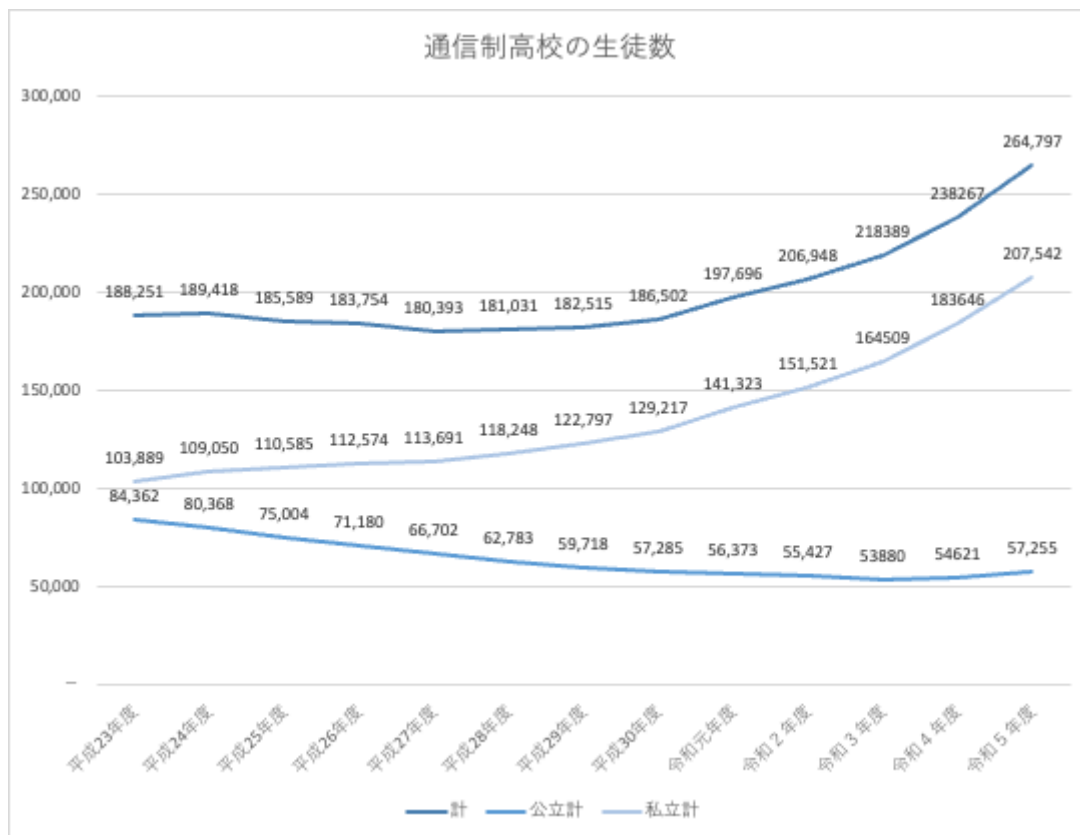
（出典）文部科学省「学校基本調査」

資料2 通信制高校の生徒数

出典：「学校基本調査」文部科学省 より作成

URL：https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/chousa01/kihon/1267995.htm

通信高校生の生徒数（平成23年度～令和5年度）



資料3 通信制高等学校を取り巻く現状・課題

出典：「「令和の日本型学校教育」の実現に向けた通信制高等学校の在り方に関する調査研究協力者会議（審議まとめ）」文部科学省（令和4年） 1, 3ページより抜粋

URL：https://www.mext.go.jp/content/20220902-mxt_koukou02-000024811_01.pdf

1ページ

はじめに

通信制高等学校は、戦後、勤労青年に高等学校教育の機会を提供するものとして、自宅等において自学自習に取り組むことを原則とした特例的な教育方法を採用する形で制度化され、高等学校教育の普及と教育の機会均等の理念を実現する上で大きな役割を果たしてきた。

近年では、そうした学習時間や学習方法など生徒が自ら選択して自分のペースで学ぶことができるという通信教育の特長から、多様な入学動機や学習歴を持つ生徒に対して教育機会を提供する機関ともなっており、通信制の高等学校の学校数・生徒数は急増している状況にある。

第1章 通信制高等学校を取り巻く現状・課題

(通信制高等学校が担う役割の変化)

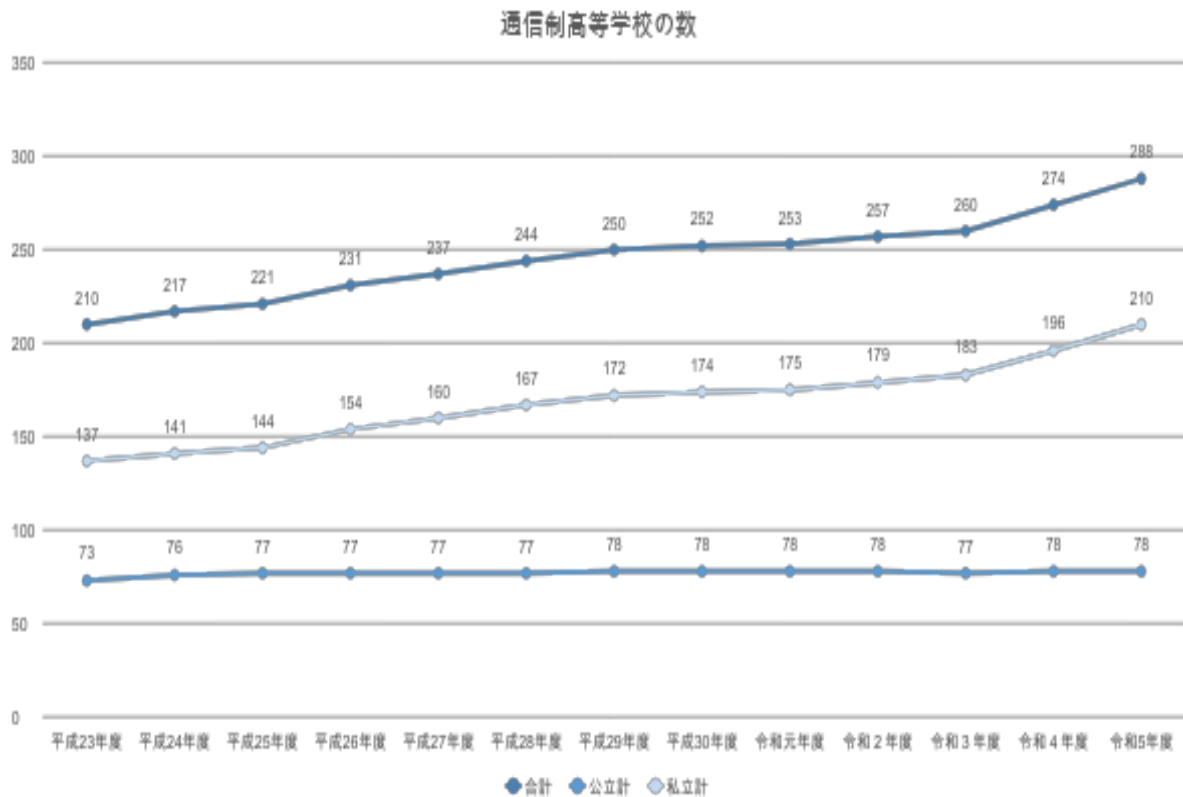
- 学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）の制定により新制高等学校が発足した際、勤労青年に対して広く高等学校教育の機会を提供するために、高等学校において通信による教育を行うことができる旨が同法に規定され、その後、高等学校の定時制教育及び通信教育振興法（昭和 28 年法律第 238 号）の制定、昭和 36 年の学校教育法の一部改正による通信制課程及び広域の通信制課程の制度化に伴い、現在の通信制高等学校制度が確立した。
- 通信制高等学校は、制度創設当初は勤労青年を主たる対象としたものであったが、近年は通信制高等学校の在籍者は不登校経験など様々な事情を有する者¹をはじめとして多様な入学動機や学習歴を持つ生徒が入学するとともに 15 歳から 18 歳の生徒が増えるなど若年化しており、自立して自学自習を行う生徒を対象としてきた制度の前提が変わってきている。
- 通信制高等学校の在籍生徒数を見ると、高等学校の生徒数に占める割合は、昭和から平成の初頭にかけては 3%前後で推移していたが、平成 10 年代以降増加し、現在では 7%超を占める²に至っており、2 倍以上伸びている。
- このように、多様な生徒の学びの場として通信制高等学校の担う役割が変化し、その規模が拡大している背景として、特に近年では、義務教育段階の不登校児童生徒数が 8 年連続して増加し、令和 2 年度に過去最多³となっていることが挙げられる。また、昭和 63 年の学校教育法の一部改正により、通信制課程の修業年限が 3 年以上に弾力化されたことに加えて、平成 15 年の構造改革特別区域法（平成 14 年法律第 189 号）の一部改正により、株式会社立学校の設置が容認されたこと、平成 16 年に高等学校通信教育規程（昭和 37 年文部省令第 32 号）が大綱化されたことの影響も大きいと考えられる。これらにより、広域通信制高等学校の設置数は、平成 10 年以降に急増している⁴。
- 実際、公私別に生徒数を見ると、平成 12 年度から令和 4 年度にかけて、公立の通信制高等学校に在籍する生徒数は半減している一方で、私立（学校法人立・株式会社立）の通信制高等学校に在籍する生徒数は 2 倍以上に増加している状況となっている⁵。
- また、私立の通信制高等学校の在籍生徒数を所轄都道府県別に見ると、一部の自治体において在籍生徒数が急激に増加しており⁶、サテライト施設に通学する生徒数を所在都道府県別に見ると、特に首都圏をはじめとする大都市圏において多くなっている⁷。これらの状況から、大規模な私立の広域通信制高等学校がサテライト施設を用いて全国的に教育活動を展開している状況が見て取れる。

資料4 通信制高等学校の数

出典：「学校基本調査」文部科学省 より作成

URL：https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/chousa01/kihon/1267995.htm

通信制高校の数（平成23年度～令和5年度）

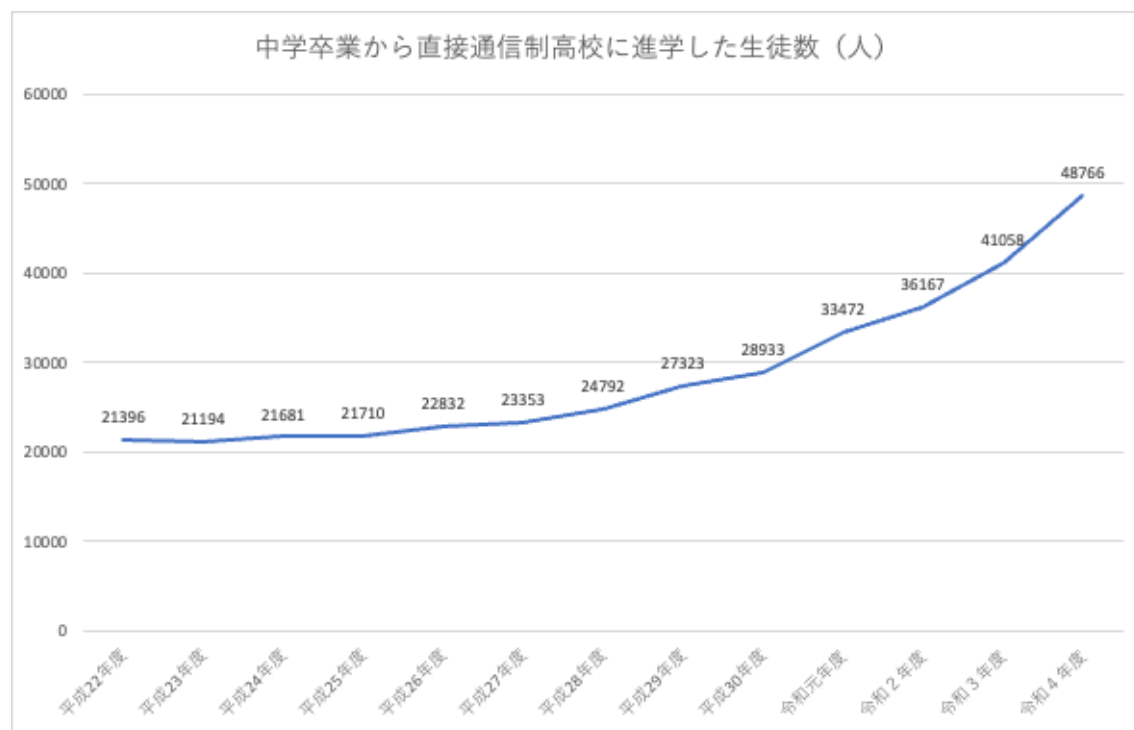


資料5 中学卒業から直接通信制高校に進学した生徒数

出典：「学校基本調査」文部科学省 より作成

URL：https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/chousa01/kihon/1267995.htm

中学卒業から直接通信制高校に進学した生徒数（平成22年度～令和4年度）



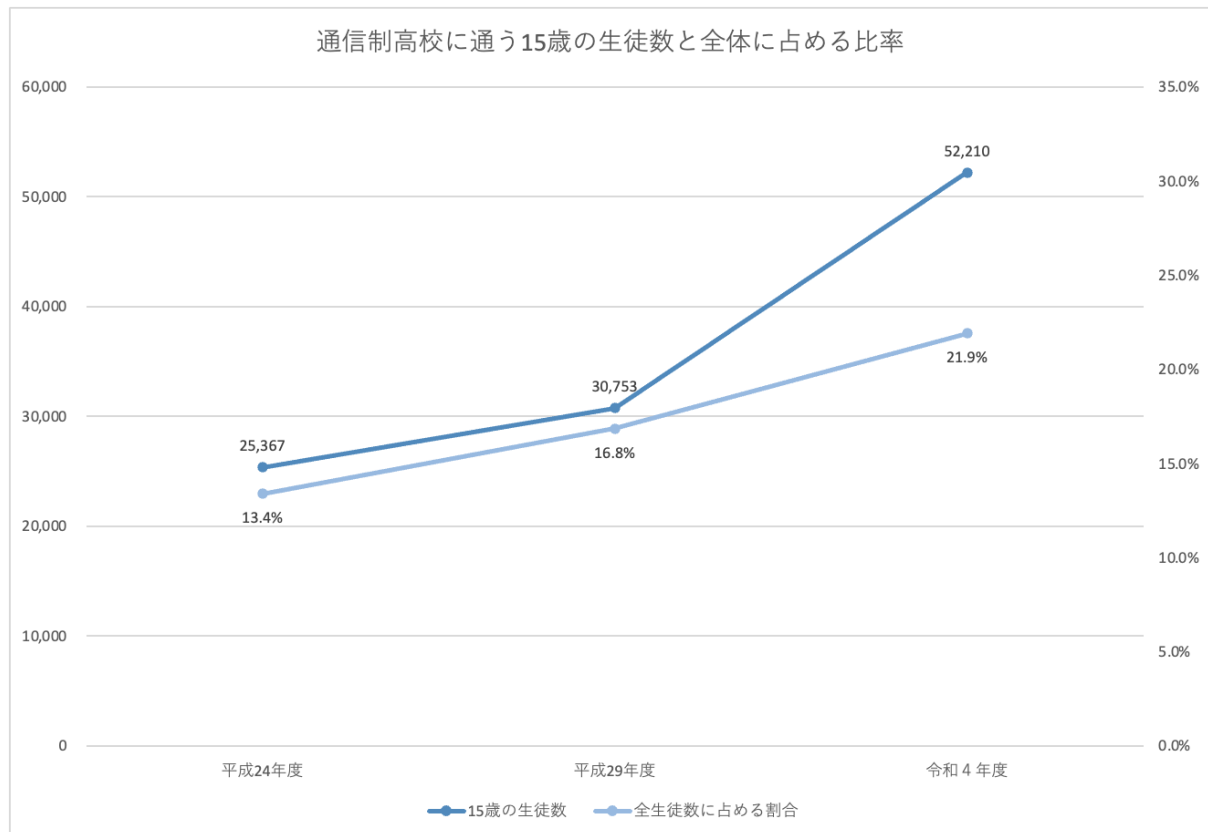
各年度の「学校基本調査」より集計

資料 6 通信制高校に通う15歳の生徒数と全体に占める比率

出典：「学校基本調査」文部科学省 より作成

URL：https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/chousa01/kihon/1267995.htm

通信制高校に通う15歳の生徒数と全体に占める比率（平成24年度～令和4年度）

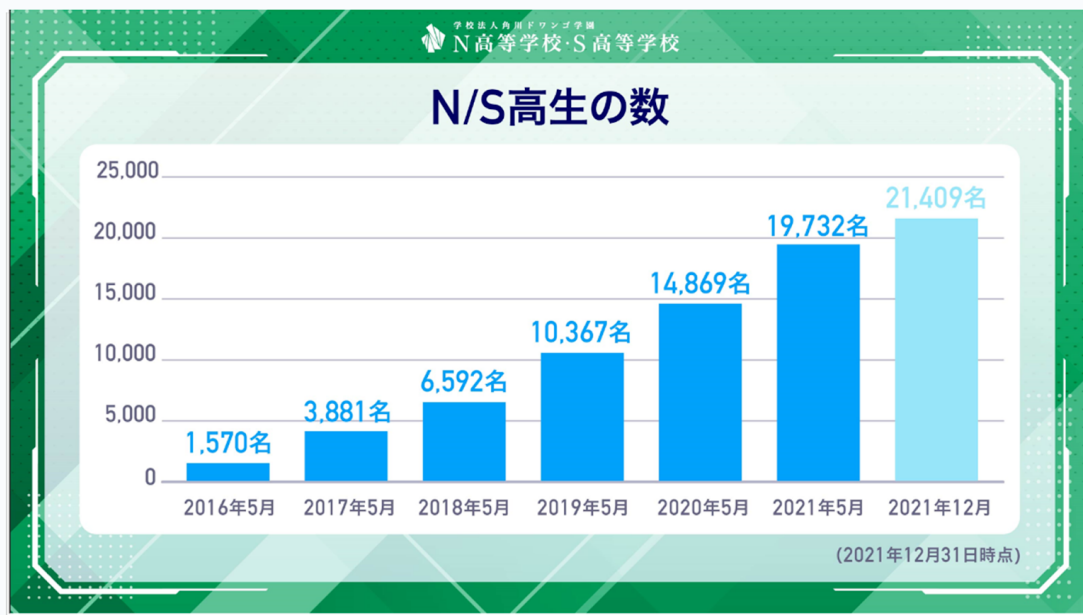


資料7 N/S高等学校の生徒数の推移

出典：角川ドワンゴ学園N/S高等学校 発表会資料及びHP より抜粋

URL：<https://www.youtube.com/watch?v=ErR8mOHMVVE&t=135s>
<https://nnn.ed.jp/>

角川ドワンゴ学園N/S高等学校 発表会資料（令和3年）



角川ドワンゴ学園N/S高等学校 HP（令和5年）

学校法人角川ドワンゴ学園
N高等学校・S高等学校

入学相談窓口
☎0120-0252-15
平日10:00～19:00

説明会・相談会

資料請求(無料)

ネットの高校とは？

N高等学校・S高等学校はKADOKAWA・ドワンゴが創るネットと通信制高校の制度を活用した、新しいネットの高校です。生徒数は両校合わせて25,041名になります（2023年6月30日時点）。



N高等学校

詳しくみる



S高等学校

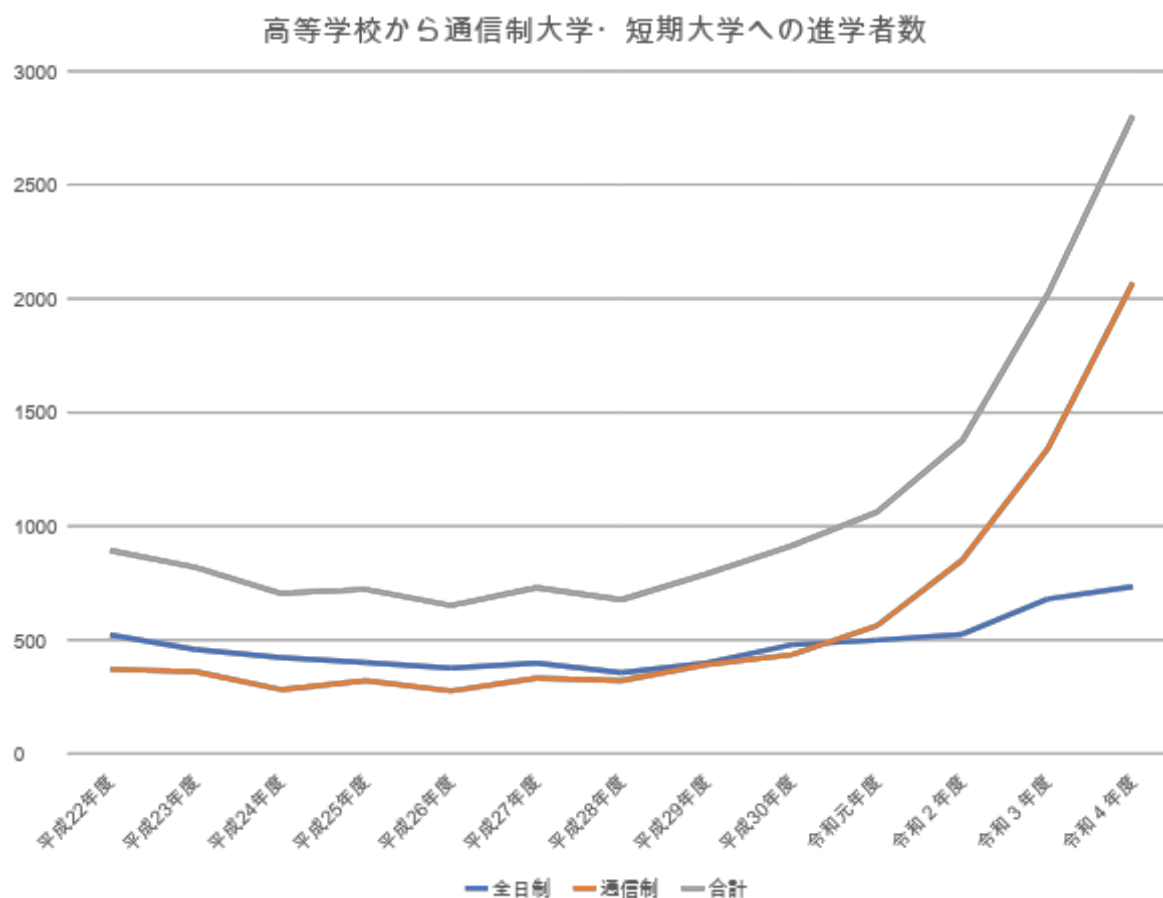
詳しくみる →

資料8 高等学校から通信制大学・短期大学への進学者数

出典：「学校基本調査」文部科学省 より作成

URL：https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/chousa01/kihon/1267995.htm

高等学校から通信制大学・短期大学への進学者数（平成22年度～令和4年度）



資料9 職業別通信大学在籍者

出典：「学校基本調査」文部科学省 より作成

URL：https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/chousa01/kihon/1267995.htm

職業別通信大学在籍者(令和4年度)

	人数	比率
教員	8161	4.5%
公務員	10323	5.7%
会社（商店）員	58128	32.3%
個人営業・自由業	11221	6.2%
無職	45670	25.4%
その他	46374	25.8%
合計	179,877	100.0%

資料10 世界と比較した日本の現在の大学進学率

出典：[School enrollment, tertiary] THE WORLD BANK DATA

URL：

https://data.worldbank.org/indicator/SE.TER.ENRR?most_recent_value_desc=true&view=chart

School enrollment, tertiary (% gross)

順位	国名	Country	Most Recent Year	Most Recent Value
1	ギリシャ	Greece	2020	151
2	トルコ	Turkiye	2020	117
3	オーストラリア	Australia	2020	114
4	韓国	Korea, Rep.	2020	102
5	スペイン	Spain	2020	96
6	フィンランド	Finland	2020	95
6	ラトビア	Latvia	2020	95
8	オランダ	Netherlands	2020	92
8	チリ	Chile	2020	92
10	アメリカ合衆国	United States	2020	88
11	オーストリア	Austria	2020	87
12	スウェーデン	Sweden	2020	85
13	ノルウェー	Norway	2020	84
13	アイスランド	Iceland	2020	84
15	デンマーク	Denmark	2020	83
16	ベルギー	Belgium	2020	81
17	スロベニア	Slovenia	2020	80
17	カナダ	Canada	2020	80

17	ニュージーランド	New Zealand	2020	80
20	アイルランド	Ireland	2020	75
21	エストニア	Estonia	2019	74
22	ドイツ	Germany	2020	73
23	リトアニア	Lithuania	2020	71
24	ポルトガル	Portugal	2020	70
24	ポーランド	Poland	2020	70
26	フランス	France	2020	69
26	イタリア	Italy	2020	69
26	イギリス	United Kingdom	2020	69
29	チェコ	Czechia	2020	68
30	日本	Japan	2019	65
30	スイス	Switzerland	2020	65
32	イスラエル	Israel	2020	61
33	コスタリカ	Costa Rica	2019	58
34	ハンガリー	Hungary	2020	55
35	コロンビア	Colombia	2020	54
36	スロヴァキア	Slovak Republic	2020	48
37	メキシコ	Mexico	2020	45
38	ルクセンブルク	Luxembourg	2020	19
	OECD加盟国	OECD members		78

資料11 都道府県別大学進学率

出典：「学校基本調査」文部科学省 より集計

URL：https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/chousa01/kihon/1267995.htm

都道府県別大学進学率（令和4年度）

都道府県	大学進学率
東京都	69.8%
京都府	67.2%
神奈川県	63.2%
兵庫県	62.5%
大阪府	62.1%
広島県	60.6%
埼玉県	59.4%
奈良県	58.8%
愛知県	58.5%
千葉県	58.4%
山梨県	55.0%
福井県	54.7%
滋賀県	54.7%
石川県	54.1%
徳島県	53.7%
岐阜県	53.3%
茨城県	52.8%
群馬県	52.7%
静岡県	52.3%
愛媛県	52.2%
和歌山県	51.4%
福岡県	51.3%
香川県	50.7%
栃木県	50.7%
岡山県	50.1%
宮城県	49.5%
富山県	48.9%

三重県	48.6%
高知県	47.8%
新潟県	47.2%
長野県	46.5%
北海道	46.4%
青森県	45.8%
島根県	44.7%
山形県	43.6%
長崎県	43.4%
熊本県	43.1%
福島県	42.8%
佐賀県	41.5%
秋田県	41.4%
沖縄県	41.1%
大分県	41.0%
鳥取県	40.8%
岩手県	40.8%
宮崎県	40.4%
山口県	39.9%
鹿児島県	36.1%

※「学校基本調査」より集計

※学校基本調査では、大学（学部）進学率を、「大学（学部）の入学者」を「18歳人口（3年前の中学校・義務教育学校卒業生及び中等教育学校前記課程修了者）」で除したものとしている。

しかし、都道府県別の計算では、進学や就職等で他都道府県別に他都道府県へ移動した人口の集計が困難であるため、18歳人口を用いた集計が難しい。

よって、リクルート進学総研の調査（

https://souken.shingakunet.com/research/pdf/202205_souken_report.pdf）に倣い、本調査では都道府県別の進学率を、令和4年度4月の「大学（学部）入学者」を令和3年度3月の「高等学校卒業生（全日制・定時制+中等教育学校後期課程）」を除いたものとして計算した。

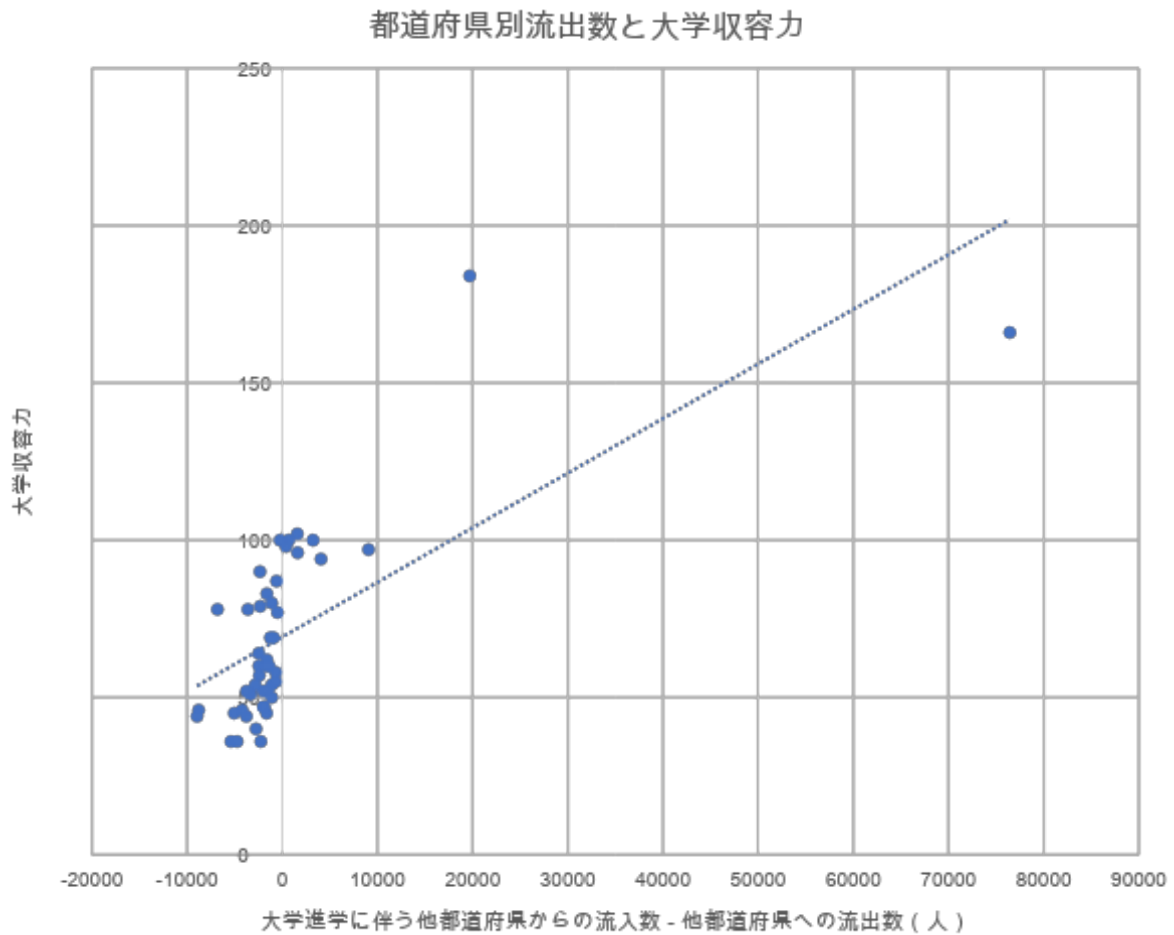
資料12 大学進学による人口移動

出典：「学校基本調査」文部科学省 より算出

「魅力ある地方大学の実現に向けて（仮称）（素案）参考資料集」文部科学省

URL：https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/chousa01/kihon/1267995.htm

<https://www.mext.go.jp/content/000141270.pdf>



※都道府県ごとの大学進学に伴う流入者数と流出者数は、文部科学省「令和4年度学校基本調査」より算出。

大学収容力は、文部科学省（令和3年）「魅力ある地方大学の実現へ向けて（仮称）参考資料集」より算出。

資料13 世帯収入と高校生の進路の相関

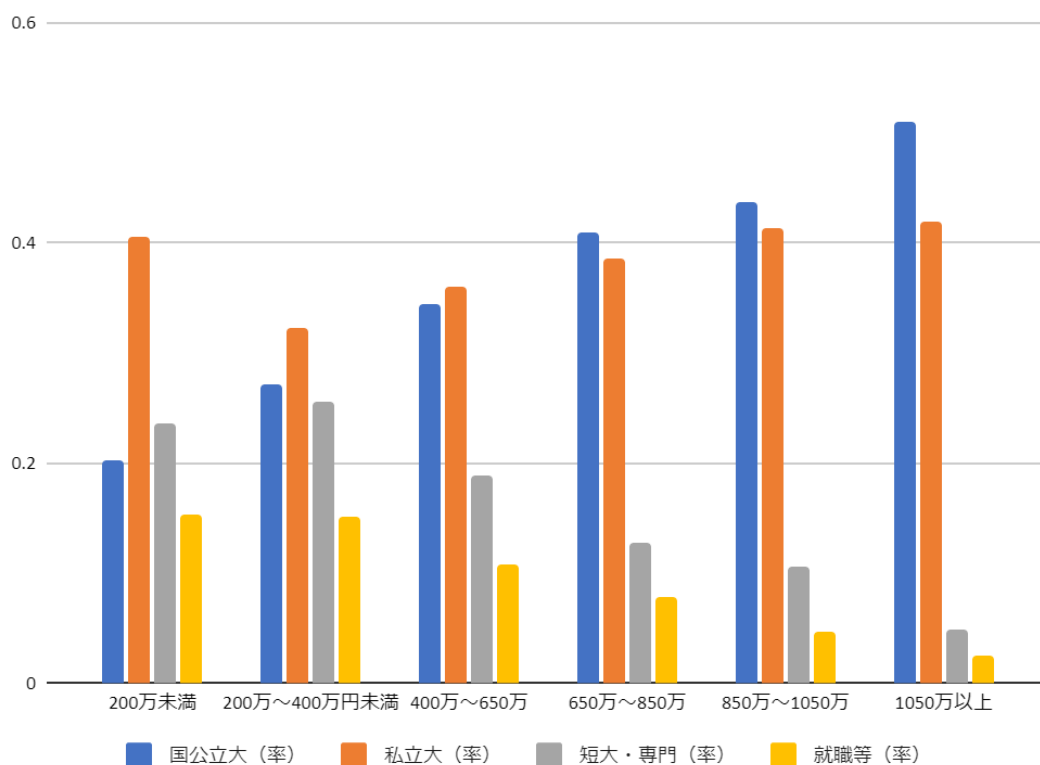
出典：「高校生の進路に関する保護者調査 基礎集計表」文科省（2021年度）より算出

URL：https://www.mext.go.jp/content/20221003-mxt_gakushi_000002370.pdf

計	性別		高校所在地別			予定進路別			
	男性	女性	東京圏	大阪圏	他道県	国公立大	私立大	短大・専門	就職等
ケース数	4868		890	523	3455	1856	1854	737	421

(q42) 家族全体の年間の世帯収入(税込)										(単位: %)	
	度数	%	男性	女性	東京圏	大阪圏	他道県	国公立大	私立大	短大・専門	就職等
200万円未満	247	5.1	5.1	5.0	3.7	5.9	5.3	2.7	5.4	7.9	9.0
200万円以上～250万円未満	204	4.2	3.8	4.4	3.3	3.4	4.5	3.0	3.2	7.5	8.1
250万円以上～300万円未満	175	3.6	4.1	3.2	1.8	4.6	3.9	2.6	2.8	6.4	6.7
300万円以上～350万円未満	183	3.8	4.4	3.3	2.5	3.6	4.1	2.9	3.3	6.0	5.7
350万円以上～400万円未満	215	4.4	4.5	4.2	3.0	4.2	4.8	2.9	4.2	7.1	7.4
400万円以上～450万円未満	249	5.1	4.7	5.4	3.4	5.2	5.6	4.4	4.2	8.7	6.4
450万円以上～550万円未満	452	9.3	9.0	9.3	7.5	10.9	9.5	8.9	8.8	10.6	10.7
550万円以上～650万円未満	528	10.8	10.8	11.0	9.0	9.0	11.6	9.5	10.9	12.1	14.3
650万円以上～750万円未満	510	10.5	10.8	10.3	8.7	12.6	10.6	11.0	10.5	9.9	9.3
750万円以上～850万円未満	475	9.8	10.2	9.5	10.1	11.1	9.5	10.7	10.0	7.1	9.0
850万円以上～950万円未満	435	8.9	8.8	9.0	9.8	10.1	8.5	10.4	9.0	6.4	6.7
950万円以上～1,050万円未満	386	7.9	7.4	8.4	11.1	6.7	7.3	8.9	9.3	5.3	2.4
1,050万円以上～1,150万円未満	232	4.8	5.0	4.6	8.3	3.3	4.1	6.6	4.7	1.9	1.7
1,150万円以上～1,250万円未満	164	3.4	3.2	3.5	5.7	3.1	2.8	3.8	4.4	1.2	1.0
1,250万円以上～1,350万円未満	101	2.1	2.1	2.1	3.5	1.7	1.8	2.9	2.2	0.4	1.0
1,350万円以上	312	6.4	6.1	6.7	8.7	4.6	6.1	8.9	7.0	1.8	1.0
合計	4868	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

保護者調査による高校3年性の進路

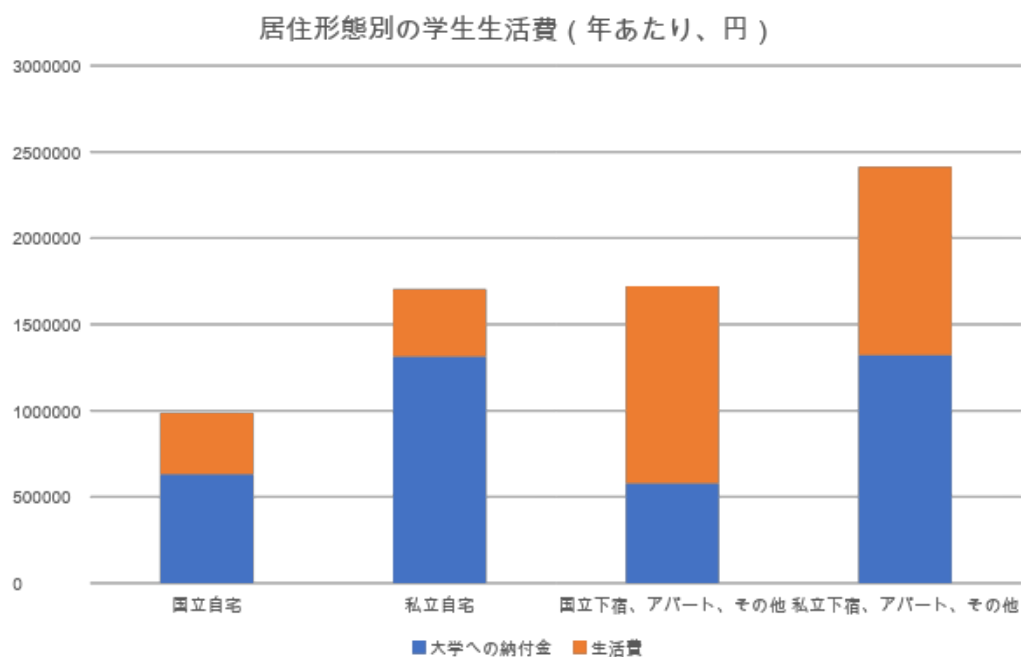


資料14 居住形態別の学生生活費

出典：「学生生活調査結果」JASSO（令和2年度）より算出

URL：https://www.jasso.go.jp/statistics/gakusei_chosa/index.html

	私立大学 一人暮らし	国立大学 一人暮らし	私立大学 実家暮らし	国立大学 実家暮らし
授業料	1,073,500	487,700	1,033,200	490,000
その他学校納付金	162,500	8,900	151,300	10,300
修学費	45,700	47,000	45,900	50,100
課外活動費	23,300	26,900	16,200	20,700
通学費	17,700	8,500	66,200	61,800
食費	267,400	288,400	86,700	80,300
住居・光熱費	483,000	530,400	...	...
保健衛生費	43,100	40,200	41,400	36,600
娯楽・嗜好費	135,700	136,900	131,100	113,500
その他の日常費	162,400	146,900	132,800	123,800
合計	2,414,300	1,721,800	1,704,800	987,100



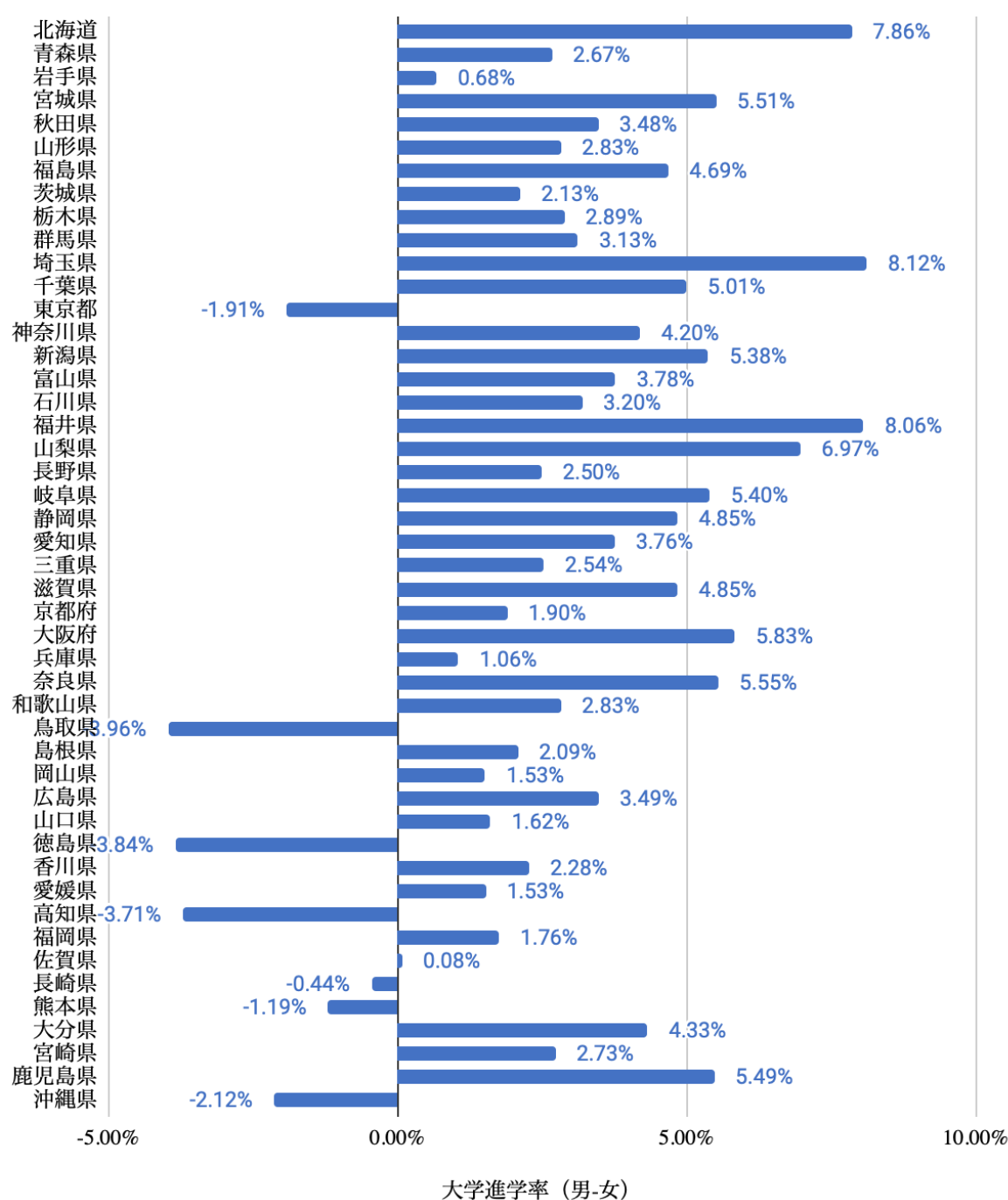
資料15 大学進学率男女差

出典：「学校基本調査」文部科学省 より算出

URL：https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/chousa01/kihon/1267995.htm

大学進学率男女差（令和4年度）

大学進学率（男-女）



※文部科学省「学校基本調査」より算出

資料16 大学進学率の格差に関する先行研究レビュー

論文・ レポート名	取り扱う テーマ	著者名	出版 年	ジャーナル・ 報告書名	号・刊	内容
県外大学進学率 のパネル分析	大学収容力	田村一軌	2017	AGI Working Paper Series	2017-02	出身高校の所属都道府県以外に存在する大学に進学する学生の割合は、都道府県ごとの差異が非常に大きい。その要因を複数の変数を用いて分析すると、都道府県ごとの潜在収容率が高いと流出率が低くなり、男子学生の比率が高いほど県外進学率が高く、教員一人あたりの科研費配分額が低いほど県外進学率が高く、大卒就職率が高いほど県外進学率が低く、失業率が高いほど県外進学率が低く、可住地人口密度が高いほど、県外進学率が低い。
地方における高 校生の進路選択 の特性と要因- 「福島県高校生 調査」の分析-	大学収容力、 ジェンダー	遠藤健・ 沖清豪	2017	早稲田教育評 論	31(1)	福島県の高校生を対象に2015年に実施された個表調査を用いて、①学力、②家族に関する価値観の内面化、③生徒の周りの「重要な他者」の3つの変数の影響を検証するための多変量分析を実施。その過程で、地域ごとの差異に対する影響力の大きい変数として、大学収容力が指摘される。
進路行動と地域 移動：1990年代 以降における関 東での大学進学 移動に注目して	大学収容力	上山浩次 郎	2014	北海道大学大 学院教育学研 究院紀要	120	地域ごとの大学進学率は、90年代以降東日本の方が高い東高西低型に変容しており、この背景には関東の上昇度合いの大きさがある。その理由を検証するため、自地域への大学への進学が増えたのか、都道府県間を移動する進学が増えたのかを分析。90年代以降は、北関東・南関東のいずれでも自都道府県への進学と南関東への進学移動が多く見られ、この背景には関東の各都道府県の大学収容力の上昇がある。自県の大学収容力が上昇したために自県進学率が上昇し、また東京の大学収容力が上昇したため、特に東京に移動する進学率が上昇した。

なぜ女子の大学進学率は低いのか？-愛情とお金の間-	ジェンダー	藤村正司	2011	大学論集	43	男女の大学進学率の格差を、家族に埋め込まれた資源配分のメカニズムの視点から分析。女子は男子よりも学力による大学進学率の格差が大きく、その背景には、家庭内の資源配分が生順によって選択的に行われる点にある。兄弟のうち生まれるのが遅いほど大学進学が閉ざされ、入学後の授業料負担も抑制される傾向にあるが、この不利益は特に妹に向けられる。また、貸与型の奨学金は将来の子どもの負担につながるとい親の愛他主義は、娘に対して強く働き、これも大学進学を閉ざす。
女子の大学進学率の地域格差 -大学教育投資の便益に着目した説明の試み-	ジェンダー	朴澤泰男	2014	教育学研究	81(1)	都道府県別の女子の大学進学率の格差は、進学にかかるコストだけでなく、大学進学による便益も要因にある。女性の大学進学にかかわる変数を多変量分析し、特に地方に女性の大学進学率の低い都道府県が存在する理由として、以下を明らかにした。 ①若年層の相対就業者率（大卒・大学院卒者数を、高校を卒業し就職した人の数で除した割合）が低い都道府県ほど、県外進学率・大学進学率ともに低いためである可能性がある。相対就業者率は学歴間賃金格差の低い都道府県ほど低く、この論理は概ね女性にも当てはまる。 ②先行世代の就業状況から期待される将来の就業可能性、特に出身県における将来の正規就業の見込み（40年代後半女性の正規就業機会）が小さい地域ほど、県外進学率・大学進学率ともに低い。
大学進学における「地方」と「性別」の「足枷」	ジェンダー、大学収容力	寺町晋也	2021	学術の動向	27(10)	大学進学率の障壁となる地方要因と性別の要因に関するレビュー。ほとんどの都道府県で女子よりも男子の方が大学進学率が高く、地方在住の女子は性別と地方の両方が進学の足枷となる。地方においては、都道府県ごとの大学収容力、近隣の大学有無、高校教育の内容など、本人の学力や大学の難易度などとは別次元の進路選択の流れが形成されている。これらの要因は、「地方の女子」に対してより強く働く。男子と比較した親からの大学進学期待の低さ、高卒で就職した場合の4年分の収入を大学卒業後に回収できることの期待などで女子は不利な立場に置かれる。加えて、これが地方在住の女子にとってはより一層の負担となる。地方は大学収容力が低く、大学進学の場合に県外への移動を検討する必要があるが、これに伴う費用の増加が女子の「自宅志向」を強める。

資料17 米国アリゾナ州立大学の事例（ファースト・ジェネレーション）

出典：米国アリゾナ州立大学HP より抜粋

URL：<https://www.asu.edu/about/facts-and-figures>

Enrollment - total university	Fall 2022	Fall 2021	Fall 2020	Fall 2019	Fall 2018
Campus immersion	80,065	77,881	74,795	75,698	73,875
Tempe	57,588	54,866	52,386	53,494	52,029
Polytechnic	5,825	5,545	5,168	5,283	5,160
West	4,968	5,209	5,390	4,955	4,463
Downtown	11,097	11,721	11,360	11,512	11,736
Other locations	587	540	491	454	487
Digital immersion	62,551	57,848	53,993	44,253	37,374
Total	142,616	135,729	128,788	119,951	111,249

ASU welcomed 15,151 incoming first-year students and accepted 89.8% of student applicants in fall 2022, demonstrating its commitment to educational access.

82%

For fall 2022 campus immersion, 82% of first-year students who are Arizona residents earned one of ASU's top academic scholarships collectively called the New American University Scholarships.

46%

46% of ASU's incoming first-year students in fall 2022 came from minority backgrounds.

Related links

[ASU admission](#)

33.5%

Reflecting ASU's commitment to higher education access, 33.5% of ASU undergraduates are first-generation college students.

86%

ASU ranks No. 1 among the state's public universities for its 86% first-year students retention rate.

資料18 2015年社会階層と社会移動調査研究会による調査

出典：「世帯所得と子どもの学歴 ―前向き分析と後向き分析の比較1

― 平沢和司（北海道大学）」2015年社会階層と社会移動調査研究会 10ページより抜粋

URL：<https://www.l.u-tokyo.ac.jp/2015SSM-PJ/>

https://www.l.u-tokyo.ac.jp/2015SSM-PJ/05_01.pdf

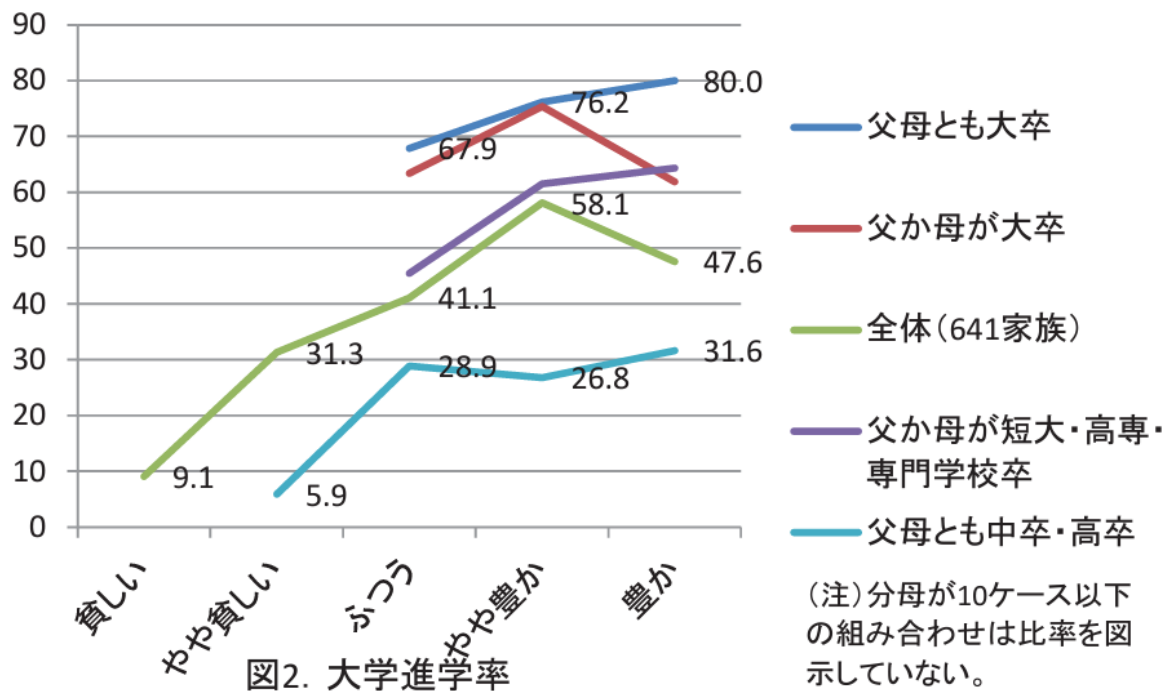


図2. 大学進学率

資料19 大学進学を希望しない理由

出典：ZEN大学「知能情報社会学部 知能情報社会学科」（仮称）

設置に関するニーズ調査 結果報告書【高校生対象調査】

進研アド（令和5年9月）

高校生対象 大学進学を希望しない理由

- ・回答者に大学進学を希望しない理由を聴取したところ、全体では「勉強が好きじゃないから」(39.9%)が最も高く、次いで「受験・入学に必要な学力に自信がないから」(28.5%)、「大学には学びたい分野がないから」(22.5%)と続く。
- ・調査対象別だと、①N高校・S高校は「勉強が好きじゃないから」(40.7%)が最も高く、次いで「受験・入学に必要な学力に自信がないから」(29.0%)、「大学には学びたい分野がないから」(23.3%)と続く。②③④N高校・S高校以外でも「勉強が好きじゃないから」(32.5%)が最も高い。次いで「上記の中には、四年制・六年制の大学進学を希望しない理由はない」(26.2%)、「受験・入学に必要な学力に自信がないから」(24.1%)が挙がる。

四年制・六年制の大学進学を希望しない理由

■四年制・六年制の大学進学を希望しない理由

		標本数	経済的な理由があるから	通いたい大学が近くにない	保護者が大学進学を勧めない	働かなくてはいけないから	家事・育児・介護などをしなくてはいいけないから	大学には学びたい分野がないから	勉強が好きじゃないから	自信がないから	受験・入学に必要な学力に	な職業スキルを学べないと思うから	確保できないから	長期間決まった時間を	上記の中には、四年制・六年制の大学進学を希望しない理由はない	無回答
上段：％ 下段：件数(名)																
全体		3,417	18.4 629	12.6 430	3.5 120	9.2 315	0.8 29	22.5 770	39.9 1,364	28.5 975	7.3 248	5.6 191	21.9 747	0.0 0		
割 付 別	①N高校・S高校	3,085	18.2 560	12.8 394	3.3 101	9.8 303	0.8 25	23.3 719	40.7 1,256	29.0 895	7.1 220	5.8 180	21.4 660	0.0 0		
	②③④ N高校・S高校以外	332	20.8 69	10.8 36	5.7 19	3.6 12	1.2 4	15.4 51	32.5 108	24.1 80	8.4 28	3.3 11	26.2 87	0.0 0		

資料20 2040年に必要とされる人材と高等教育の目指すべき姿

出典：「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン（答申）概説」文部科学省
（平成30年）1ページより抜粋

URL：https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1411360.htm

2040年に向けた高等教育のグランドデザイン（答申）

【概説】

I. 2040年の展望と高等教育が目指すべき姿—学修者本位の教育への転換—

1. 2040年に必要とされる人材と高等教育の目指すべき姿

（2040年に必要とされる人材）

2040年を迎えるとき、どのような人材が、社会を支え、社会を牽引することが望まれるのかについては、社会の変化を前提として考える必要がある。これからの人材に必要とされる資質や能力については、これまで多くの提言が国内外でなされてきた。累次の中央教育審議会答申等において示されてきた社会の変化に対応するために獲得すべき能力は、いつの時代にも、基礎的で普遍的な知識・理解、汎用的な技能等が中核とされている。

予測不可能な時代の到来を見据えた場合、専攻分野についての専門性を有するだけでなく、思考力、判断力、俯瞰力、表現力の基盤の上に、幅広い教養を身に付け、高い公共性・倫理性を保持しつつ、時代の変化に合わせて積極的に社会を支え、論理的思考力を持って社会を改善していく資質を有する人材が多く誕生し、変化を受容し、ジレンマを克服しつつ、更に新しい価値を創造しながら、様々な分野で多様性を持って活躍していることが必要である。文理横断的にこうした知識、スキル、能力を身に付けることこそが、社会における課題の発見とそれを解決するための学問の成果の社会実装を推進する基盤となる。

（我が国の世界における位置付けと高等教育への期待）

成熟社会を迎える中で、直面する課題を解決することができるのは「知識」とそれを集約し、組み合わせることで生み出す新たな価値となる「新しい知」である。その基盤となるのが教育であり、特に高等教育は、我が国の社会や経済を支えることのみならず、世界が直面する課題の解決に貢献するという使命を持っている。特に、我が国のような課題先進国の高等教育機関が世界的課題解決に貢献することは重要であり、この貢献が各国との安定的な関係の構築にも資するという意識を持つことが必要である。

（高等教育が目指すべき姿）

2040年に必要とされる人材を養成していくためには、高等教育が「個々人の可能性を最大限に伸長する教育」に転換することが期待される。

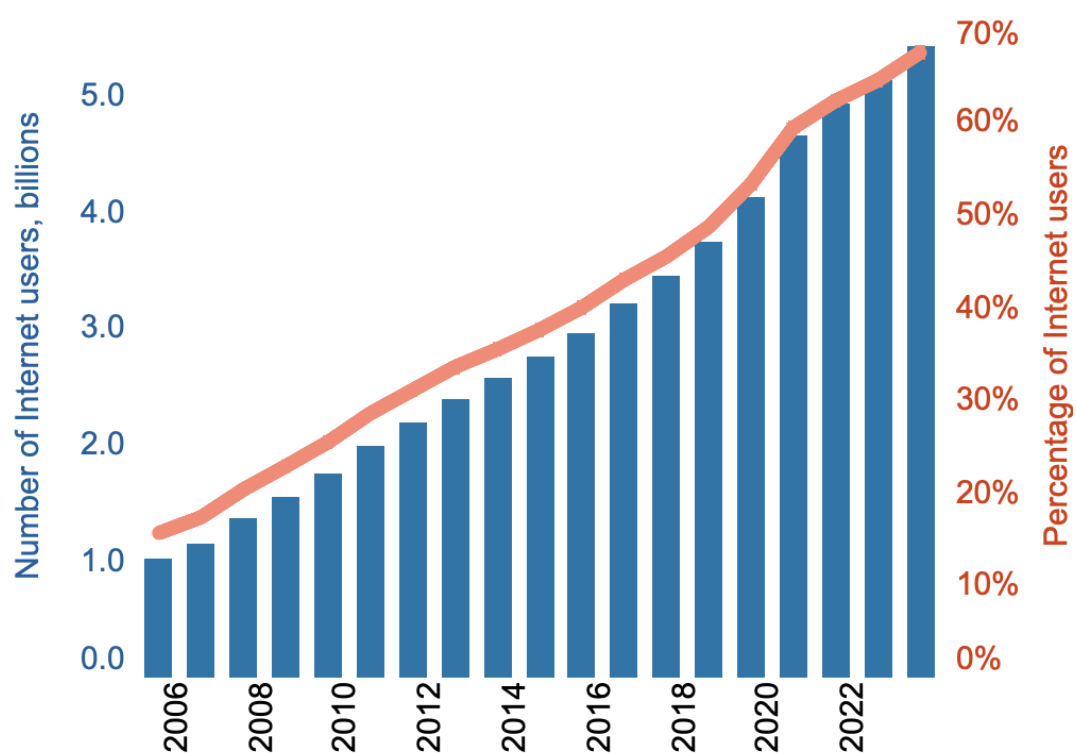
予測不可能な時代にあつて、高等教育は、学修者が自らの可能性を最大限に発揮するとともに、多様な価値観を持つ人材が協働して社会と世界に貢献していくため、学修者にとっての「知の共通基盤」となるという視点に立ち、「何を学び、身に付けることができるのか」を中軸に据えた多様性と柔軟性を持った高等教育への転換を引き続き図っていく必要がある。また、学修者の「主体的な学び」の質を高めるシステムを構築していくためには、高等教育機関内のガバナンスも組織や教員を中心とするのではなく、学内外の資源を共有化し、連携を進め、学修者にとっての高等教育機関としての在り方に転換していく必要がある。

資料21 世界のインターネット利用率

出典：International Telecommunication Unionウェブサイト

URL：<https://www.itu.int/en/ITU-D/Statistics/Pages/stat/default.aspx>

Individuals using the Internet



資料22 基盤的リテラシーについて

出典：「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン（答申）」文部科学省
（平成30年）4ページより抜粋

URL：https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1411360.htm

（※）「各専攻分野を通じて培う学士力～学士課程共通の学習成果に関する参考指針～」

（平成20年12月24日 中央教育審議会答申「学士課程教育の構築に向けて」）

（1）知識・理解、（2）汎用的技能、（3）態度・志向性、（4）統合的な学習経験と創造的思考力

こうした能力は、いわゆる一般教育・共通教育と専門教育の双方を通じて、また、学生の自主的活動等も含む教育活動全体を通して育成されていくものである。

なお、今後の情報を基盤とした社会においては、基礎的で普遍的な知識・理解等に加えて、数理・データサイエンス等の基礎的な素養を持ち、正しく大量のデータを扱い、新たな価値を創造する能力が必要となってくる。基礎及び応用科学はもとより、特にその成果を開発に結び付ける学問分野においては、数理・データサイエンス等を**基盤的リテラシー**と捉え、文理を越えて共通に身に付けていくことが重要である。

予測不可能な時代の到来を見据えた場合、専攻分野についての専門性を有するだけではなく、思考力、判断力、俯瞰力、表現力の基盤の上に、幅広い教養を身に付け、高い公共性・倫理性を保持しつつ、時代の変化に合わせて積極的に社会を支え、論理的思考力を持って社会を改善していく資質を有する人材、すなわち「21世紀型市民」（「我が国の高等教育の将来像（平成17年1月28日 中央教育審議会答申）」以下「将来像答申」という。）が多く誕生し、変化を受容し、ジレンマを克服しつつ、更に新しい価値を創造しながら、様々な分野で多様性を持って活躍していることが必要である⁵。文理横断的にこうした知識、スキル、能力を身に付けることこそが、社会における課題の発見とそれを解決するための学問の成果の社会実装を推進する基盤となる。

特に、人工知能（AI）などの技術革新が進んでいく中においては、新しい技術を使っていく側として、読解力や数学的思考力を含む基礎的で普遍的な知識・理解と汎用的な技能を持ち、その知識や技能を活用でき、技術革新と価値創造の源となる飛躍知の発見・創造など新

⁵ 「これからの時代に求められるのは、個々の能力・適性に合った専門的な知識とともに、幅広い分野や考え方を俯瞰して、自らの判断をまとめ表現する力を備えた人材である。また、求められる人材は一概ではなく、むしろそれぞれが異なる強みや個性を持った多様な人材によって成り立つ社会を構築することが、社会全体としての各種変化に対する柔軟な強靭さにつながるものである。」（「高等教育における国立大学の将来像（最終まとめ）」平成30年1月26日 一般社団法人国立大学協会）

資料23 将来の職業において必要とされるスキル

出典：FUTURE OF JOBS REPORT 2023 – AN ANALYSIS OF OECD REPORT より抜粋

URL：<https://taxguru.in/corporate-law/future-jobs-report-2023-analysis-oecd-report.html>

Top industries for increasing skill requirements, 2023–2027

- Creative thinking
- Analytical thinking
- Technological literacy
- Curiosity and lifelong learning
- Resilience, flexibility and agility
- Systems thinking
- AI and big data
- Motivation and self-awareness

Talent management

- Service orientation and customer service
- Leadership and social influence
- Empathy and active listening
- Dependability and attention to detail
- Resource management and operations
- Networks and cybersecurity
- Quality control
- Design and user experience
- Teaching and mentoring
- Environmental stewardship
- Programming
- Marketing and media
- Multi-lingualism
- Reading, writing and mathematics
- Global citizenship
- Sensory-processing abilities
- Manual dexterity, endurance and precision

資料24 高等教育における国立大学の将来像

出典：「高等教育における国立大学の将来像（最終まとめ）」一般社団法人国立大学協会
18ページより抜粋

URL：<https://www.janu.jp/janu/voice/futurevision/>

2 人材育成の在り方

- 将来の産業・社会構造の変化について明確な見通しを持つことは極めて困難な時代であるが、高度知識基盤社会が一層進行し、新たに多様な知識・情報・価値を生み出すことにより、それらの変化に対応していくことがますます重要になることは確かだと考える。
- AI技術の発展により現在の多くの職業がなくなるとの予測があるが、一方で、新しい価値観の創成や人と人とのきめ細かいコミュニケーションに関わる仕事がAIにとって代わられることはなく、むしろそのような分野での新たな仕事が創成されていくことが必要である。
- 現在、高等教育における人材育成に関し、社会や産業のニーズとのマッチングの重要性が強調されることが多いが、一方では社会や産業のニーズに柔軟に対応できる教育プログラム導入の仕組みの検討を進めるとともに、重要なのは単に短期的なニーズに応えるのではなくむしろ未来の社会や産業を切り拓き新たなニーズを生み出していくことができる人材を育成し研究のシーズを広げていくことである。
- すなわち、これからの時代に求められるのは、個々の能力・適性に合った専門的な知識とともに、幅広い分野や考え方を俯瞰して、自らの判断をまとめ表現する力を備えた人材である。また、求められる人材は一樣ではなく、むしろそれぞれが異なる強みや個性を持った多様な人材によって成り立つ社会を構築することが、社会全体としての各種変化に対する柔軟な強靱さにつながるものである。
- 一時、人文・社会科学系の存在意義についての議論があったが、社会を俯瞰し、人間と社会の在り方を洞察する人材を育成するためには、むしろその重要性が一層高まるはずである。
- また、留学生、社会人など受け入れる学生の多様性に配慮した教育プログラムの開発を進めることも必要である。
- したがって、高等教育段階の人材育成においては、まず学校種別(大学、大学院、短期大学、高等専門学校等)や教育研究分野別の観点に立った将来像を考え、機関ごとの特色を生かした多様性を確保することが重要である。それとともに、学生が、所属する機関の中あるいはその枠を越え、教育研究活動を通じて、他の学生や社会と交流する機会を積極的に作ることも求められる。

資料25 社会の変化の中で必要とされる人材像

出典：「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン（答申）」文部科学省
（平成30年）3ページより抜粋

URL：https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1411360.htm

I. 2040年の展望と高等教育が目指すべき姿—学修者本位の教育への転換—

1. 2040年に必要とされる人材と高等教育の目指すべき姿

（2040年に必要とされる人材）

2040年という年は、本年（平成30（2018）年）に生まれた子供たちが、現在と同じ教育制度の中では、大学の学部段階を卒業するタイミングとなる年である。

2040年を迎えるとき、どのような人材が、社会を支え、社会を牽引することが望まれるのかについては、後述する社会の変化を前提として考える必要がある。

これからの人材に必要とされる資質や能力については、OECDにおけるキー・コンピテンシー¹の議論をはじめとして、21世紀型スキル、汎用的能力など、これまで多くの提言が国内外でなされてきた。これは、将来においても、陳腐化しない普遍的なコンピテンシーであると考えられている。

その背景には、①テクノロジーが急速かつ継続的に変化しており、これを使いこなすためには、一回修得すれば終わりというのではなく、変化への適応力が必要になること、②社会は個人間の相互依存を深めつつ、より複雑化・個別化していることから、自らとは異なる文化等を持った他者との接触が増大すること、③グローバリズムは新しい形の相互依存を創出しており、人間の行動は、個人の属する地域や国をはるかに越え、例えば経済競争や環境問題に左右されることがあるとされている²。

現在、OECDでは2030年の将来を見据えて、キー・コンピテンシーの改定作業を行っているが、一人一人のエージェンシー³を中核として、新たな価値を創造する力、対立やジレンマを克服する力、責任ある行動をとる力が「変革を起こすコンピテンシー」として提言されている⁴。

加えて、累次の中央教育審議会答申等において示されてきた社会の変化に対応するために獲得すべき能力は、いつの時代にも、基礎的で普遍的な知識・理解、汎用的な技能等が中核とされている。

¹ 「コンピテンシー（能力）」とは、単なる知識や技能だけではなく、技能や態度を含む様々な心理的・社会的なリソースを活用して、特定の文脈の中で複雑な要求（課題）に対応することができる力。

そのうち「キー・コンピテンシー」とは、日常生活のあらゆる場面で必要なコンピテンシーを全て列挙するのではなく、コンピテンシーの中で、特に、①人生の成功や社会にとって有益、②様々な文脈の中でも重要な要求（課題）に対応するために必要、③特定の専門家ではなく全ての個人にとって重要、といった性質を持つとして選択されたもの。

² 平成18年9月15日 初等中等教育分科会教育課程部会教育課程企画特別部会 第15回資料

■http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/039/siryo/attach/1403354.htm

³ 「エージェンシー」とは、自ら考え、主体的に行動して、責任を持って社会変革を実現していく力。

⁴ 2015年からEducation2030プロジェクトが進められてきた。「The Future of Education and Skills Education 2030」(The Organisation for Economic Co-operation and Development(OECD)2018)

<https://www.oecd.org/education/2030/>

資料26 日本のChatGPT利用動向

出典：「日本のChatGPT利用動向（2023年4月時点）」 野村総合研究所 HPより抜粋

URL：https://www.nri.com/jp/knowledge/report/ist/2023/cc/0526_1

概要

- OpenAI 社が 2022 年 11 月に公開した ChatGPT は、公開 2 か月で世界のユーザー数が 1 億人に達するほど急速に拡大している。Openai.com へのアクセス数を見ると、日本からのアクセス数は 4 月中旬に 746 万／日に達し、トラフィックシェアは、米国、インドに次いで 3 番目に多い。
- 野村総合研究所（NRI）は 2023 年 4 月 15～16 日にかけて、関東に住む 15～69 歳を対象にネットアンケート調査を行った。それによると、回答者の 61.3%が ChatGPT を認知し、12.1%が実際に利用したことがある。性別の利用率を見ると、男性 17.7%、女性 6.2%で男性の利用率が圧倒的に高く、特に男性 10 代～30 代では利用率 20%を超えている。
- 職業別では、大学生・大学院生・専門学生（21.6%）、教職員（20.5%）と教育関係者の利用率が最も高く、会社役員（17.2%）、会社員（16.7%）の利用率が次に高い。逆に医師・医療関係者の利用率は 5.3%とかなり低かった。
- ChatGPT 利用者の 9 割近くが継続して利用したいと回答している。利用者の一部は懸念を表明しているが、現時点では日本人の利用者の大半が ChatGPT に対して肯定的な意見を表明している。

資料27 「AIツールの授業における利用について（ver. 1.0）」

出典：「AIツールの授業における利用について（ver. 1.0）」東京大学 より抜粋

URL：<https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/docs/ai-tools-in-classes>

[6] 教育効果をもたらす影響と効果について

レポートを執筆するために図書館へ足を運んでの調べ物をしていた時代から、現在は多くの場合Googleなどインターネット検索が盛んに利用されるようになり、かつ圧倒的に効率的になりました。言語生成系AIもこの事例と同じように急速に利用が増える可能性があります。

ただ、言語生成系AIは、言語モデルが適当と思われるテキストを生成しているだけです。その真偽についてはインターネット検索（この結果にも一定の誤謬が含まれるものです）以上に問題があります。検索結果を鵜呑みにしてはならず、信憑性を自ら吟味できること、より信憑性の高い情報は一次情報源に向かって探索を深めなくては得られないことは、インターネット検索の場合と同様に変わりません。

言語生成系AIの登場に伴って、そのような調査の基本 ― 情報源の信憑性の吟味や情報源の表示や確認など ― を改めて教えることが重要になり、教育の機会でもあります。安易なインターネット検索・言語生成系AIだけによる問題解決の危険性についても、学生に向けて問題提起をして下さい。

一方で、言語生成系AIにより新たな大学教育の可能性が開かれる可能性もあります。例えば、学生自身の学びのサポートです。レポートを執筆する際に学生同士や学生と教員が議論をし、その中で適切な質問・対話を行うことも、重要な学習過程です。このような人間同士の討議や対話の重要性がこれからも失われることはないと思います。

しかしながら、学生の自己学習において、言語生成系AIに適切な問いを發し、AIと対話することも、自らの思考・探求の方法論として重要になってくる可能性があります。また、人との対話や公衆の面前での質問が苦手という学生にとっては、言語生成系AIが質問の機会を与える場を提供するかもしれません。さらには、個人的にブレインストーミングやプレゼンテーションの壁打ち相手などに利用できるかもしれません。このような変化は始まったばかりですので、影響を見極めながら適宜に教育方法の改善に努めていくことが求められます。

もう少し細かい方法としては、プロンプト（質問や指示）の提示法を工夫して、求めるものに最も近い回答を言語生成系AIが返す技術を調べる授業や、言語生成系AIの回答の間違いや限界点を見つける授業など、教育現場での新たな利用法もあり得ます。是非、創造的に新しい大学教育の方向性を見出していきたいと思います。

資料28 大学・高専における生成AIの教学面の取扱いについて

出典：「大学・高専における生成AIの教学面の取扱いについて（周知）」

文部科学省（2023年5月）1、4ページより抜粋

URL：https://www.mext.go.jp/content/20230714-mxt_senmon01-000030762_1.pdf

1ページ

基本的な考え方

（生成 AI に関する動向）

令和4年11月にOpenAI社が公開したChatGPTは、公開から2か月で月間ユーザーが1億人を突破し、また、文章のみならず画像や音声等の生成を行うAIも普及するなど、生成AIの開発や利活用が急速に進展している。

政府においては、これまで「人間中心のAI社会原則」（平成31年3月29日統合イノベーション戦略推進会議決定）等により、AIに対する基本戦略・基本理念を明らかにしてきているほか、生成AIの登場によって整理すべき当面の論点等について、本年5月26日にAI戦略会議において「AIに関する暫定的な論点整理」（以下「論点整理」という。）を取りまとめている。生成AIを含むAIの利活用は、利便性や生産性の向上、さらには人間の様々な能力をさらに発揮することを可能とするなど、経済社会を前向きに変えるポテンシャルがある。一方で、AIの信頼性や誤用・悪用などの懸念やリスクも指摘されており、論点整理では、しっかりと懸念やリスクへの対応とバランスを取りながら進めていく必要があるとされている。

（趣旨／大学・高専における対応）

教育分野においては、生成AIを適切に利活用することで、学修効果が上がり、また教職員の業務効率化を図ることができるなどの効果が期待される反面、レポート等の作成に生成AIのみが使われること等に対する懸念が指摘されている。こうした背景も踏まえ、多くの大学・高専では、既に生成AIの教学面の取扱いに関する指針等の策定が進められている状況にある。

大学・高専における生成AIの教学面の取扱いについては、各大学・高専において、具体的に行われている教育の実態等に応じて対応を検討することが重要であり、学生や教職員に向けて適切に指針等を示すなどの対応を行うことが望ましい。その際、生成AIに関しては今後も急速な進歩が続く、教学面への影響が変化することも想定されるため、継続的な状況把握に努め、技術の進展や指針等の運用状況などに応じ、対応を適宜見直していくことが重要である。

文部科学省では、大学・高専の今後の対応の参考となるよう、有識者や数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム拠点校の協力を得て、既に各大学において策定されている指針等の内容等を踏まえつつ、現時点において生成AI（特にChatGPT等の文章生成AIを念頭に置く。以下同じ。）に関して利活用が想定される場面例や留意すべき観点等について、以下のとおり取りまとめた。この内容は、各大学・高専において共通すると考えられる点について、現時点での生成AIの状況も踏まえてまとめたものであり、各大学・高専においては、本内容を参考にしつつ、行われている教育の実態や生成AIに関する最新動向等を踏まえ、主体的・継続的に指針等の見直し、FD・SD等の組織的な研修を含めた対応を検討することが期待される。

4ページ

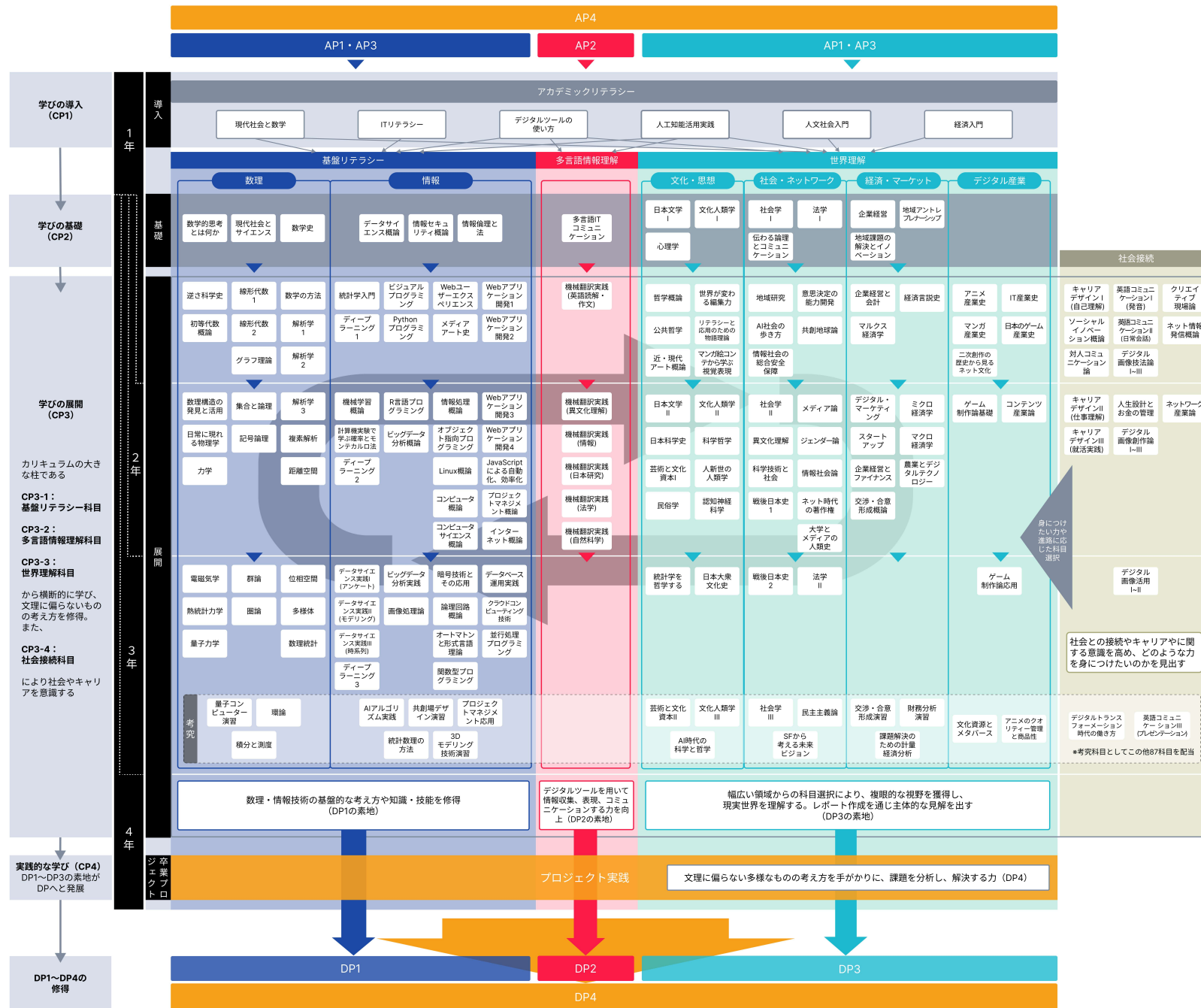
文部科学省では、数理・データサイエンス・AI教育の全国展開を推進しており、前述の要素を含む優れた教育プログラムを政府が認定する「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」を実施しているほか、大学・高専により形成し全国9ブロックで活動する「数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム」において、生成AIを含むデータ・AI利活用の最新動向や、そうした動向を踏まえた留意事項等の内容を含むモデルカリキュラムや教材の開発・改善・普及展開等の取組を継続的に行うこととしており、各大学・高専においては、当該取組の活用・参画についても積極的に検討されたい。

資料29 オンライン教育の現状と課題

論文・レポート名	出版年	著者	ジャーナル・報告書名	号・刊	内容
Studying Learning in the Worldwide Classroom Research into edX's First MOOC	2013	Breslow, Lori et al	Research & Practice in Assessment	8	MITの初期のMOOC授業から取得したデータを分析。 ・MITでは、10分程度の短い時間に区切ってビデオ講義を提供し、それぞれのビデオの間にオンライン演習を挿入し、また電子版の教材や教員・教育補助社から回答が得られるディスカッションフォーラムを整備。 ・学生はビデオの視聴に最も時間を費やすが、割り当てられた課題の回答、ディスカッションフォーラムでの議論などにも多くの時間を割いている。 ・英語ネイティブでない学生は、互いをサポートするためにオンライン上でのグループを形成。 ・クラスメイトや教員とオフラインで協力した学生は、成績が向上する傾向にある。 ・MOOCは全体として授業の修了率が低いが、修了者の多くはディスカッションフォーラムを積極的に活用している。
A review on massive e-learning (MOOC) design, delivery and assessment	2013	Daradoumis, Thanasis et al.	2013 Eighth International Conference on P2P, Parallel, Grid, Cloud and Internet Computing		・一般的なMOOCの課題として、その大規模性ゆえの教育面での学生関与の難しさ、学習者の多様性と成熟度のばらつきへの配慮、中途退学率の高さ、学習効果の分析のノウハウの不足、評価を自動化するゆえの試験のオプションの限定性がある。 ・学習の質を高めるためには、教育エージェント（チューター、メンター、アシスタントやオンラインエージェントなど）の役割が重要である。個別化されたプロセスでコンテンツを出席者のニーズや属性データに適應させ、大量の学習データによってチューターを支援し、学習の個別化を自動化し、また履修のアラートなどの学習プロセスを支援できる。
How Video Production Affects Student Engagement: An Empirical Study of MOOC Videos	2014	Guo, Philip et al.	Proceedings of the first ACM conference on Learning@ scale conference		・MOOCは、世界中の数十万人の学生による数百万回のビデオ再生によって生まれたインタラクションで、多くのデータを得られる。 ・edXの4つのコースにおける6,900万回のビデオ視聴セッションのデータ分析と制作スタッフのインタビューを実施。 ・学生の授業への参加度、及び授業後の試験への参加率は、ビデオが長くなるにつれて低くなる。しかし、これらのデータが集まることで、よりエビデンスに基づいたビデオ制作が可能になる。 ・MOOCで提供される短いビデオでは、簡潔に概念を説明するための入念な授業計画が求められ、これによって教育コンテンツの質が高まる可能性がある。 ・現場のインストラクターは、撮影や編集よりも、撮影前の計画が、最も学生のエンゲージメントに影響を与えていると感じている。既存の授業をただ分割するよりも、最初から短いビデオ用に作られた授業の方が、学生のエンゲージメントが高い。 ・講師の話すスピードが速い方が、学生のエンゲージメントは高い。
Thirty Years of Research on Online Learning	2021	Mayer, Richard	Applied Cognitive Psychology	33 (2)	・教育効果をもたらすのはあくまでメディアではなく教育方法であるが、オンラインメディアは、それまでは難しかった教育方法を可能にする可能性がある。人間の学習のサポートにテクノロジーを適應させる、学習者中心のアプローチを取る必要がある。

Online Education and Its Effective Practice: A Research Review	2016	Sun, Anna and Chen, Xiufang	Journal of Information Technology Education: Research	15	・オンライン教育の学習効果を高めるためには、積極的な議論や、教員と学生のコミュニケーションが重要である。 ・オンライン教育を受ける学生は、働きながら学習するなど従来の学生とは異なる非伝統的な学生であり、コースをしっかりと修了するために授業が戦略的にデザインされることを望んでいる。 ・オンライン教育は、非同期的（同時に学生が授業を受けない）授業が一般的である。学生同士・学生と教員間の社会的結びつきなどの、ソーシャルプレゼンスが重要であり、これによって学習の成果が向上する。また、そのためにはオンラインでの学習者コミュニティの形成が肝要である。
Guidelines for facilitating the development of learning communities in online courses	2014	Yuan, J. and Kim, C	Journal of Computer Assisted Learning	30 (3)	・オンライン教育を受ける学生が中途退学する主要な原因の一つが、教員や同学との相互作用の不足である。 ・学習コミュニティの形成によって、学習者はつながりを感じ、共通の目的を持ち、知識を共有することで、互いの中退率を下げる。 ・特に、社会的なつながりを持つというソーシャル・プレゼンスと、学生にとって意味のある学習成果をもたらすプロセスを指す教育的プレゼンスが重要である。前者は学生同士のつながり、後者は指導者による学生のサポートによって達成される。 ・これらプレゼンスの達成のため、同期的・非同期的なデジタルツールの活用が可能である。

資料30 カリキュラム・ツリー



【資料31】 3つのポリシー対応表

3つのポリシーの関係

AP	アドミッション・ポリシー： 本学は、学ぶ意欲のある多様で幅広い学生により広く高等教育の機会を提供することを目的として設立した大学である。高等学校を卒業した者と同等以上の学力を有し、本学で学ぶために必要な基礎的なデジタルスキルを備え、学ぶ意欲と卒業する意思のある者であれば、一定の条件のもと広く入学を受け入れる。本学のカリキュラムの中核となる必修授業を履修するために必要となる基礎学力が不足している場合でも、アドバイザーによる補習授業やオンデマンド教材の提供により、大学での学びをサポートする。 【入学者に求める資質・能力・意欲】 AP1：高等学校を卒業した者と同等以上の学力（能力） AP2：基礎的デジタルスキル（能力） AP3：新しい学びや活動に挑戦しようとする姿勢（資質） AP4：社会貢献意欲（意欲）		科目区分の名称	卒業要件（124単位以上）	AP1：高等学校を卒業した者と同等以上の学力 AP3：新しい学びや活動に挑戦しようとする姿勢	AP2：基礎的デジタルスキル	AP1：高等学校を卒業した者と同等以上の学力 AP3：新しい学びや活動に挑戦しようとする姿勢	AP4：社会貢献意欲
					↓	↓	↓	↓
CP	CP1：「導入科目」は通信制大学である本学における学びの全体像と学修を進めるための方法を教える科目と、 本学が扱うあらゆる学問領域における学修の出発点となる科目を必修科目として配置する。		導入科目	14単位修得	◎ 本学におけるあらゆる学修の出発点となる科目を学び、基本的なツールの使い方を習得する。 科目：「アカデミックリテラシー」「現代社会と数学」「ITリテラシー」「デジタルツールの使い方」「人工知能活用実践」「人文社会入門」「経済入門」			
	CP2：基礎科目は「導入科目」に続いて、本学における 多様な領域での学びを深め、専門性をもった学問領域への基礎体力を養う 。「基礎リテラシー科目」、「多言語情報理解科目」、「世界理解科目」から初期の段階で学ぶべき科目群を選択必修として定め、「展開科目」における主体的な選択を行うための科目を配置する。		基礎科目	「数理」「情報」「文化・思想」「社会・ネットワーク」「経済・マーケット」それぞれから2単位以上、「多言語ITコミュニケーション」2単位修得	◎ 多様な領域での学びを広げ、専門性をもった学問領域への基礎体力を養う 科目例：「数学的思考とは何か」「情報セキュリティ概論」「多言語ITコミュニケーション」「文化人類学Ⅰ」「社会学Ⅰ」「企業経営」等			
	CP3：「展開科目」は主体的な科目選択により、専門性を持った各領域を横断的・反復的に学び深めることで、ディプロマ・ポリシーの素地を養成するための科目を配置する。（74単位）	CP3-1：「基礎リテラシー科目」は「数理」「情報」領域から構成され、 現在や未来の社会において基礎となる考え方や知識・技能を修得する「数理」領域と、情報技術に触れることでその社会への影響力について理解する「情報」領域からの科目群を配置する。	基礎リテラシー科目（数理）（情報）	基礎リテラシー科目8単位以上修得。ただし基礎科目からの修得を含む	◎ 数理・情報の基礎的な考え方や知識や社会の中での影響力を理解できるようになる	○ デジタルツールを扱うための知識・スキルの向上	CP3-1、CP3-2、CP3-3によって定められた基礎リテラシー科目、多言語情報科目、世界理解科目はそれぞれDP1、DP2、DP3に対応している。更に、各領域での学びを横断的に学ぶことで、多様なものの見方とスキルが身につく、卒業プロジェクトに向けた学びを進める。	
		CP3-2：「多言語情報理解科目」は複数の学問領域に関してそれぞれの学びのプロセスをデジタルツールを活用して進めることを目的とする。 様々な領域の多言語情報をデジタルツールを用いて収集・翻訳・分析し、自身の関心に応じて幅広い領域を学修するコンピテンシーを身につける科目を配置する。	多言語情報理解科目	多言語情報理解科目群から8単位以上修得。ただし基礎科目からの修得を含む	○ デジタルツールを用いて、基礎リテラシー科目の理解を深める	◎ 機械翻訳等のデジタルツールを用いて海外の情報を分析・理解し、表現する力を向上		
		CP3-3：「世界理解科目」は 幅広く捉えどころのないものを理解する能力を養う「文化・思想」領域と経済や市場のダイナミズムとを結びつけて社会を理解する視点を持つ「経済・マーケット」領域、そして社会をどのように分析し、解釈し、そこで生きていくかを考える能力を身につける「社会・ネットワーク」領域の科目を配置する。 また本学の特徴的な科目群として「デジタル産業」領域の科目を配置する。	世界理解科目（文化・思想）（社会・ネットワーク）（経済・マーケット）（デジタル産業）	世界理解科目26単位以上修得。ただし基礎科目からの修得を含む。かつ「デジタル産業」のデジタル産業史の中から、2単位以上修得	○ 様々な学問領域の知識を用いて情報を収集し、表現する力を養成	◎ 幅広い領域からの科目選択により、複眼的な視野を獲得し、現実世界を理解し、主体的な見解を出す。		
		CP3-4：「社会接続科目」は、文理や学問体系に捉われず、学生が自身の キャリアや社会との接続に関する意識を高め、実務者から実用的な思考法やスキルを学ぶ科目 であり、本学での横断的な学びを促進するガイドラインともなる科目群を配置する。	社会接続科目	卒業要件に算入することができる単位数の上限は、10単位とする	○	○		○
	CP4：必修科目となっている「卒業プロジェクト」はプロジェクト型の授業を通じ、 今まで学んだ知識・スキルを統合する実践力が求められ 、ZEN大学が目指す学位に相応しい専門性を身につけた証とする。		プロジェクト実践科目	卒業プロジェクト4単位修得	◎ 実践的なプロジェクト型学修の中でこれまで学んだ内容を活かして課題を分析し、解決する力を身につける			
					↓			
DP					DP1：社会の基礎にある数理・情報技術とそれがもたらす影響力を理解する力	DP2：デジタルツールを用いて情報収集、表現、コミュニケーションする力	DP3：社会や世界を形作ってきた学問分野の蓄積を適切に咀嚼し、現実世界を深く理解し、主体的な見解を紡ぎ出す力	DP4：文理に偏らない多様なものの考え方を手掛かりに、課題を分析し、解決する力

◎：どの科目選択の仕方をしても満たされる

○：一部の科目と対応している、もしくは間接的に養われる。

資料32 カリキュラム・マップ

科目区分			授業科目の名称	配当年次	授業の方法	開講クォーター	ナンバリング	主要 授業 科目	必修	選択 必修	選択	自由	DP1	DP2	DP3	DP4
導入科目	導入科目	導入	アカデミックリテラシー	1年次	オンデマンド科目	1,3	INT-1-A1-1030-001	○	○				◎	◎	◎	◎
導入科目	導入科目	導入	現代社会と数学	1年次	オンデマンド科目	1,3	INT-1-A1-1030-002	○	○				◎	○	◎	◎
導入科目	導入科目	導入	ITリテラシー	1年次	オンデマンド科目	1,3	INT-1-A1-1030-003	○	○				◎	◎		○
導入科目	導入科目	導入	デジタルツールの使い方	1年次	オンデマンド科目	2,4	INT-1-A1-0204-004	○	○				◎	◎	◎	◎
導入科目	導入科目	導入	人工知能活用実践	1年次	ライブ映像科目	1~2,3~4	INT-1-A2-1234-005	○	○				◎	◎	◎	◎
導入科目	導入科目	導入	人文社会入門	1年次	オンデマンド科目	1,3	INT-1-A1-1030-006	○	○					○	◎	◎
導入科目	導入科目	導入	経済入門	1年次	オンデマンド科目	2,4	INT-1-A1-0204-007	○	○					○	◎	◎
基礎科目	基盤リテラシー科目	情報	情報セキュリティ概論	1~2年次	オンデマンド科目	1,3	BSC-1-B1-1030-001	○		○			◎	◎	○	◎
基礎科目	基盤リテラシー科目	情報	情報倫理と法	1~2年次	オンデマンド科目	2,4	BSC-1-B1-0204-002	○		○			◎	◎	○	◎
基礎科目	基盤リテラシー科目	情報	データサイエンス概論	1~2年次	オンデマンド科目	2,4	BSC-1-B1-0204-003	○		○			◎	◎	○	◎
基礎科目	基盤リテラシー科目	数理	数学的思考とは何か	1~2年次	オンデマンド科目	2,4	BSC-1-B1-0204-004	○		○			◎	○	○	○
基礎科目	基盤リテラシー科目	数理	数学史	1~2年次	オンデマンド科目	1,3	BSC-1-B1-1030-005	○		○			◎	○	○	○
基礎科目	基盤リテラシー科目	数理	現代社会とサイエンス	1~2年次	オンデマンド科目	2,4	BSC-1-B1-0204-006	○		○			◎	○	○	○
基礎科目	多言語情報理解科目	多言語情報理解	多言語ITコミュニケーション	1~2年次	ライブ映像科目	1~2,3~4	BSC-1-A2-1234-007	○		○				◎		◎
基礎科目	世界理解科目	文化・思想	日本文学 I	1~2年次	オンデマンド科目	1,3	BSC-1-B1-1030-008	○		○				○	◎	○
基礎科目	世界理解科目	文化・思想	文化人類学 I	1~2年次	オンデマンド科目	1,3	BSC-1-B1-1030-009	○		○				○	◎	○
基礎科目	世界理解科目	文化・思想	心理学	1~2年次	オンデマンド科目	2,4	BSC-1-B1-0204-010	○		○				○	◎	○
基礎科目	世界理解科目	社会・ネットワーク	社会学 I	1~2年次	オンデマンド科目	1,3	BSC-1-B1-1030-011	○		○				○	◎	○
基礎科目	世界理解科目	社会・ネットワーク	法学 I	1~2年次	オンデマンド科目	2,4	BSC-1-B1-0204-012	○		○				○	◎	○
基礎科目	世界理解科目	社会・ネットワーク	伝わる論理とコミュニケーション	1~2年次	オンデマンド科目	1,3	BSC-1-B1-1030-013	○		○				○	◎	○
基礎科目	世界理解科目	経済・マーケット	企業経営	1~2年次	オンデマンド科目	2,4	BSC-1-B1-0204-014	○		○				○	◎	◎
基礎科目	世界理解科目	経済・マーケット	地域アントレプレナーシップ	1~2年次	オンデマンド科目	2,4	BSC-1-B1-0204-015	○		○				○	◎	◎
基礎科目	世界理解科目	経済・マーケット	地域課題の解決とイノベーション	1~2年次	オンデマンド科目	2,4	BSC-1-B1-0204-016	○		○				○	◎	◎
展開科目	基盤リテラシー科目	情報	ビジュアルプログラミング	1~4年次	オンデマンド科目	1,3	INF-1-C1-1030-001				○		◎	◎		○
展開科目	基盤リテラシー科目	情報	Webアプリケーション開発1	1~4年次	オンデマンド科目	1,3	INF-1-C1-1030-002				○		◎	◎		○
展開科目	基盤リテラシー科目	情報	Webアプリケーション開発2	1~4年次	オンデマンド科目	2,4	INF-1-C1-0204-003				○		◎	◎		○
展開科目	基盤リテラシー科目	情報	Pythonプログラミング	1~4年次	オンデマンド科目	2,4	INF-1-C1-0204-004				○		◎	◎		○
展開科目	基盤リテラシー科目	情報	Webユーザーエクスペリエンス	1~4年次	オンデマンド科目	2,4	INF-1-C1-0204-005				○		◎	◎		○
展開科目	基盤リテラシー科目	情報	メディアアート史	1~4年次	オンデマンド科目	2,4	INF-1-C1-0204-006				○		◎	◎		○
展開科目	基盤リテラシー科目	情報	統計学入門	1~4年次	オンデマンド科目	1,3	INF-1-C1-1030-007				○		◎	◎		◎
展開科目	基盤リテラシー科目	情報	ディープラーニング1	1~4年次	オンデマンド科目	1,3	INF-1-C1-1030-008				○		◎	◎		◎
展開科目	基盤リテラシー科目	情報	インターネット概論	2~4年次	オンデマンド科目	1,3	INF-2-C1-1030-001				○		◎	◎		○
展開科目	基盤リテラシー科目	情報	プロジェクトマネジメント概論	2~4年次	オンデマンド科目	1,3	INF-2-C1-1030-002				○		◎	◎		○
展開科目	基盤リテラシー科目	情報	Webアプリケーション開発3	2~4年次	オンデマンド科目	1,3	INF-2-C1-1030-003				○		◎	◎		○
展開科目	基盤リテラシー科目	情報	Linux概論	2~4年次	オンデマンド科目	1,3	INF-2-C1-1030-004				○		◎	◎		○
展開科目	基盤リテラシー科目	情報	オブジェクト指向プログラミング	2~4年次	オンデマンド科目	1,3	INF-2-C1-1030-005				○		◎	◎		○
展開科目	基盤リテラシー科目	情報	コンピューターサイエンス概論	2~4年次	オンデマンド科目	1,3	INF-2-C1-1030-006				○		◎	◎		○
展開科目	基盤リテラシー科目	情報	JavaScriptによる自動化、効率化	2~4年次	オンデマンド科目	2,4	INF-2-C1-0204-007				○		◎	◎		○
展開科目	基盤リテラシー科目	情報	情報処理概論	2~4年次	オンデマンド科目	2,4	INF-2-C1-0204-008				○		◎	◎		○

科目区分			授業科目の名称	配当年次	授業の方法	開講クォーター	ナンバリング	主要 授業 科目	必修	選択 必修	選択	自由	DP1	DP2	DP3	DP4
展開科目	基盤リテラシー科目	情報	コンピュータ概論	2~4年次	オンデマンド科目	2,4	INF-2-C1-0204-009				○		◎	◎		○
展開科目	基盤リテラシー科目	情報	Webアプリケーション開発4	2~4年次	オンデマンド科目	2,4	INF-2-C1-0204-010				○		◎	◎		○
展開科目	基盤リテラシー科目	情報	機械学習概論	2~4年次	オンデマンド科目	1,3	INF-2-C1-1030-011				○		◎	◎		◎
展開科目	基盤リテラシー科目	情報	計算機実験で学ぶ確率とモンテカルロ法	2~4年次	オンデマンド科目	1,3	INF-2-C1-1030-012				○		◎	◎		◎
展開科目	基盤リテラシー科目	情報	ディープラーニング2	2~4年次	オンデマンド科目	1,3	INF-2-C1-1030-013				○		◎	◎		◎
展開科目	基盤リテラシー科目	情報	ビッグデータ分析概論	2~4年次	オンデマンド科目	1,3	INF-2-C1-1030-014				○		◎	◎		◎
展開科目	基盤リテラシー科目	情報	R言語プログラミング	2~4年次	オンデマンド科目	2,4	INF-2-C1-0204-015				○		◎	◎		◎
展開科目	基盤リテラシー科目	情報	クラウドコンピューティング技術	3~4年次	オンデマンド科目	1,3	INF-3-C1-1030-001				○		◎	◎		○
展開科目	基盤リテラシー科目	情報	関数型プログラミング	3~4年次	オンデマンド科目	1,3	INF-3-C1-1030-002				○		◎	◎		○
展開科目	基盤リテラシー科目	情報	オートマトンと形式言語理論	3~4年次	オンデマンド科目	1,3	INF-3-C1-1030-003				○		◎	◎		○
展開科目	基盤リテラシー科目	情報	暗号技術とその応用	3~4年次	オンデマンド科目	1,3	INF-3-C1-1030-004				○		◎	◎		○
展開科目	基盤リテラシー科目	情報	データベース運用実践	3~4年次	オンデマンド科目	2,4	INF-3-C1-0204-005				○		◎	◎		○
展開科目	基盤リテラシー科目	情報	並行処理プログラミング	3~4年次	オンデマンド科目	2,4	INF-3-C1-0204-006				○		◎	◎		○
展開科目	基盤リテラシー科目	情報	画像処理論	3~4年次	オンデマンド科目	2,4	INF-3-C1-0204-007				○		◎	◎		○
展開科目	基盤リテラシー科目	情報	論理回路概論	3~4年次	オンデマンド科目	2,4	INF-3-C1-0204-008				○		◎	◎		○
展開科目	基盤リテラシー科目	情報	データサイエンス実践Ⅰ（アンケート）	3~4年次	オンデマンド科目	1,3	INF-3-C1-1030-009				○		◎	◎		◎
展開科目	基盤リテラシー科目	情報	データサイエンス実践Ⅱ（モデリング）	3~4年次	オンデマンド科目	1,3	INF-3-C1-1030-010				○		◎	◎		◎
展開科目	基盤リテラシー科目	情報	データサイエンス実践Ⅲ（時系列）	3~4年次	オンデマンド科目	2,4	INF-3-C1-0204-011				○		◎	◎		◎
展開科目	基盤リテラシー科目	情報	ディープラーニング3	3~4年次	オンデマンド科目	1,3	INF-3-C1-1030-012				○		◎	◎		◎
展開科目	基盤リテラシー科目	情報	ビッグデータ分析実践	3~4年次	オンデマンド科目	1,3	INF-3-C1-1030-013				○		◎	◎		◎
展開科目	基盤リテラシー科目	数理	数学の方法	1~4年次	オンデマンド科目	2,4	MTH-1-C1-0204-001				○		◎	○		○
展開科目	基盤リテラシー科目	数理	逆さ科学史	1~4年次	オンデマンド科目	2,4	MTH-1-C1-0204-002				○		◎	○		○
展開科目	基盤リテラシー科目	数理	初等代数概論	1~4年次	オンデマンド科目	1,3	MTH-1-C1-1030-003				○		◎	○		○
展開科目	基盤リテラシー科目	数理	線形代数1	1~4年次	オンデマンド科目	1,3	MTH-1-C1-1030-004				○		◎	○		○
展開科目	基盤リテラシー科目	数理	解析学1	1~4年次	オンデマンド科目	2,4	MTH-1-C1-0204-005				○		◎	○		○
展開科目	基盤リテラシー科目	数理	線形代数2	1~4年次	オンデマンド科目	1,3	MTH-1-C1-1030-006				○		◎	○		○
展開科目	基盤リテラシー科目	数理	解析学2	1~4年次	オンデマンド科目	2,4	MTH-1-C1-0204-007				○		◎	○		○
展開科目	基盤リテラシー科目	数理	グラフ理論	1~4年次	オンデマンド科目	2,4	MTH-1-C1-0204-008				○		◎	○		○
展開科目	基盤リテラシー科目	数理	数理構造の発見と活用	2~4年次	オンデマンド科目	2,4	MTH-2-C1-0204-001				○		◎	○		○
展開科目	基盤リテラシー科目	数理	集合と論理	2~4年次	オンデマンド科目	1,3	MTH-2-C1-1030-002				○		◎	○		○
展開科目	基盤リテラシー科目	数理	記号論理	2~4年次	オンデマンド科目	2,4	MTH-2-C1-0204-003				○		◎	○		○
展開科目	基盤リテラシー科目	数理	解析学3	2~4年次	オンデマンド科目	1,3	MTH-2-C1-1030-004				○		◎	○		○
展開科目	基盤リテラシー科目	数理	距離空間	2~4年次	オンデマンド科目	1,3	MTH-2-C1-1030-005				○		◎	○		○
展開科目	基盤リテラシー科目	数理	複素解析	2~4年次	オンデマンド科目	1,3	MTH-2-C1-1030-006				○		◎	○		○
展開科目	基盤リテラシー科目	数理	日常に現れる物理学	2~4年次	オンデマンド科目	2,4	MTH-2-C1-0204-007				○		◎	○		○
展開科目	基盤リテラシー科目	数理	力学	2~4年次	オンデマンド科目	1,3	MTH-2-C1-1030-008				○		◎	○		○
展開科目	基盤リテラシー科目	数理	群論	3~4年次	オンデマンド科目	1,3	MTH-3-C1-1030-001				○		◎	○		○
展開科目	基盤リテラシー科目	数理	位相空間	3~4年次	オンデマンド科目	2,4	MTH-3-C1-0204-002				○		◎	○		○
展開科目	基盤リテラシー科目	数理	多様体	3~4年次	オンデマンド科目	2,4	MTH-3-C1-0204-003				○		◎	○		○

科目区分			授業科目の名称	配当年次	授業の方法	開講クォーター	ナンバリング	主要 授業 科目	必修	選択 必修	選択	自由	DP1	DP2	DP3	DP4
展開科目	基盤リテラシー科目	数理	圏論	3~4年次	オンデマンド科目	1,3	MTH-3-C1-1030-004				○		◎	○		○
展開科目	基盤リテラシー科目	数理	数理統計	3~4年次	オンデマンド科目	2,4	MTH-3-C1-0204-005				○		◎	○		○
展開科目	基盤リテラシー科目	数理	電磁気学	3~4年次	オンデマンド科目	1,3	MTH-3-C1-1030-006				○		◎	○		○
展開科目	基盤リテラシー科目	数理	量子力学	3~4年次	オンデマンド科目	2,4	MTH-3-C1-0204-007				○		◎	○		○
展開科目	基盤リテラシー科目	数理	熱統計力学	3~4年次	オンデマンド科目	2,4	MTH-3-C1-0204-008				○		◎	○		○
展開科目	多言語情報理解科目	多言語情報理解	機械翻訳実践（英語読解・作文）	1~4年次	オンデマンド科目	1,3	LAN-1-B1-1030-001	○		○			◎		◎	
展開科目	多言語情報理解科目	多言語情報理解	機械翻訳実践（法学）	2~4年次	ライブ映像科目	1~2	LAN-2-B2-1200-001	○		○			◎	◎	◎	
展開科目	多言語情報理解科目	多言語情報理解	機械翻訳実践（情報）	2~4年次	ライブ映像科目	1~2	LAN-2-B2-1200-002	○		○			◎	◎		◎
展開科目	多言語情報理解科目	多言語情報理解	機械翻訳実践（異文化理解）	2~4年次	ライブ映像科目	3~4	LAN-2-B2-0034-003	○		○			◎	◎	◎	
展開科目	多言語情報理解科目	多言語情報理解	機械翻訳実践（自然科学）	2~4年次	ライブ映像科目	3~4	LAN-2-B2-0034-004	○		○			◎	◎		◎
展開科目	多言語情報理解科目	多言語情報理解	機械翻訳実践（日本研究）	2~4年次	ライブ映像科目	3~4	LAN-2-B2-0034-005	○		○			◎	◎	◎	
展開科目	世界理解科目	文化・思想	世界が変わる編集力	1~4年次	オンデマンド科目	1,3	HUM-1-C1-1030-001				○			○	◎	◎
展開科目	世界理解科目	文化・思想	リテラシーと応用のための物語理論	1~4年次	オンデマンド科目	1,3	HUM-1-C1-1030-002				○			○	◎	○
展開科目	世界理解科目	文化・思想	哲学概論	1~4年次	オンデマンド科目	2,4	HUM-1-C1-0204-003				○			○	◎	○
展開科目	世界理解科目	文化・思想	公共哲学	1~4年次	オンデマンド科目	2,4	HUM-1-C1-0204-004				○			○	◎	○
展開科目	世界理解科目	文化・思想	マンガ絵コンテから学ぶ視覚表現	1~4年次	オンデマンド科目	2,4	HUM-1-C1-0204-005				○			○	◎	○
展開科目	世界理解科目	文化・思想	近・現代アート概論	1~4年次	オンデマンド科目	2,4	HUM-1-C1-0204-006				○			○	◎	○
展開科目	世界理解科目	文化・思想	認知神経科学	2~4年次	オンデマンド科目	1,3	HUM-2-C1-1030-001				○			○	◎	○
展開科目	世界理解科目	文化・思想	科学哲学	2~4年次	オンデマンド科目	1,3	HUM-2-C1-1030-002				○			○	◎	◎
展開科目	世界理解科目	文化・思想	人新世の人類学	2~4年次	オンデマンド科目	1,3	HUM-2-C1-1030-003				○			○	◎	○
展開科目	世界理解科目	文化・思想	日本文学Ⅱ	2~4年次	オンデマンド科目	2,4	HUM-2-C1-0204-004				○			○	◎	○
展開科目	世界理解科目	文化・思想	文化人類学Ⅱ	2~4年次	オンデマンド科目	2,4	HUM-2-C1-0204-005				○			○	◎	○
展開科目	世界理解科目	文化・思想	民俗学	2~4年次	オンデマンド科目	2,4	HUM-2-C1-0204-006				○			○	◎	◎
展開科目	世界理解科目	文化・思想	日本科学史	2~4年次	オンデマンド科目	2,4	HUM-2-C1-0204-007				○			○	◎	◎
展開科目	世界理解科目	文化・思想	芸術と文化資本Ⅰ	2~4年次	オンデマンド科目	2,4	HUM-2-C1-0204-008				○			○	◎	○
展開科目	世界理解科目	文化・思想	統計学を哲学する	3~4年次	オンデマンド科目	1,3	HUM-3-C1-1030-001				○			○	◎	◎
展開科目	世界理解科目	文化・思想	日本大衆文化史	3~4年次	オンデマンド科目	1,3	HUM-3-C1-1030-002				○			○	◎	○
展開科目	世界理解科目	社会・ネットワーク	AI社会の歩き方	1~4年次	ライブ映像科目	1~2	SOC-1-C2-1200-001				○			○	◎	◎
展開科目	世界理解科目	社会・ネットワーク	地域研究	1~4年次	オンデマンド科目	2,4	SOC-1-C1-0204-002				○			○	◎	○
展開科目	世界理解科目	社会・ネットワーク	意思決定の能力開発	1~4年次	オンデマンド科目	2,4	SOC-1-C1-0204-003				○			○	◎	○
展開科目	世界理解科目	社会・ネットワーク	共創地球論	1~4年次	オンデマンド科目	2,4	SOC-1-C1-0204-004				○			○	◎	○
展開科目	世界理解科目	社会・ネットワーク	情報社会の総合安全保障	1~4年次	オンデマンド科目	2,4	SOC-1-C1-0204-005				○			○	◎	◎
展開科目	世界理解科目	社会・ネットワーク	ネット時代の著作権	2~4年次	ライブ映像科目	1~2	SOC-2-C2-1200-001				○			○	◎	◎
展開科目	世界理解科目	社会・ネットワーク	ジェンダー論	2~4年次	オンデマンド科目	1,3	SOC-2-C1-1030-002				○			○	◎	◎
展開科目	世界理解科目	社会・ネットワーク	メディア論	2~4年次	オンデマンド科目	1,3	SOC-2-C1-1030-003				○			○	◎	◎
展開科目	世界理解科目	社会・ネットワーク	科学技術と社会	2~4年次	オンデマンド科目	1,3	SOC-2-C1-1030-004				○			○	◎	◎
展開科目	世界理解科目	社会・ネットワーク	情報社会論	2~4年次	オンデマンド科目	1,3	SOC-2-C1-1030-005				○			○	◎	◎
展開科目	世界理解科目	社会・ネットワーク	戦後日本史1	2~4年次	オンデマンド科目	1,3	SOC-2-C1-1030-006				○			○	◎	○
展開科目	世界理解科目	社会・ネットワーク	異文化理解	2~4年次	オンデマンド科目	1,3	SOC-2-C1-1030-007				○			○	◎	○

科目区分			授業科目の名称	配当年次	授業の方法	開講クォーター	ナンバリング	主要 授業 科目	必修	選択 必修	選択	自由	DP1	DP2	DP3	DP4
展開科目	世界理解科目	社会・ネットワーク	大学とメディアの人類史	2~4年次	オンデマンド科目	1,3	SOC-2-C1-1030-008				○			○	◎	○
展開科目	世界理解科目	社会・ネットワーク	社会学Ⅱ	2~4年次	オンデマンド科目	2,4	SOC-2-C1-0204-009				○			○	◎	○
展開科目	世界理解科目	社会・ネットワーク	法学Ⅱ	3~4年次	オンデマンド科目	1,3	SOC-3-C1-1030-001				○			○	◎	○
展開科目	世界理解科目	社会・ネットワーク	戦後日本史2	3~4年次	オンデマンド科目	2,4	SOC-3-C1-0204-002				○			○	◎	○
展開科目	世界理解科目	経済・マーケット	経済言説史	1~4年次	オンデマンド科目	1,3	ECON-1-C1-1030-001				○			○	◎	○
展開科目	世界理解科目	経済・マーケット	マルクス経済学	1~4年次	オンデマンド科目	2,4	ECON-1-C1-0204-002				○			○	◎	○
展開科目	世界理解科目	経済・マーケット	企業経営と会計	1~4年次	オンデマンド科目	1,3	ECON-1-C1-1030-003				○			○	◎	○
展開科目	世界理解科目	経済・マーケット	マクロ経済学	2~4年次	オンデマンド科目	1,3	ECON-2-C1-1030-001				○			○	◎	○
展開科目	世界理解科目	経済・マーケット	ミクロ経済学	2~4年次	オンデマンド科目	2,4	ECON-2-C1-0204-002				○			○	◎	○
展開科目	世界理解科目	経済・マーケット	企業経営とファイナンス	2~4年次	オンデマンド科目	2,4	ECON-2-C1-0204-003				○			○	◎	◎
展開科目	世界理解科目	経済・マーケット	デジタル・マーケティング	2~4年次	オンデマンド科目	2,4	ECON-2-C1-0204-004				○			○	◎	◎
展開科目	世界理解科目	経済・マーケット	スタートアップ	2~4年次	オンデマンド科目	2,4	ECON-2-C1-0204-005				○			○	◎	◎
展開科目	世界理解科目	経済・マーケット	農業とデジタルテクノロジー	2~4年次	オンデマンド科目	2,4	ECON-2-C1-0204-006				○			○	◎	◎
展開科目	世界理解科目	経済・マーケット	交渉・合意形成概論	2~4年次	オンデマンド科目	2,4	ECON-2-C1-0204-007				○			○	◎	◎
展開科目	世界理解科目	デジタル産業	IT産業史	1~4年次	オンデマンド科目	1,3	DIGI-1-B1-1030-001	○		○				○	◎	◎
展開科目	世界理解科目	デジタル産業	マンガ産業史	1~4年次	オンデマンド科目	1,3	DIGI-1-B1-1030-002	○		○				○	◎	◎
展開科目	世界理解科目	デジタル産業	アニメ産業史	1~4年次	オンデマンド科目	2,4	DIGI-1-B1-0204-003	○		○				○	◎	◎
展開科目	世界理解科目	デジタル産業	日本のゲーム産業史	1~4年次	オンデマンド科目	2,4	DIGI-1-B1-0204-004	○		○				○	◎	◎
展開科目	世界理解科目	デジタル産業	二次創作の歴史から見るネット文化	1~4年次	ライブ映像科目	3~4	DIGI-1-C2-0034-005				○			○	◎	◎
展開科目	世界理解科目	デジタル産業	コンテンツ産業論	2~4年次	オンデマンド科目	1,3	DIGI-2-C1-1030-001				○			○	◎	◎
展開科目	世界理解科目	デジタル産業	ゲーム制作論基礎	2~4年次	オンデマンド科目	1,3	DIGI-2-C1-1030-002				○			○	◎	◎
展開科目	世界理解科目	デジタル産業	ゲーム制作論応用	3~4年次	オンデマンド科目	1,3	DIGI-3-C1-1030-001				○			○	◎	◎
展開科目	社会接続科目	社会接続	キャリアデザインⅠ（自己理解）	1~4年次	オンデマンド科目	2,4	CAR-1-C1-0204-001				○		○	○	○	◎
展開科目	社会接続科目	社会接続	英語コミュニケーションⅠ（発音）	1~4年次	オンデマンド科目	1,3	CAR-1-C1-1030-002				○			◎		○
展開科目	社会接続科目	社会接続	英語コミュニケーションⅡ（日常会話）	1~4年次	オンデマンド科目	2,4	CAR-1-C1-0204-003				○			◎		○
展開科目	社会接続科目	社会接続	対人コミュニケーション論	1~4年次	オンデマンド科目	2,4	CAR-1-C1-0204-004				○			◎		○
展開科目	社会接続科目	社会接続	クリエイティブ現場論	1~4年次	ライブ映像科目	1~2	CAR-1-C2-1200-005				○			◎		○
展開科目	社会接続科目	社会接続	ソーシャルイノベーション概論	1~4年次	ライブ映像科目	1~2	CAR-1-C2-1200-006				○			○		◎
展開科目	社会接続科目	社会接続	ネット情報発信概論	1~4年次	ライブ映像科目	3~4	CAR-1-C2-0034-007				○			◎		○
展開科目	社会接続科目	社会接続	デジタル画像技法論Ⅰ	1~4年次	オンデマンド科目	1,3	CAR-1-C1-1030-008				○			◎		○
展開科目	社会接続科目	社会接続	デジタル画像技法論Ⅱ	1~4年次	オンデマンド科目	1,3	CAR-1-C1-1030-009				○			◎		○
展開科目	社会接続科目	社会接続	デジタル画像技法論Ⅲ	1~4年次	オンデマンド科目	2,4	CAR-1-C1-0204-010				○			◎		○
展開科目	社会接続科目	社会接続	キャリアデザインⅡ（仕事理解）	2~4年次	オンデマンド科目	1,3	CAR-2-C1-1030-001				○		○	○	○	◎
展開科目	社会接続科目	社会接続	キャリアデザインⅢ（就活実践）	2~4年次	オンデマンド科目	2,4	CAR-2-C1-0204-002				○		○	○	○	◎
展開科目	社会接続科目	社会接続	人生設計とお金の管理	2~4年次	オンデマンド科目	2,4	CAR-2-C1-0204-003				○		○	○	○	◎
展開科目	社会接続科目	社会接続	ネットワーク産業論	2~4年次	ライブ映像科目	1~2	CAR-2-C2-1200-004				○		○	◎	○	○
展開科目	社会接続科目	社会接続	デジタル画像創作論Ⅰ	2~4年次	オンデマンド科目	1,3	CAR-2-C1-1030-005				○			◎		○
展開科目	社会接続科目	社会接続	デジタル画像創作論Ⅱ	2~4年次	オンデマンド科目	2,4	CAR-2-C1-0204-006				○			◎		○
展開科目	社会接続科目	社会接続	デジタル画像創作論Ⅲ	2~4年次	オンデマンド科目	2,4	CAR-2-C1-0204-007				○			◎		○

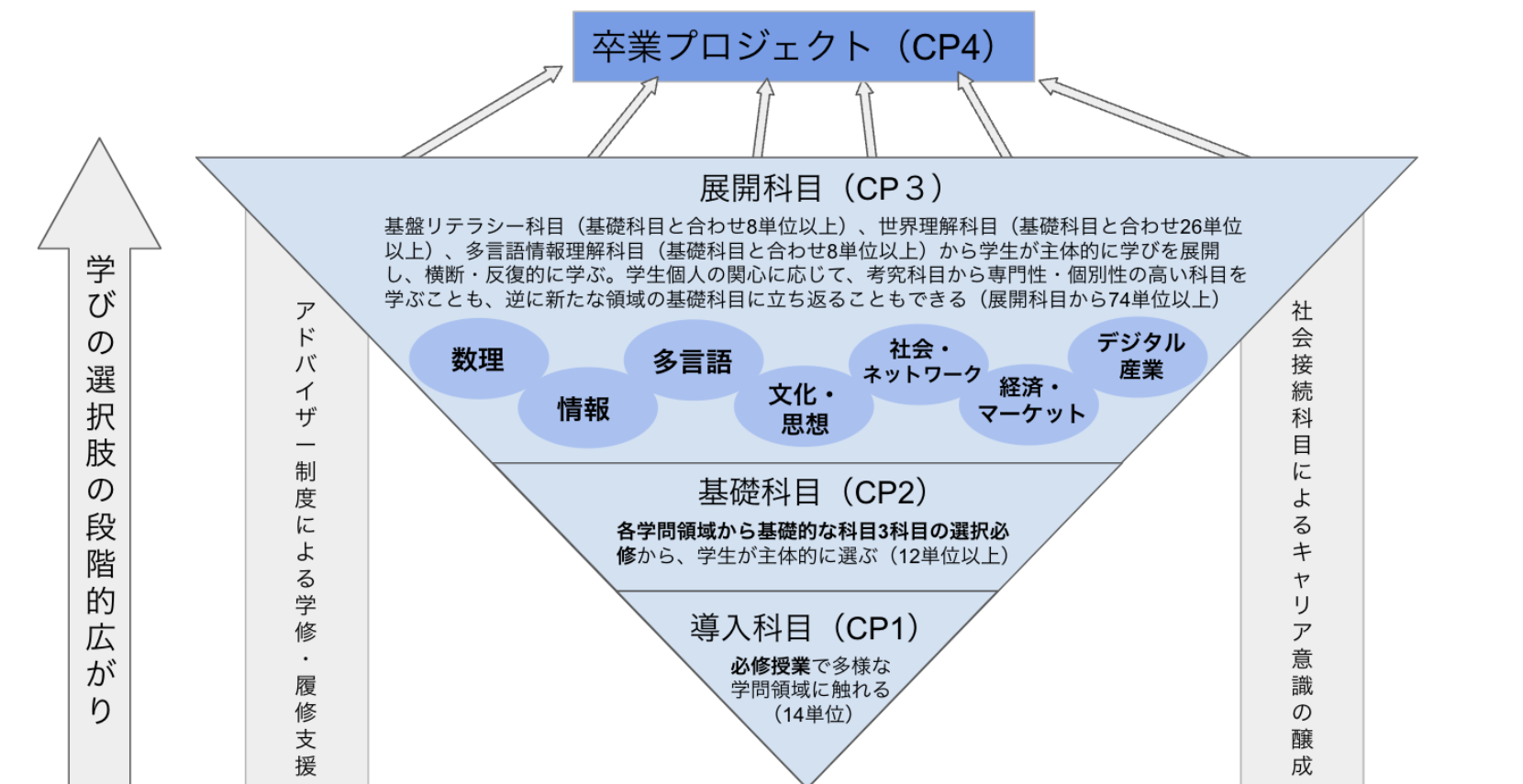
科目区分			授業科目の名称	配当年次	授業の方法	開講クォーター	ナンバリング	主要 授業 科目	必修	選択 必修	選択	自由	DP1	DP2	DP3	DP4
展開科目	社会接続科目	社会接続	デジタル画像活用Ⅰ	3~4年次	オンデマンド科目	1,3	CAR-3-C1-1030-001				○			◎		○
展開科目	社会接続科目	社会接続	デジタル画像活用Ⅱ	3~4年次	オンデマンド科目	2,4	CAR-3-C1-0204-002				○			◎		○
展開科目（考究）	基盤リテラシー科目	情報	情報収集と伝達技術	1~4年次	演習科目	3~4	INF-1-C3-0034-009				○		◎	◎		○
展開科目（考究）	基盤リテラシー科目	情報	3Dモデリング技術演習	2~4年次	演習科目	1~2	INF-2-C3-1200-016				○		◎	◎		○
展開科目（考究）	基盤リテラシー科目	情報	ジェネラティブアート演習	2~4年次	演習科目	1~2	INF-2-C3-1200-017				○		◎	◎		○
展開科目（考究）	基盤リテラシー科目	情報	インターネットのしくみ	2~4年次	演習科目	3~4	INF-2-C3-0034-018				○		◎	◎		○
展開科目（考究）	基盤リテラシー科目	情報	Javaプログラミング演習	2~4年次	演習科目	3~4	INF-2-C3-0034-019				○		◎	◎		○
展開科目（考究）	基盤リテラシー科目	情報	Webセキュリティ演習	2~4年次	演習科目	3~4	INF-2-C3-0034-020				○		◎	◎		○
展開科目（考究）	基盤リテラシー科目	情報	デジタルイラスト演習基礎	2~4年次	演習科目	3~4	INF-2-C3-0034-021				○		◎	◎		○
展開科目（考究）	基盤リテラシー科目	情報	AIアルゴリズム実践	2~4年次	演習科目	3~4	INF-2-C3-0034-022				○		◎	◎		◎
展開科目（考究）	基盤リテラシー科目	情報	統計学展望	2~4年次	演習科目	1~2	INF-2-C3-1200-023				○		◎	◎		◎
展開科目（考究）	基盤リテラシー科目	情報	マーケティング×データサイエンス	2~4年次	演習科目	3~4	INF-2-C3-0034-024				○		◎	◎		○
展開科目（考究）	基盤リテラシー科目	情報	ゲームプログラミング演習	3~4年次	演習科目	1~2	INF-3-C3-1200-014				○		◎	◎		○
展開科目（考究）	基盤リテラシー科目	情報	チームプログラミング演習	3~4年次	演習科目	1~2	INF-3-C3-1200-015				○		◎	◎		○
展開科目（考究）	基盤リテラシー科目	情報	プロジェクトマネジメント応用	3~4年次	演習科目	1~2	INF-3-C3-1200-016				○		◎	◎		○
展開科目（考究）	基盤リテラシー科目	情報	Webアプリケーション開発演習	3~4年次	演習科目	3~4	INF-3-C3-0034-017				○		◎	◎		○
展開科目（考究）	基盤リテラシー科目	情報	動画クリエイター技術演習	3~4年次	演習科目	1~2	INF-3-C3-1200-018				○		◎	◎		○
展開科目（考究）	基盤リテラシー科目	情報	Webデザイン演習	3~4年次	演習科目	1~2	INF-3-C3-1200-019				○		◎	◎		○
展開科目（考究）	基盤リテラシー科目	情報	デジタルイラスト演習発展	3~4年次	演習科目	1~2	INF-3-C3-1200-020				○		◎	◎		○
展開科目（考究）	基盤リテラシー科目	情報	共創場デザイン演習	3~4年次	演習科目	3~4	INF-3-C3-0034-021				○		◎	◎		○
展開科目（考究）	基盤リテラシー科目	情報	統計数理の方法	3~4年次	演習科目	3~4	INF-3-C3-0034-022				○		◎	◎		◎
展開科目（考究）	基盤リテラシー科目	情報	自然言語処理の方法	3~4年次	演習科目	1~2	INF-3-C3-1200-023				○		◎	◎		○
展開科目（考究）	基盤リテラシー科目	情報	ゼミ（インターネットのしくみ（応用））	3~4年次	ゼミ	1~4	INF-3-C4-1234-024				○		◎	◎		○
展開科目（考究）	基盤リテラシー科目	情報	ゼミ（質的データ分析&エージェントシミュレーション）	3~4年次	ゼミ	1~4	INF-3-C4-1234-025				○		◎	◎		○
展開科目（考究）	基盤リテラシー科目	情報	ゼミ（情報セキュリティ）	3~4年次	ゼミ	1~4	INF-3-C4-1234-026				○		◎	◎		○
展開科目（考究）	基盤リテラシー科目	情報	ゼミ（AIデータサイエンス価値創造ゼミⅠ）	3~4年次	ゼミ	1~4	INF-3-C4-1234-027				○		◎	◎		◎
展開科目（考究）	基盤リテラシー科目	情報	ゼミ（AIデータサイエンス価値創造ゼミⅡ）	3~4年次	ゼミ	1~4	INF-3-C4-1234-028				○		◎	◎		◎
展開科目（考究）	基盤リテラシー科目	情報	ゼミ（メディアアート）	4年次	ゼミ	1~4	INF-4-C4-1234-001				○		◎	◎		○
展開科目（考究）	基盤リテラシー科目	数理	数理科学発展演習Ⅰ	1~4年次	演習科目	3~4	MTH-1-C3-0034-009				○		◎	○		○
展開科目（考究）	基盤リテラシー科目	数理	Inter-universal Teichmüller Theory 1（宇宙際タイヒミュラー理論 1）	1~4年次	演習科目	3~4	MTH-1-C3-0034-010				○		◎	○		○
展開科目（考究）	基盤リテラシー科目	数理	数理科学発展演習Ⅱ	2~4年次	演習科目	1~2	MTH-2-C3-1200-009				○		◎	○		○
展開科目（考究）	基盤リテラシー科目	数理	Inter-universal Teichmüller Theory 2（宇宙際タイヒミュラー理論 2）	2~4年次	演習科目	1~2	MTH-2-C3-1200-010				○		◎	○		○
展開科目（考究）	基盤リテラシー科目	数理	Inter-universal Teichmüller Theory 3（宇宙際タイヒミュラー理論 3）	2~4年次	演習科目	3~4	MTH-2-C3-0034-011				○		◎	○		○
展開科目（考究）	基盤リテラシー科目	数理	環論	3~4年次	演習科目	3~4	MTH-3-C3-0034-009				○		◎	○		○
展開科目（考究）	基盤リテラシー科目	数理	組合せ論	3~4年次	演習科目	1~2	MTH-3-C3-1200-010				○		◎	○		○
展開科目（考究）	基盤リテラシー科目	数理	トポロジー	3~4年次	演習科目	3~4	MTH-3-C3-0034-011				○		◎	○		○
展開科目（考究）	基盤リテラシー科目	数理	積分と測度	3~4年次	演習科目	1~2	MTH-3-C3-1200-012				○		◎	○		○
展開科目（考究）	基盤リテラシー科目	数理	Inter-universal Teichmüller Theory 4（宇宙際タイヒミュラー理論 4）	3~4年次	演習科目	1~2	MTH-3-C3-1200-013				○		◎	○		○
展開科目（考究）	基盤リテラシー科目	数理	量子コンピュータ演習	3~4年次	演習科目	3~4	MTH-3-C3-0034-014				○		◎	○		○

科目区分			授業科目の名称	配当年次	授業の方法	開講クォーター	ナンバリング	主要 授業 科目	必修	選択 必修	選択	自由	DP1	DP2	DP3	DP4
展開科目（考究）	基盤リテラシー科目	数理	Wolfram言語で学ぶ科学計算	3~4年次	演習科目	1~2	MTH-3-C3-1200-015				○		◎	○		○
展開科目（考究）	基盤リテラシー科目	数理	ガロア理論	4年次	演習科目	1~2	MTH-4-C3-1200-001				○		◎	○		○
展開科目（考究）	基盤リテラシー科目	数理	数理論理学	4年次	演習科目	1~2	MTH-4-C3-1200-002				○		◎	○		○
展開科目（考究）	基盤リテラシー科目	数理	量子からはじまる確率論	4年次	演習科目	3~4	MTH-4-C3-0034-003				○		◎	○		○
展開科目（考究）	基盤リテラシー科目	数理	ゼミ（数理科学特論ゼミⅠ）	4年次	ゼミ	1~4	MTH-4-C4-1234-004				○		◎	○		○
展開科目（考究）	基盤リテラシー科目	数理	ゼミ（数理科学特論ゼミⅡ）	4年次	ゼミ	1~4	MTH-4-C4-1234-005				○		◎	○		○
展開科目（考究）	基盤リテラシー科目	数理	ゼミ（数理科学特論ゼミⅢ）	4年次	ゼミ	1~4	MTH-4-C4-1234-006				○		◎	○		○
展開科目（考究）	基盤リテラシー科目	数理	ゼミ（数理科学特論ゼミⅣ）	4年次	ゼミ	1~4	MTH-4-C4-1234-007				○		◎	○		○
展開科目（考究）	基盤リテラシー科目	数理	ゼミ（量子科学技術）	4年次	ゼミ	1~4	MTH-4-C4-1234-008				○		◎	○		○
展開科目（考究）	世界理解科目	文化・思想	生きてゆくための禅	1~4年次	演習科目	3~4	HUM-1-C3-0034-007				○			○	◎	○
展開科目（考究）	世界理解科目	文化・思想	政治を超える哲学Ⅰ	1~4年次	演習科目	3~4	HUM-1-C3-0034-008				○			○	◎	○
展開科目（考究）	世界理解科目	文化・思想	政治を超える哲学Ⅱ	2~4年次	演習科目	1~2	HUM-2-C3-1200-009				○			○	◎	○
展開科目（考究）	世界理解科目	文化・思想	社会で生きる囲碁論	2~4年次	演習科目	1~2	HUM-2-C3-1200-010				○			○	◎	○
展開科目（考究）	世界理解科目	文化・思想	心理学実験・調査演習	2~4年次	演習科目	1~2	HUM-2-C3-1200-011				○			○	◎	○
展開科目（考究）	世界理解科目	文化・思想	WEBコミック演習	2~4年次	演習科目	3~4	HUM-2-C3-0034-012				○			○	◎	○
展開科目（考究）	世界理解科目	文化・思想	こころの成り立ちとメンタルヘルス	2~4年次	演習科目	3~4	HUM-2-C3-0034-013				○			○	◎	○
展開科目（考究）	世界理解科目	文化・思想	ウェルビーイングをデザインする	2~4年次	演習科目	3~4	HUM-2-C3-0034-014				○			○	◎	○
展開科目（考究）	世界理解科目	文化・思想	芸術と文化資本Ⅱ	3~4年次	演習科目	1~2	HUM-3-C3-1200-003				○			○	◎	○
展開科目（考究）	世界理解科目	文化・思想	日本文学Ⅲ	3~4年次	演習科目	1~2	HUM-3-C3-1200-004				○			○	◎	○
展開科目（考究）	世界理解科目	文化・思想	文化人類学Ⅲ	3~4年次	演習科目	3~4	HUM-3-C3-0034-005				○			○	◎	○
展開科目（考究）	世界理解科目	文化・思想	AI時代の科学と哲学	3~4年次	演習科目	3~4	HUM-3-C3-0034-006				○			○	◎	◎
展開科目（考究）	世界理解科目	文化・思想	フィールドワークで学ぶ宗教思想史	3~4年次	演習科目	3~4	HUM-3-C3-0034-007				○			○	◎	○
展開科目（考究）	世界理解科目	文化・思想	ゼミ（心の科学）	3~4年次	ゼミ	1~4	HUM-3-C4-1234-008				○			○	◎	○
展開科目（考究）	世界理解科目	文化・思想	ゼミ（物語創作と物語の構造分析）	3~4年次	ゼミ	1~4	HUM-3-C4-1234-009				○			○	◎	○
展開科目（考究）	世界理解科目	文化・思想	ゼミ（トークイベントをつくる）	3~4年次	ゼミ	1~4	HUM-3-C4-1234-010				○			○	◎	○
展開科目（考究）	世界理解科目	文化・思想	ゼミ（展覧会のつくりかた）	4年次	ゼミ	1~4	HUM-4-C4-1234-001				○			○	◎	○
展開科目（考究）	世界理解科目	文化・思想	ゼミ（文芸批評論）	4年次	ゼミ	1~4	HUM-4-C4-1234-002				○			○	◎	○
展開科目（考究）	世界理解科目	文化・思想	ゼミ（ファン文化論を捉えなおすための参加型文化論）	4年次	ゼミ	1~4	HUM-4-C4-1234-003				○			○	◎	○
展開科目（考究）	世界理解科目	文化・思想	ゼミ（数理哲学）	4年次	ゼミ	1~4	HUM-4-C4-1234-004				○			○	◎	◎
展開科目（考究）	世界理解科目	社会・ネットワーク	社会学Ⅲ	2~4年次	演習科目	1~2	SOC-2-C3-1200-010				○			○	◎	○
展開科目（考究）	世界理解科目	社会・ネットワーク	現代スポーツ構造分析	2~4年次	演習科目	1~2	SOC-2-C3-1200-011				○			○	◎	○
展開科目（考究）	世界理解科目	社会・ネットワーク	SFから考える未来ビジョン	2~4年次	演習科目	1~2	SOC-2-C3-1200-012				○			○	◎	◎
展開科目（考究）	世界理解科目	社会・ネットワーク	現代社会理論	2~4年次	演習科目	3~4	SOC-2-C3-0034-013				○			○	◎	○
展開科目（考究）	世界理解科目	社会・ネットワーク	未来社会デザイン論	2~4年次	演習科目	3~4	SOC-2-C3-0034-014				○			○	◎	○
展開科目（考究）	世界理解科目	社会・ネットワーク	音楽と社会	2~4年次	演習科目	3~4	SOC-2-C3-0034-015				○			○	◎	○
展開科目（考究）	世界理解科目	社会・ネットワーク	子どもと地域づくり	2~4年次	演習科目	3~4	SOC-2-C3-0034-016				○			○	◎	○
展開科目（考究）	世界理解科目	社会・ネットワーク	コラボレーション・クリエイティブ	2~4年次	演習科目	3~4	SOC-2-C3-0034-017				○			○	◎	○
展開科目（考究）	世界理解科目	社会・ネットワーク	スマート田舎のススメ	3~4年次	演習科目	3~4	SOC-3-C3-0034-003				○			○	◎	◎
展開科目（考究）	世界理解科目	社会・ネットワーク	課題解決と改革のリーダーシップ	3~4年次	演習科目	3~4	SOC-3-C3-0034-004				○			○	◎	○

科目区分			授業科目の名称	配当年次	授業の方法	開講クォーター	ナンバリング	主要 授業 科目	必修	選択 必修	選択	自由	DP1	DP2	DP3	DP4
展開科目（考究）	世界理解科目	社会・ネットワーク	民主主義論	3~4年次	演習科目	3~4	SOC-3-C3-0034-005				○			○	◎	○
展開科目（考究）	世界理解科目	社会・ネットワーク	国際関係論	4年次	演習科目	1~2	SOC-4-C3-1200-001				○			○	◎	○
展開科目（考究）	世界理解科目	社会・ネットワーク	ゼミ（多様化する家族）	3~4年次	ゼミ	1~4	SOC-3-C4-1234-007				○			○	◎	○
展開科目（考究）	世界理解科目	社会・ネットワーク	ゼミ（情報社会の政治学）	3~4年次	ゼミ	1~4	SOC-3-C4-1234-008				○			○	◎	◎
展開科目（考究）	世界理解科目	社会・ネットワーク	ゼミ（社会学）	4年次	ゼミ	1~4	SOC-4-C4-1234-003				○			○	◎	○
展開科目（考究）	世界理解科目	社会・ネットワーク	ゼミ（意思決定研究と実践）	4年次	ゼミ	1~4	SOC-4-C4-1234-004				○			○	◎	○
展開科目（考究）	世界理解科目	社会・ネットワーク	ゼミ（異文化理解）	4年次	ゼミ	1~4	SOC-4-C4-1234-005				○			○	◎	○
展開科目（考究）	世界理解科目	経済・マーケット	現代資本主義論	2~4年次	演習科目	3~4	ECON-2-C3-0034-008				○			○	◎	○
展開科目（考究）	世界理解科目	経済・マーケット	マクロ経済分析演習	3~4年次	演習科目	3~4	ECON-3-C3-0034-001				○			○	◎	◎
展開科目（考究）	世界理解科目	経済・マーケット	課題解決のための計量経済分析	3~4年次	演習科目	3~4	ECON-3-C3-0034-002				○			○	◎	◎
展開科目（考究）	世界理解科目	経済・マーケット	事例から学ぶ統計学	3~4年次	演習科目	1~2	ECON-3-C3-1200-003				○			○	◎	◎
展開科目（考究）	世界理解科目	経済・マーケット	財務分析演習	3~4年次	演習科目	1~2	ECON-3-C3-1200-004				○			○	◎	○
展開科目（考究）	世界理解科目	経済・マーケット	企業価値創造とM&A	3~4年次	演習科目	3~4	ECON-3-C3-0034-005				○			○	◎	○
展開科目（考究）	世界理解科目	経済・マーケット	交渉・合意形成演習	3~4年次	演習科目	3~4	ECON-3-C3-0034-006				○			○	◎	○
展開科目（考究）	世界理解科目	経済・マーケット	スタートアップ実践	4年次	演習科目	3~4	ECON-4-C3-0034-001				○			○	◎	○
展開科目（考究）	世界理解科目	経済・マーケット	ゼミ（地域づくり新事業ワークショップ）	3~4年次	ゼミ	1~4	ECON-3-C4-1234-007				○			○	◎	○
展開科目（考究）	世界理解科目	経済・マーケット	ゼミ（ビジネスモデル分析）	4年次	ゼミ	1~4	ECON-4-C4-1234-002				○			○	◎	○
展開科目（考究）	世界理解科目	経済・マーケット	ゼミ（経済発展を考える）	4年次	ゼミ	1~4	ECON-4-C4-1234-003				○			○	◎	○
展開科目（考究）	世界理解科目	経済・マーケット	ゼミ（計量経済）	4年次	ゼミ	1~4	ECON-4-C4-1234-004				○			○	◎	◎
展開科目（考究）	世界理解科目	経済・マーケット	ゼミ（幸福曲線）	4年次	ゼミ	1~4	ECON-4-C4-1234-005				○			○	◎	○
展開科目（考究）	世界理解科目	デジタル産業	メディアで検証する未来の作り方	2~4年次	演習科目	1~2	DIGI-2-C3-1200-003				○			○	◎	○
展開科目（考究）	世界理解科目	デジタル産業	アニメのクオリティー管理と商品性	2~4年次	演習科目	1~2	DIGI-2-C3-1200-004				○			○	◎	○
展開科目（考究）	世界理解科目	デジタル産業	マンガの企画立案とプロデュース論	2~4年次	演習科目	3~4	DIGI-2-C3-0034-005				○			○	◎	○
展開科目（考究）	世界理解科目	デジタル産業	文化資源とメタバース	2~4年次	演習科目	1~2	DIGI-2-C3-1200-006				○			○	◎	◎
展開科目（考究）	世界理解科目	デジタル産業	文化資源のデジタルアーカイブ	2~4年次	演習科目	3~4	DIGI-2-C3-0034-007				○			○	◎	◎
展開科目（考究）	世界理解科目	デジタル産業	ゼミ（文化資源アーカイブとメタバース）	3~4年次	ゼミ	1~4	DIGI-3-C4-1234-002				○			○	◎	◎
展開科目（考究）	世界理解科目	デジタル産業	ゼミ（アニメ作品の分析メソッド）	3~4年次	ゼミ	1~4	DIGI-3-C4-1234-003				○			○	◎	○
展開科目（考究）	社会接続科目	社会接続	英語コミュニケーションⅢ（プレゼンテーション）	2~4年次	演習科目	1~2,3~4	CAR-2-C3-1234-008				○			○		○
展開科目（考究）	社会接続科目	社会接続	英語コミュニケーションⅣ（ビジネス会話）	2~4年次	演習科目	1~2,3~4	CAR-2-C3-1234-009				○			○		○
展開科目（考究）	社会接続科目	社会接続	デジタルトランスフォーメーション時代の働き方	2~4年次	演習科目	1~2	CAR-2-C3-1200-010				○		○	○		○
展開科目（考究）	社会接続科目	社会接続	映像プロデューサー論	2~4年次	演習科目	3~4	CAR-2-C3-0034-011				○		○	○	○	○
展開科目（考究）	社会接続科目	社会接続	アニメ産業に関わる仕事	3~4年次	演習科目	3~4	CAR-3-C3-0034-003				○			○		○
展開科目（考究）	卒業プロジェクト科目	卒業プロジェクト	プロジェクト実践	4年次	演習科目	1~4	PRJ-4-A3-1234-001	○	○				◎	◎	◎	◎
自由科目	自由科目	自由科目	イラストとエンタテインメントA	1~4年次	オンデマンド科目	1,3	OPT-1-D1-1030-001					○		○		
自由科目	自由科目	自由科目	イラストとエンタテインメントB	1~4年次	オンデマンド科目	1,3	OPT-1-D1-1030-002					○		○		
自由科目	自由科目	自由科目	イラストとエンタテインメントC	1~4年次	オンデマンド科目	2,4	OPT-1-D1-0204-003					○		○		
自由科目	自由科目	自由科目	イラストとエンタテインメントD	1~4年次	オンデマンド科目	2,4	OPT-1-D1-0204-004					○		○		
自由科目	自由科目	自由科目	イラストとデザインA	2~4年次	オンデマンド科目	1,3	OPT-2-D1-1030-001					○		○		
自由科目	自由科目	自由科目	イラストとデザインB	2~4年次	オンデマンド科目	1,3	OPT-2-D1-1030-002					○		○		

科目区分			授業科目の名称	配当年次	授業の方法	開講クォーター	ナンバリング	主要 授業 科目	必修	選択 必修	選択	自由	DP1	DP2	DP3	DP4
自由科目	自由科目	自由科目	イラストとデザインC	2~4年次	オンデマンド科目	1,3	OPT-2-D1-1030-003					○		○		
自由科目	自由科目	自由科目	イラストとデザインD	2~4年次	オンデマンド科目	2,4	OPT-2-D1-0204-004					○		○		
自由科目	自由科目	自由科目	イラストとその活用A	3~4年次	オンデマンド科目	1,3	OPT-3-D1-1030-001					○		○		
自由科目	自由科目	自由科目	イラストとその活用B	3~4年次	オンデマンド科目	1,3	OPT-3-D1-1030-002					○		○		
自由科目	自由科目	自由科目	イラストとその活用C	3~4年次	オンデマンド科目	2,4	OPT-3-D1-0204-003					○		○		
自由科目	自由科目	自由科目	イラストとその活用D	3~4年次	オンデマンド科目	2,4	OPT-3-D1-0204-004					○		○		

資料33 学びの選択肢の段階的広がり



多様な選択肢の中から横断的・反復的な学びを可能にする柔軟なカリキュラムと、それを支える「アドバイザー制度」と「社会接続科目」

資料34 ZEN大学の学びの全体像の簡易図

実践的学び(CP4)

集大成となる卒業プロジェクトによって、今までの学びを実践。
DP1～4の修得が完了し、本学の養成する人材像の達成となり、学士(学術)の授与となる

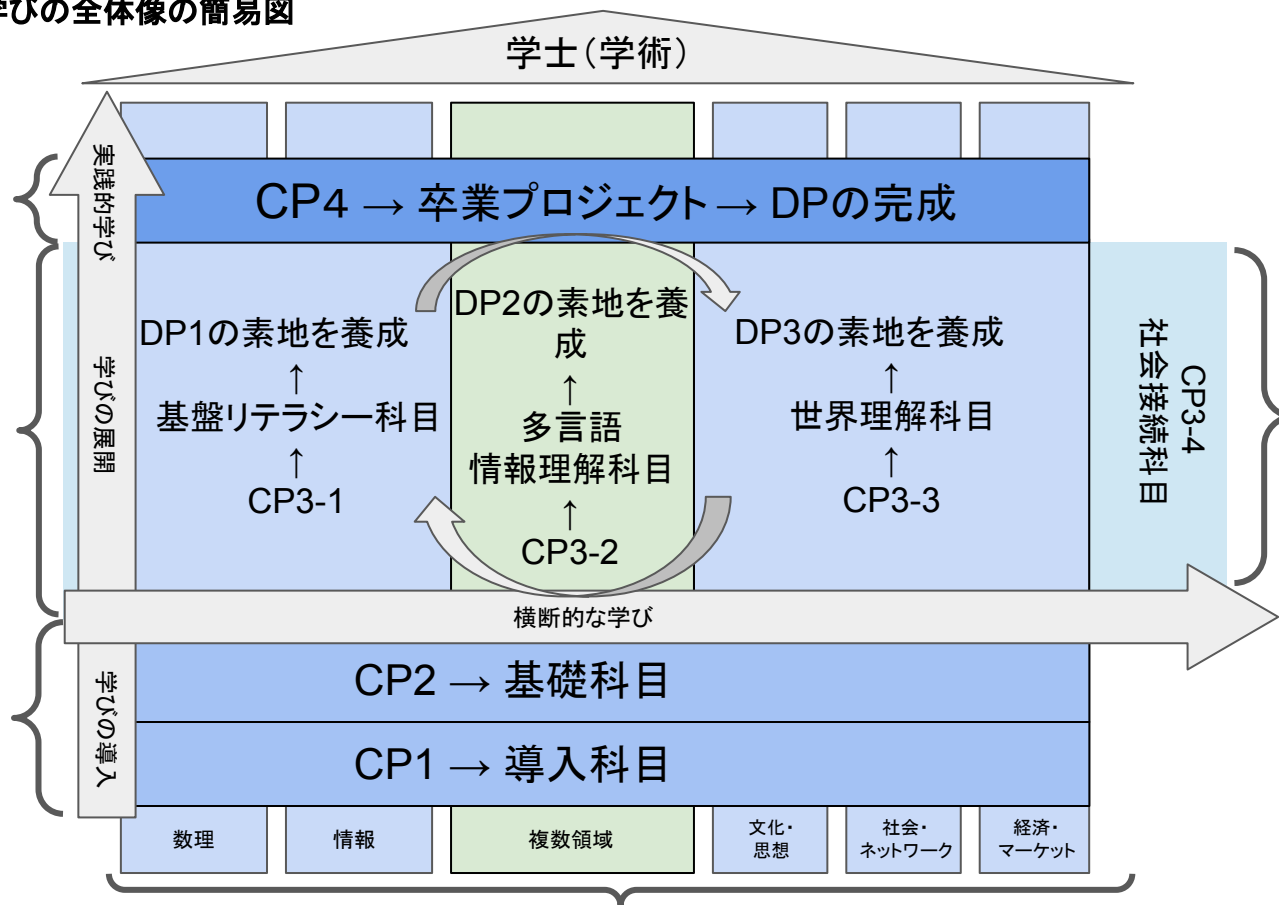
CP3: 展開科目

CP3-1、CP3-2、CP3-3によって定められた基盤リテラシー科目、多言語情報理解科目、世界理解科目はそれぞれDP1、DP2、DP3に強く関連する。

更に、各授業科目での学びを往還しながら、総合知が養成され、卒業プロジェクトに向けた学びを進める。

学びの導入・基礎(CP1-CP2)

CP1にて定められた導入科目、CP2の基礎科目は全ての学びの土台となり、全てのDPの基礎となる



社会の学びとキャリア意識の醸成

CP3-4にて定められた社会接続科目は社会に関する学びを通じて学生のキャリア意識を醸成する科目が配当されており、全てのDPに対応しているが、特に高度情報化社会でのコミュニケーション力、自身の将来を探索し見通しを立てる力を養成するためDP2、DP4との関係性が深い。

複数の学問領域である文化・思想、社会・ネットワーク、経済・マーケット、数理、情報の5つを横断的に学びながら、学位取得に向けて学びを深める

資料35 オンライン受講システムZEN Study機能概要

タイトル	機能概要
学修状況の把握	学生が当該期に自分が履修しているオンデマンド科目の授業視聴状況・確認テストレポート提出進捗状況を可視的に把握できる。
教材の視聴・閲覧	学生は授業ごとに用意された動画やテキスト、スライドなどの様々な資料を視聴・閲覧できる。また予め設定された科目では履修前でも試しに受講できる授業が設けられ、学生は履修選択の参考に利用できる。
授業理解の促進	科目ごとの授業動画視聴後に確認テストを受験し、確認テストに正解すると次の授業動画に進める。また視聴済み授業を再視聴する際には、すでに視聴済みの範囲において任意のタイミングから視聴できる。
科目・授業に関する質問	科目に関する質問などをいつでも投稿できるフォーラムが設置されており、教員からの回答確認や他学生との議論に利用できる。また各授業教材からフォーラムへの導線が設けられており、授業に関する質問がすぐに投稿できる。
科目・授業の復習	学生が本学で過去に修得済みのオンデマンド科目の授業について在学中いつでも視聴でき、科目で学んだ知識等を振り返りたいときにいつでも振り返れる。
受講時の本人認証	学生本人が授業を受けていることをWebカメラを用いて判定・記録し、疑義のある場合は教職員が確認の上で学生指導を行う。また学生がいつでも本人認証機能が正しく動作することを確認できる機能を設け、本人認証の精度を保つことができる。
リメディアル教育環境	本学での科目履修において前提知識不足がある学生が、リメディアル教育環境として必要な知識獲得がある高校科目を基礎レベルから体系的にまたは必要な範囲に絞って学べる。
お知らせ通知	授業や教材に関するお知らせやシステムの稼働や運営に関する連絡などを確認し、学生の受講の計画に役立てることができる。

資料36 履修モデル

【目次】

- ・ 4月入学生 8パターン
- ・ 10月入学生 8パターン
- ・ 編入学生 4パターン

4月入学生

履修モデル①

情報系における最新の知見と人文系のものの捉え方を兼ね備え、文化・心・芸術など捉えづらいものの概念を把握するための多様な方法論を学ぶ。デジタルツールを用いてクリエイティブな表現をする能力と、表現したいものを深めるための方法論を修得し、俯瞰した立場から創造的活動に従事できる人材像を目指す（Web媒体の運営や企業の企画・広報部門のスタッフなど）。

		1年次										2年次									
		1Q		2Q		3Q		4Q		1Q		2Q		3Q		4Q					
		授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数				
導入科目 (14単位)	人工知能活用実践			2																	
	アカデミックリテラシー	2	経済入門	2																	
	ITリテラシー	2	デジタルツールの使い方	2																	
	人文社会入門	2																			
	現代社会と数学	2																			
基礎科目 (12単位以上)			データサイエンス概論	2	多言語ITコミュニケーション			2	数学史	2	心理学	2	社会学Ⅰ	2	現代社会とサイエンス	2					
				日本文学Ⅰ 文化人類学Ⅰ	2 2	地域アントレプレナーシップ	2														
展開科目 (74単位以上)	基礎リテラシー科目 (基礎含め8単位以上)					ビジュアルプログラミング	2		Webアプリケーション開発1	2	Webアプリケーション開発2	2			Webユーザーエクスペリエンス	2					
	多言語情報理解科目 (基礎含め8単位以上)								機械翻訳実践（情報）			2	機械翻訳実践（日本研究）			2					
	世界理解科目 (基礎含め26単位以上)	AI社会の歩き方			2	リテラシーと応用のための物語理論	2	マンガ絵コンテから学ぶ視覚表現 哲学概論	2 2	経済言説史 マンガ産業史	2 2	日本文学Ⅱ 文化人類学Ⅱ	2 2	認知神経科学	2	民俗学	2				
		世界が変わる編集力	2	近・現代アート概論	2																
	社会接続科目 (上限10単位)					ネット情報発信概論			2					デジタル画像技法論Ⅰ デジタル画像創作論Ⅰ	1 1						
								キャリアデザインⅠ（自己理解）	2												
卒業プロジェクト科目 (4単位)																					
履修単位数			12		10		10		10		9		9		7		7				
42										32											

		3年次								4年次								合計単位数
		1Q		2Q		3Q		4Q		1Q		2Q		3Q		4Q		
		授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	
導入科目 (14単位)																		
基礎科目 (12単位以上)																		
展開科目 (74単位以上)	基礎リテラシー科目 (基礎含め8単位以上)	Webアプリケーション開発3	2	Webアプリケーション開発4 メディアアート史	2 2	インターネット概論	2	コンピュータ概論	2			逆さ科学史	2					
	多言語情報理解科目 (基礎含め8単位以上)					機械翻訳実践（異文化理解）		2										
	世界理解科目 (基礎含め26単位以上)	ゲーム制作論基礎 異文化理解	2 2	芸術と文化資本Ⅰ	2	コンテンツ産業論 科学哲学 人新世の人類学	2 2 2	アニメ産業史 日本のゲーム産業史	2 2	二次創作の歴史から見るネット文化 メディア論		2 2	2	ジェンダー論 日本大衆文化史	2 2	共創地球論	2	
	社会接続科目 (上限10単位)	キャリアデザインⅡ (仕事理解)	2	キャリアデザインⅢ (就活実践)	2													
	卒業プロジェクト科目 (4単位)										プロジェクト実践							4
履修単位数			8		8		9		7		6		4		5		3	
		32								18								

導入科目：14単位
基礎科目：18単位
基礎リテラシー科目：26単位
多言語情報理解科目：8単位
世界理解科目：62単位
社会接続科目：10単位
展開科目：92単位
卒業プロジェクト科目：4単位
合計履修単位数：124単位

4月入学生

履修モデル②

人材像

日本の社会や世界を形作る多様な学問分野の蓄積を適切に咀嚼し、それらを地域ビジネスというフィールドに落とし込む力を身につける。多様なものの考え方を手がかりに、デジタルツールを活用し、主体的な見解をメディアを通してステークホルダーと共有する。起業家精神を持ち、日本の地域社会に新たな価値を生むビジネスパーソンを目指す（地域おこしの担い手、地域発の起業家など）。

		1年次								2年次							
		1Q		2Q		3Q		4Q		1Q		2Q		3Q		4Q	
		授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数
展 開 科 目 （ 7 4 単 位 以 上 ）	導入科目 (14単位)	人工知能活用実践		2	ITリテラシー		2	経済入門		2							
		アカデミックリテラシー	2	デジタルツールの 使い方	2	現代社会と数学	2										
		人文社会入門	2														
	基礎科目 (12単位以上)			心理学 現代社会とサイエ ンス	2	多言語ITコミュニケーション			2		データサイエンス 概論	2	社会学Ⅰ	2	情報倫理と法	2	
						地域アントレプレ ナーシップ 企業経営	2										
							2										
	基礎リテラシー科目 (基礎含め8単位以上)										逆さ科学史	2	統計学入門	2			
	多言語情報理解科目 (基礎含め8単位以上)				機械翻訳実践（英語読解・作文）				2	機械翻訳実践（法学）		2					
	世界理解科目 (基礎含め26単位以 上)	AI社会の歩き方			2	企業経営と会計	2			人新世の人類学	2	意思決定の能力開 発	2	異文化理解 科学技術と社会	2	地域研究 デジタル・マーケ ティング 公共哲学	2
									経済言説史	2							
									世界が変わる編集 力	2							
	社会接続科目 (上限10単位)	英語コミュニケーションⅠ（発音）	2	英語コミュニケーションⅡ（日常会 話）	2						キャリアデザイン Ⅰ（自己理解）	2					
	卒業プロジェクト科目 (4単位)																
	履修単位数	8		10		8		8		7		9		8		8	
		34								32							

4月入学生

履修モデル③

情報、メディア、企業経営の知識を修得し、より俯瞰的な視点を持って活躍可能なITの技術力を身につける。予算管理や倫理視点も合わせた問題解決能力を身につけ、多様な視点や意見を取り入れつつ、情報技術と現実世界を結びつける能力を持つ。文理の幅広い学問を基に、個々の興味や価値観に基づいたキャリアパスを構築可能な人材像を目指す（リーダー的システム企画者やシステム管理者など）。

				1年次								2年次							
				1Q		2Q		3Q		4Q		1Q		2Q		3Q		4Q	
		授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数		
導入科目 (14単位)	人工知能活用実践			2															
	アカデミックリテラシー	2	経済入門	2															
	ITリテラシー	2	デジタルツールの使い方	2															
	人文社会入門	2																	
	現代社会と数学	2																	
基礎科目 (12単位以上)				心理学	2	多言語ITコミュニケーション			2			情報倫理と法	2	伝わる論理とコミュニケーション	2				
				地域課題の解決とイノベーション	2	情報セキュリティ概論	2											データサイエンス概論	2
展開科目 (74単位以上)	基礎リテラシー科目 (基礎含め8単位以上)	ビジュアルプログラミング	2	Pythonプログラミング	2	情報収集と伝達技術			2	Webアプリケーション開発3	2	Webアプリケーション開発4	2	Javaプログラミング演習			2		
						Webアプリケーション開発1	2	Webアプリケーション開発2 Webユーザーエクスペリエンス		2				インターネット概論	2	JavaScriptによる自動化、効率化 コンピュータ概論			
	多言語情報理解科目 (基礎含め8単位以上)				機械翻訳実践（英語読解・作文）			2	機械翻訳実践（情報）			2							
	世界理解科目 (基礎含め26単位以上)				世界が変わる編集力	2	日本のゲーム産業史		2	IT産業史	2		交渉・合意形成概論	2	科学哲学 科学技術と社会	2	日本科学史	2	
	社会接続科目 (上限10単位)				ネット情報発信概論			2											
卒業プロジェクト科目 (4単位)																			
履修単位数			11		11		10		10		11		9		9		7		
				42								36							

		3年次								4年次								合計単位数
		1Q		2Q		3Q		4Q		1Q		2Q		3Q		4Q		
		授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	
導入科目 (14単位)																		
基礎科目 (12単位以上)												地域アントレプレ ナーシップ	2					
展開科目 (74単位以上)	基礎リテラシー科目 (基礎含め8単位以上)	ゲームプログラミング演習		2	Webアプリケーション開発演習		2	ゼミ（インターネットのしくみ（応用））								4	導入科目：14単位 基礎科目：18単位 基礎リテラシー科目：56単位 多言語情報理解科目：8単位 世界理解科目：38単位 社会接続科目：4単位 展開科目：92単位 卒業プロジェクト科目：4単位 合計履修単位数：124単位	
		チームプログラミング演習		2	インターネットのしくみ		2											
		プロジェクトマネジメント応用		2	Webセキュリティ演習		2											
		クラウドコン ピューティング技 術	2	暗号技術とその応 用		2												
	多言語情報理解科目 (基礎含め8単位以上)			機械翻訳実践（異文化理解）		2												
	世界理解科目 (基礎含め26単位以上)	コンテンツ産業論	2	公共哲学	2			スタートアップ	2	企業経営と会計	2			マンガ産業史 異文化理解	2	デジタル・マーケ ティング 芸術と文化資本Ⅰ		2
	社会接続科目 (上限10単位)			対人コミュニケー ション論	2													
卒業プロジェクト科目 (4単位)								プロジェクト実践								4		
履修単位数		7			7		6		6		4		4		6		6	
		26								20								

4月入学生

履修モデル④
情報・数理の基礎的なリテラシーと社会を切り取る多様な視点を修得し、文理を横断する知性と調整能力、併せてデータの解析力を身につける。それによって科学技術と社会を架橋し、科学技術をビジネスや課題解決につなげると同時に、倫理的、法的、社会的視点から展開するサービスや商品の影響力を考慮できる人材像を目指す（企業の分析担当やIT企業のプロジェクト・マネージャーなど）。

		1年次								2年次							
		1Q		2Q		3Q		4Q		1Q		2Q		3Q		4Q	
		授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数
導入科目 (14単位)	人工知能活用実践			2													
	アカデミックリテラシー	2		経済入門	2												
	ITリテラシー	2		デジタルツールの使い方	2												
	人文社会入門	2															
	現代社会と数学	2															
基礎科目 (12単位以上)				データサイエンス概論	2	多言語ITコミュニケーション			2			企業経営	2	数学史	2	現代社会とサイエンス	2
						社会学Ⅰ 文化人類学Ⅰ	2 2	法学Ⅰ	2			情報倫理と法	2	情報セキュリティ概論	2		
展開科目 (74単位以上)	基礎リテラシー科目 (基礎含め8単位以上)					ビジュアルプログラミング	2	数学の方法	2	統計学入門	2	R言語プログラミング	2			Pythonプログラミング	2
	多言語情報理解科目 (基礎含め8単位以上)									機械翻訳実践(情報)		2					
	世界理解科目 (基礎含め26単位以上)	AI社会の歩き方			2	IT産業史	2	共創地球論	2	SFから考える未来ビジョン		2	文化資源のデジタルアーカイブ			2	
										コンテンツ産業論 人新世の人類学	2 2	社会学Ⅱ	2	未来社会デザイン論			2
	社会接続科目 (上限10単位)	ソーシャルイノベーション概論			2			キャリアデザインⅠ(自己理解)	2	キャリアデザインⅡ(仕事理解)	2			科学哲学	2	科学技術と社会	
															2		
	卒業プロジェクト科目 (4単位)																
履修単位数			11				9		9		10		10		10		8
		38								38							

		3年次								4年次								合計単位数
		1Q		2Q		3Q		4Q		1Q		2Q		3Q		4Q		
		授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	
導入科目 (14単位)																		
基礎科目 (12単位以上)				数学的思考とは何か	2													
展開科目 (74単位以上)	基礎リテラシー科目 (基礎含め8単位以上)	機械学習概論	2	逆さ科学史	2	ディープラーニング1 データサイエンス実践Ⅰ（アンケート）	2 2	日常に現れる物理学	2	ディープラーニング2	2		ディープラーニング3 データサイエンス実践Ⅱ（モデリング）	2 2	データサイエンス実践Ⅲ（時系列）	2		
	多言語情報理解科目 (基礎含め8単位以上)	機械翻訳実践（法学）			2	機械翻訳実践（自然科学）			2									
		メディアで検証する未来の作り方			2	現代社会理論			2	ゼミ（情報社会の政治学）							4	
	世界理解科目 (基礎含め26単位以上)	ジェンダー論 メディア論	2 2	農業とデジタルテクノロジー	2	日本科学史			2			意思決定の能力開発	2			交渉・合意形成概論	2	
	社会接続科目 (上限10単位)																	
卒業プロジェクト科目 (4単位)										プロジェクト実践							4	
履修単位数			8		8		6		6		4		4		6		6	
		28								20								

導入科目：14単位
基礎科目：22単位
基礎リテラシー科目：40単位
多言語情報理解科目：8単位
世界理解科目：50単位
社会接続科目：8単位
展開科目：88単位
卒業プロジェクト科目：4単位
合計履修単位数：124単位

履修モデル⑤

4月入学生

人材像

多様なものの考え方を手がかりに、数理、情報技術の基本的な素養を活かして、基礎となる語学力に加えてデジタルツールを活用しながら海外とのやり取りを行い、主体的な見解を異文化のステークホルダーと共有する。組織の内外と的確にコミュニケーションを取りながら、新しい価値を生むビジネスパーソンを目指す（海外と取引する企業勤務や専門商社の国際部門など）。

		1年次								2年次							
		1Q		2Q		3Q		4Q		1Q		2Q		3Q		4Q	
		授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数
導入科目 (14単位)		人工知能活用実践		2	現代社会と数学	2	経済入門	2									
		アカデミックリテラシー	2	デジタルツールの 使い方	2												
		人文社会入門	2														
		ITリテラシー	2														
基礎科目 (12単位以上)				現代社会とサイエ ンス	2	多言語ITコミュニケーション		2	日本文学Ⅰ	2	データサイエンス 概論	2	社会学Ⅰ	2	情報倫理と法	2	
						文化人類学Ⅰ	2	地域アントレプレ ナーシップ									2
展 開 科 目 (7 4 単 位 以 上)	基盤リテラシー科目 (基礎含め8単位以上)			逆さ科学史	2								統計学入門	2			
	多言語情報理解科目 (基礎含め8単位以上)																
	世界理解科目 (基礎含め26単位以 上)	AI社会の歩き方			2	IT産業史	2		企業経営と会計	2	意思決定の能力開 発	2	コンテンツ産業論	2	デジタル・マーケ ティング	2	
						世界が変わる編集 力	2		リテラシーと応用 のための物語理論	2	企業経営とファイ ナンス	2	マルクス経済学	2	スタートアップ	2	
	社会接続科目 (上限10単位)	ソーシャルイノベーション概論			2	ネット情報発信概論			2	ネットワーク産業 論	2				キャリアデザイン Ⅰ（自己理解）	2	
卒業プロジェクト科目 (4単位)																	
履修単位数			9		9		10		8		8		8		6		8
		36								30							

		3年次								4年次								合計単位数
		1Q		2Q		3Q		4Q		1Q		2Q		3Q		4Q		
		授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	
導入科目 (14単位)																		
基礎科目 (12単位以上)		伝わる論理とコミュニケーション	2					地域課題の解決とイノベーション	2			法学Ⅰ	2					
展開科目 (74単位以上)	基盤リテラシー科目 (基礎含め8単位以上)	ビジュアルプログラミング	2	メディアアート史	2			Webユーザーエクスペリエンス	2							Pythonプログラミング	2	
	多言語情報理解科目 (基礎含め8単位以上)	機械翻訳実践（英語読解・作文）			2	機械翻訳実践（日本研究）			2	機械翻訳実践（情報）			2					
	世界理解科目 (基礎含め26単位以上)	日本大衆文化史	2	日本文学Ⅱ	2	戦後日本史Ⅰ	2	日本科学史	2	メディア論	2	交渉・合意形成概論	2	認知神経科学	2	アニメ産業史	2	
				農業とデジタルテクノロジー	2	マクロ経済学	2			ジェンダー論	2			情報社会論	2	公共哲学	2	
				ミクロ経済学	2									経済言説史	2			
	社会接続科目 (上限10単位)					キャリアデザインⅡ（仕事理解）	2											
卒業プロジェクト科目 (4単位)										プロジェクト実践								4
履修単位数		7		9		7		7		6		6		9		7		
		30								28								

履修モデル⑥
人材像 予算管理や倫理視点も合わせた問題解決能力を身につけ、多様な視点や意見を取り入れつつ、現実世界の問題をデジタルクリエイティブで解決する能力を持つ。文理の幅広い学問を基に、個々の興味や価値観に基づいたキャリアパスを構築可能な人材像を目指す（Webデザイナー、Webクリエイターなど）。

		1年次								2年次							
		1Q		2Q		3Q		4Q		1Q		2Q		3Q		4Q	
		授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数
導入科目 (14単位)	人工知能活用実践			2	現代社会と数学	2											
	アカデミックリテラシー	2	経済入門	2													
	ITリテラシー	2	デジタルツールの使い方	2													
	人文社会入門	2															
基礎科目 (12単位以上)				心理学	2	多言語ITコミュニケーション			2	情報セキュリティ概論	2	情報倫理と法	2	伝わる論理とコミュニケーション	2		
				地域課題の解決とイノベーション	2			データサイエンス概論	2								
展開科目 (74単位以上)	基盤リテラシー科目 (基礎含め8単位以上)	ビジュアルプログラミング	2			Webアプリケーション開発1	2	Webアプリケーション開発2 Webユーザーエクスペリエンス	2	インターネット概論 Linux概論	2 2	情報処理概論 Pythonプログラミング	2 2	プロジェクトマネジメント概論 コンピューターサイエンス概論	2 2	コンピュータ概論	2
	多言語情報理解科目 (基礎含め8単位以上)					機械翻訳実践（英語読解・作文）			2	機械翻訳実践（情報）			2				
	世界理解科目 (基礎含め26単位以上)					世界が変わる編集力	2					交渉・合意形成概論	2	科学哲学	2	日本科学史 マンガ絵コンテから学ぶ視覚表現 近・現代アート概論	2 2 2
	社会接続科目 (上限10単位)	デジタル画像技法論Ⅰ	1			デジタル画像技法論Ⅱ	1	デジタル画像技法論Ⅲ	1	デジタル画像創作論Ⅰ	1			ネット情報発信概論			2
																デジタル画像創作論Ⅱ	1
	卒業プロジェクト科目 (4単位)																
履修単位数			10		9		9		9		8		9		9		10
37										36							

		3年次								4年次								合計単位数
		1Q		2Q		3Q		4Q		1Q		2Q		3Q		4Q		
		授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	
導入科目 (14単位)																		
基礎科目 (12単位以上)		数学史	2									地域アントレプレ ナーシップ	2					
展 開 科 目 (74 単 位 以 上)	基盤リテラシー科目 (基礎含め8単位以上)			JavaScriptによる 自動化、効率化	2	クラウドコン ピューティング技 術	2	画像処理論	2									
	多言語情報理解科目 (基礎含め8単位以上)					機械翻訳実践（異文化理解）			2									
	世界理解科目 (基礎含め26単位以 上)	コンテンツ産業論	2	スタートアップ	2	マンガ産業史	2	デジタル・マーケ ティン グ 日本のゲーム産業 史	2	企業経営と会計	2	マルクス経済学	2	二次創作の歴史から見るネット文化			2	
		IT産業史	2	公共哲学	2				2	科学技術と社会	2			異文化理解	2	文化人類学Ⅱ	2	
		情報社会論	2											リテラシーと応用 のための物語理論	2	芸術と文化資本Ⅰ	2	
		社会接続科目 (上限10単位)			デジタル画像創作 論Ⅲ	1	デジタル画像活用 Ⅰ	1	デジタル画像活用 Ⅱ	1								
卒業プロジェクト科目 (4単位)										プロジェクト実践								4
履修単位数			8		7		6		8		5		5		6		6	
29										22								

履修モデル⑦

人材像

数理系科目を中心に学習し、社会の基盤にあるロジックと技術を深く理解する。同時にデータサイエンス、経済・経営の基礎知識、また数理学に関連する哲学を幅広く履修することで、数理系のコアスキルをそれらの領域に敷衍させ、これからの知能情報社会を主体的に創造していく発想を持つ。論理を形にし、社会に貢献してゆける人材像を目指す（プロダクトの開発者や金融機関勤務、コンサルタントなど）。

4月入学生

		1年次								2年次								
		1Q		2Q		3Q		4Q		1Q		2Q		3Q		4Q		
		授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	
導入科目 (14単位)		人工知能活用実践		2														
		アカデミックリテラシー	2	経済入門														2
		ITリテラシー	2	デジタルツールの使い方														2
		人文社会入門	2															
		現代社会と数学	2															
基礎科目 (12単位以上)				データサイエンス概論	2	多言語ITコミュニケーション		2	伝わる論理とコミュニケーション	2								
					数学史	2	企業経営心理学 数学的思考とは何か	2										
展開科目 (74単位以上)	基盤リテラシー科目 (基礎含め8単位以上)	線形代数1	2	解析学1	2	線形代数2	2	解析学2	2	解析学3	2	数理構造の発見と活用	2	距離空間	2	記号論理	2	
				Pythonプログラミング	2	初等代数概論	2	グラフ理論	2	集合と論理	2	日常に現れる物理学	2	複素解析	2	逆さ科学史	2	
						統計学入門	2		機械学習概論	2			力学	2				
	多言語情報理解科目 (基礎含め8単位以上)												機械翻訳実践（自然科学）			2		
	世界理解科目 (基礎含め26単位以上)								AI社会の歩き方		2	デジタル・マーケティング 哲学概論	2	科学哲学	2	スタートアップ	2	
										2								
									2									
	社会接続科目 (上限10単位)																	
卒業プロジェクト科目 (4単位)																		
履修単位数			11		11		9		11		9		9		9		9	
		42								36								

		3年次								4年次								合計単位数
		1Q		2Q		3Q		4Q		1Q		2Q		3Q		4Q		
		授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	
導入科目 (14単位)																		
基礎科目 (12単位以上)																		
展開科目 (74単位以上)	基礎リテラシー科目 (基礎含め8単位以上)	群論	2	位相空間	2	圏論	2	多様体	2			ビッグデータ分析概論	2	データサイエンス実践Ⅲ（時系列）	2	導入科目：14単位 基礎科目：14単位 基礎リテラシー科目：72単位 多言語情報理解科目：8単位 世界理解科目：26単位 社会接続科目：0単位 展開科目：96単位 卒業プロジェクト科目：4単位 合計履修単位数：124単位		
		電磁気学	2	数理統計	2	暗号技術とその応用	2	熱統計力学	2			オートマトンと形式言語理論	2	論理回路概論	2			
				量子力学	2	ディープラーニング1	2	ディープラーニング2	2									
	多言語情報理解科目 (基礎含め8単位以上)				機械翻訳実践（異文化理解）			2	機械翻訳実践（情報）			2						
	世界理解科目 (基礎含め26単位以上)	IT産業史	2						統計学を哲学する	2	ミクロ経済学	2			交渉・合意形成概論	2		
	社会接続科目 (上限10単位)																	
卒業プロジェクト科目 (4単位)										プロジェクト実践							4	
履修単位数		6		6		7		7		4		4		5		7		
26										20								

		1年次										2年次									
		1Q		2Q		3Q		4Q		1Q		2Q		3Q		4Q					
		授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数				
導入科目 (14単位)		人工知能活用実践		2																	
		アカデミックリテラシー	2	経済入門															2		
		ITリテラシー	2	デジタルツールの使い方															2		
		人文社会入門	2																		
		現代社会と数学	2																		
基礎科目 (12単位以上)				データサイエンス概論	2	多言語ITコミュニケーション		2			地域課題の解決とイノベーション		2			心理学	2				
				伝わる論理とコミュニケーション	2	企業経営	2														
						数学的思考とは何か	2														
展開科目 (74単位以上)	基礎リテラシー科目 (基礎含め8単位以上)	線形代数1	2	解析学1	2	情報収集と伝達技術		2	統計学展望		2	AIアルゴリズム実践				2					
				Pythonプログラミング	2	線形代数2	2	解析学2	2	機械学習概論	2	R言語プログラミング	2	マーケティング×データサイエンス		2					
						統計学入門	2	グラフ理論	2	計算機実験で学ぶ確率とモンテカルロ法	2		2	ディープラーニング1	2	ビッグデータ分析概論 集合と論理	2				
						Webアプリケーション開発1	2		2	コンピュータサイエンス概論	2		2								
	多言語情報理解科目 (基礎含め8単位以上)											機械翻訳実践（自然科学）				2					
	世界理解科目 (基礎含め26単位以上)								AI社会の歩き方		2			スタートアップ	2						
									企業経営と会計	2	デジタル・マーケティング	2		企業経営とファイナンス	2						
卒業プロジェクト科目 (4単位)																					
履修単位数			11		11		10		10		10		8		9		9				
		42										36									

導入科目：14単位
基礎科目：14単位
基盤リテラシー科目：70単位
多言語情報理解科目：8単位
世界理解科目：28単位
社会接続科目：0単位
展開科目：96単位
卒業プロジェクト科目：4単位
合計履修単位数：124単位

10月入学生

履修モデル①

情報系における最新の知見と人文系のものの捉え方を兼ね備え、文化・心・芸術など捉えづらいものの概念を把握するための多様な方法論を学ぶ。デジタルツールを用いてクリエイティブな表現をする能力と、表現したいものを深めるための方法論を修得し、俯瞰した立場から創造的活動に従事できる人材像を目指す（Web媒体の運営や企業の企画・広報部門のスタッフなど）。

人材像

		1年次								2年次							
		3Q		4Q		1Q		2Q		3Q		4Q		1Q		2Q	
		授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数
導入科目 (14単位)	人工知能活用実践		2														
	アカデミックリテラシー	2		経済入門	2												
	ITリテラシー	2		デジタルツールの使い方	2												
	人文社会入門	2															
基礎科目 (12単位以上)	現代社会と数学	2															
				データサイエンス概論	2	多言語ITコミュニケーション			2	数学史	2	心理学	2	社会学Ⅰ	2	現代社会とサイエンス	2
						日本文学Ⅰ	2	地域アントレプレナーシップ	2								
						文化人類学Ⅰ	2										
展開科目 (74単位以上)	基礎リテラシー科目 (基礎含め8単位以上)					ビジュアルプログラミング	2	メディアアート史	2	Webアプリケーション開発1	2	Webアプリケーション開発2	2			Webユーザーエクスペリエンス	2
	多言語情報理解科目 (基礎含め8単位以上)									機械翻訳実践（日本研究）			2	機械翻訳実践（情報）			2
	世界理解科目 (基礎含め26単位以上)	世界が変わる編集力	2	近・現代アート概論	2	AI社会の歩き方			2	経済言語史	2	芸術と文化資本Ⅰ	2	認知神経科学	2	民俗学	2
						リテラシーと応用のための物語理論	2	マンガ絵コンテから学ぶ視覚表現	2			哲学概論	2	科学哲学	2		
	社会接続科目 (10単位を上限)	ネット情報発信概論			2					デジタル画像技法論	1					キャリアデザインⅠ（自己理解）	2
										デジタル画像創作論	1						
	卒業プロジェクト科目 (4単位)																
	履修単位数		12				10		8		9		9		9		9
		40								36							

		3年次								4年次								合計単位数
		3Q		4Q		1Q		2Q		3Q		4Q		1Q		2Q		
		授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	
導入科目 (14単位)																		
基礎科目 (12単位以上)																		
展開科目 (74単位以上)	基礎リテラシー科目 (基礎含め8単位以上)	Webアプリケーション開発3	2	Webアプリケーション開発4	2	インターネット概論	2	コンピュータ概論	2			逆さ科学史	2				導入科目：14単位 基礎科目：18単位 基礎リテラシー科目：26単位 多言語情報理解科目：8単位 世界理解科目：62単位 社会接続科目：10単位 展開科目：92単位 卒業プロジェクト科目：4単位 合計履修単位数：124単位	
	多言語情報理解科目 (基礎含め8単位以上)	機械翻訳実践（異文化理解）			2													
	世界理解科目 (基礎含め26単位以上)	異文化理解	2	アニメ産業史	2	コンテンツ産業論	2	日本のゲーム産業史 日本文学Ⅱ	2 2	二次創作の歴史から見るネット文化			2	ジェンダー論	2	共創地球論		2
						人新世の人類学	2			メディア論 ゲーム制作論基礎	2 2	文化人類学Ⅱ	2	ゲーム制作論応用 日本大衆文化史	2 2			
	社会接続科目 (10単位を上限)	キャリアデザインⅡ（仕事理解）	2	キャリアデザインⅢ（就活実践）	2													
卒業プロジェクト科目 (4単位)										プロジェクト実践								4
履修単位数			7			7		6		6		6		6		7		3
		26								22								

10月入学生

履修モデル②

日本の社会や世界を形作る多様な学問分野の蓄積を適切に咀嚼し、それらを地域ビジネスというフィールドに落とし込む力を身につける。多様なものの考え方を手がかりに、デジタルツールを活用し、主体的な見解をメディアを通してステークホルダーと共有する。起業家精神を持ち、日本の地域社会に新たな価値を生むビジネスパーソンを目指す（地域おこしの担い手、地域発の起業家など）。

人材像

1年次																	2年次														
3Q				4Q				1Q				2Q				3Q				4Q				1Q				2Q			
授業科目名		単位数		授業科目名		単位数		授業科目名		単位数		授業科目名		単位数		授業科目名		単位数		授業科目名		単位数		授業科目名		単位数					
導入科目 (14単位)		人工知能活用実践				2		現代社会と数学		2																					
		アカデミックリテラシー		2		経済入門		2																							
		ITリテラシー		2		デジタルツールの使い方		2																							
		人文社会入門		2																											
基礎科目 (12単位以上)						2		多言語ITコミュニケーション				2		情報セキュリティ概論		2		心理学		2		日本文学Ⅰ		2							
								伝える論理とコミュニケーション		2		データサイエンス概論 現代社会とサイエンス		2 2																	
展開科目 (74単位以上)		基礎リテラシー科目 (基礎含め8単位以上)												統計学入門		2						ビジュアルプログラミング		2		数学の方法 メディアアート史		2 2			
		多言語情報理解科目 (基礎含め8単位以上)																2		機械翻訳実践（法学）				2							
		世界理解科目 (基礎含め26単位以上)				2		AI社会の歩き方				2		異文化理解 世界が変わる編集力		2 2		スタートアップ デジタル・マーケティング		2 2		経済言説史		2		意思決定の能力開発 公共哲学		2 2			
								企業経営と会計		2																					
		社会接続科目 (10単位を上限)		英語コミュニケーションⅠ（発音）		2						英語コミュニケーションⅡ（日常会話）		2				キャリアデザインⅠ（自己理解）		2											
卒業プロジェクト科目 (4単位)																															
履修単位数		9		9		8		8		9		9		7		9															
		34															34														

3年次																	4年次								合計単位数											
3Q				4Q				1Q				2Q				3Q				4Q				1Q				2Q								
授業科目名		単位数		授業科目名		単位数		授業科目名		単位数		授業科目名		単位数		授業科目名		単位数		授業科目名		単位数		授業科目名		単位数										
導入科目 (14単位)																																				
基礎科目 (12単位以上)		社会学Ⅰ		2		地域課題の解決とイノベーション		2				法学Ⅰ		2		文化人類学Ⅰ		2		地域アントレプレナーシップ		2														
展開科目 (74単位以上)	基礎リテラシー科目 (基礎含め8単位以上)										逆さ科学史		2										Webユーザーエクスペリエンス		2		導入科目：14単位 基礎科目：26単位 基礎リテラシー科目：18単位 多言語情報理解科目：8単位 世界理解科目：70単位 社会接続科目：10単位 展開科目：84単位 卒業プロジェクト科目：4単位 合計履修単位数：124単位									
	多言語情報理解科目 (基礎含め8単位以上)		機械翻訳実践（異文化理解）				2																													
	世界理解科目 (基礎含め26単位以上)		IT産業史		2		ミクロ経済学		2		コンテンツ産業論 マクロ経済学 人新世の人類学 リテラシーと応用のための物語理論		2 2 2 2		交渉・合意形成概論 マルクス経済学		2 2		認知神経科学		2		アニメ産業史 文化人類学Ⅱ		2 2				科学哲学 メディア論 ジェンダー論		2 2 2		哲学概論 共創地球論		2 2	
			社会接続科目 (10単位を上限)		キャリアデザインⅡ（仕事理解）		2		キャリアデザインⅢ（就活実践）		2																									
卒業プロジェクト科目 (4単位)																												4								
履修単位数		7		7		8		8		5		7		7		7		7		7		7		7		7										
		30															26																			

履修モデル③

情報、メディア、企業経営の知識を修得し、より俯瞰的な視点を持って活躍可能なITの技術力を身につける。予算管理や倫理視点も合わせた問題解決能力を身につけ、多様な視点や意見を取り入れつつ、情報技術と現実世界を結びつける能力を持つ。文理の
人材像幅広い学問を基に、個々の興味や価値観に基づいたキャリアパスを構築可能な人材像を目指す（リーダー的システム企画者やシステム管理者など）。

10月入学生

				1年次				2年次											
3Q		4Q		1Q		2Q		3Q		4Q		1Q		2Q					
授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数				
導入科目 (14単位)	人工知能活用実践			2	人文社会入門	2													
	アカデミックリテラシー	2	経済入門	2															
	ITリテラシー	2	デジタルツールの使い方	2															
	現代社会と数学	2																	
基礎科目 (12単位以上)				多言語ITコミュニケーション			2			情報倫理と法	2	伝わる論理とコミュニケーション	2						
				情報セキュリティ概論	2	地域課題の解決とイノベーションデータサイエンス概論	2		心理学	2	数学史	2							
展開科目 (74単位以上)	基礎リテラシー科目 (基礎含め8単位以上)	ビジュアルプログラミング	2	メディアアート史	2	Webアプリケーション開発1	2	Webアプリケーション開発2 Webユーザーエクスペリエンス	2	Webセキュリティ演習		2	Webアプリケーション開発3	2	JavaScriptによる自動化、効率化 コンピュータ概論 Webアプリケーション開発4	2			
			Pythonプログラミング	2				2	Javaプログラミング演習		2								
								インターネットのしくみ		2									
								インターネット概論 コンピューターサイエンス概論 プロジェクトマネジメント概論	2										
	多言語情報理解科目 (基礎含め8単位以上)				機械翻訳実践 (英語読解・作文)			2				機械翻訳実践 (情報)			2				
	世界理解科目 (基礎含め26単位以上)				IT産業史	2					交渉・合意形成概論	2	科学哲学	2	日本科学史	2			
	社会接続科目 (10単位を上限)								ネット情報発信概論		2								
	卒業プロジェクト科目 (4単位)																		
履修単位数		9		9		10		10		10		10		9		9			
				38								38							

		3年次								4年次								合計単位数
		3Q		4Q		1Q		2Q		3Q		4Q		1Q		2Q		
		授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	
導入科目 (14単位)																		
基礎科目 (12単位以上)																地域アントレプレナーシップ	2	
展開科目 (74単位以上)	基礎リテラシー科目 (基礎含め8単位以上)	Webアプリケーション開発演習			2	ゼミ (インターネットのしくみ (応用))						4	ゲームプログラミング演習			2	導入科目：14単位 基礎科目：18単位 基礎リテラシー科目：56単位 多言語情報理解科目：8単位 世界理解科目：38単位 社会接続科目：4単位 展開科目：92単位 卒業プロジェクト科目：4単位 合計履修単位数：124単位	
		クラウドコンピューティング技術	2		チームプログラミング演習			2				暗号技術とその応用			2			
					プロジェクトマネジメント応用			2										
	多言語情報理解科目 (基礎含め8単位以上)	機械翻訳実践 (異文化理解)			2													
	世界理解科目 (基礎含め26単位以上)	世界が変わる編集力	2	公共哲学 日本のゲーム産業史	2	コンテンツ産業論	2	スタートアップ	2	企業経営と会計 異文化理解	2	デジタル・マーケティング	2	マンガ産業史	2	芸術と文化資本Ⅰ		2
		社会接続科目 (10単位を上限)						対人コミュニケーション論	2									
卒業プロジェクト科目 (4単位)									プロジェクト実践								4	
履修単位数			6		6		7		7		6		4		6		6	
26										22								

履修モデル④

情報・数理の基盤的なリテラシーと社会を切り取る多様な視点を修得し、文理を横断する知性と調整能力、併せてデータの解析力を身につける。それによって科学技術と社会を架橋し、科学技術をビジネスや課題解決につなげると同時に、倫理的、法的、社会的視点から展開するサービスや商品の影響力を考慮できる人材像を目指す（企業の分析担当やIT企業のプロジェクト・マネージャーなど）。

人材像

				1年次								2年次																	
				3Q		4Q		1Q		2Q		3Q		4Q		1Q		2Q											
				授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数										
導入科目 (14単位)				人工知能活用実践		2																							
				アカデミックリテラシー	2	経済入門	2																						
				ITリテラシー	2	デジタルツールの使い方	2																						
				人文社会入門	2																								
				現代社会と数学	2																								
基礎科目 (12単位以上)						データサイエンス概論		2		多言語ITコミュニケーション		2		社会学Ⅰ		2		情報倫理と法		2		数学史		2		現代社会とサイエンス		2	
								文化人類学Ⅰ		2		法学Ⅰ 企業経営		2 2															
展開科目 (74単位以上)				ビジュアルプログラミング		2				統計学入門		2		数学の方法		2				R言語プログラミング		2				Pythonプログラミング		2	
				多言語情報理解科目 (基礎含め8単位以上)																		機械翻訳実践（情報）				2			
世界理解科目 (基礎含め26単位以上)				共創地球論		2		AI社会の歩き方		2		文化資源のデジタルアーカイブ		2		SFから考える未来ビジョン		2											
								IT産業史		2		未来社会デザイン論		2		科学哲学		2											
								コンテンツ産業論		2		科学技術と社会		2		社会学Ⅱ		2		ジェンダー論		2							
								社会接続科目 (10単位を上限)				キャリアデザインⅠ（自己理解）		2		ソーシャルイノベーション概論		2		キャリアアデザインⅡ（仕事理解）		2						キャリアアデザインⅢ（就活実践）	
卒業プロジェクト科目 (4単位)																													
履修単位数				11				11				9				8				8				8					
						42								8				32				8							

		3年次								4年次								合計単位数
		3Q		4Q		1Q		2Q		3Q		4Q		1Q		2Q		
		授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	
導入科目 (14単位)																		
基礎科目 (12単位以上)		情報セキュリティ概論	2	数学的思考とは何か	2													
展開科目 (74単位以上)	基盤リテラシー科目 (基礎含め8単位以上)	機械学習概論	2	逆さ科学史	2	データサイエンス実践Ⅰ（アンケート） ディープラーニング ¹	2 2			ディープラーニング ²	2	日常に現れる物理学	2	ディープラーニング ³ データサイエンス実践Ⅱ（モデリング ⁴ ）	2 2	データサイエンス実践Ⅲ（時系列）	2	
	多言語情報理解科目 (基礎含め8単位以上)	機械翻訳実践（自然科学）			2	機械翻訳実践（法学）			2									
	世界理解科目 (基礎含め26単位以上)	現代社会理論			2	ゼミ（情報社会の政治学）							4	メディアで検証する未来の作り方		2		
		メディア論	2	日本科学史	2		意思決定の能力開発 農業とデジタルテクノロジー	2 2	情報社会論	2	交渉・合意形成概論	2						
		社会接続科目 (10単位を上限)																
	卒業プロジェクト科目 (4単位)									プロジェクト実践								4
履修単位数			8		8		6		6		6		6		6		4	
28										22								

履修モデル⑤

人材像 多様なものの考え方を手がかりに、数理、情報技術の基本的な素養を活かして、基礎となる語学力に加えてデジタルツールを活用しながら海外とのやり取りを行い、主体的な見解を異文化のステークホルダーと共有する。組織の内外と的確にコミュニケーションを取りながら、新しい価値を生むビジネスパーソンを目指す（海外と取引する企業勤務や専門商社の国際部門など）。

10月入学生

		1年次								2年次							
		3Q		4Q		1Q		2Q		3Q		4Q		1Q		2Q	
		授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数
導入科目 (14単位)	人工知能活用実践			2	現代社会と数学			2									
	アカデミックリテラシー	2	経済入門	2													
	ITリテラシー	2	デジタルツールの使い方	2													
	人文社会入門	2															
基礎科目 (12単位以上)				企業経営	2	多言語ITコミュニケーション			2	論理とコミュニケーション	2	情報倫理と法	2	日本文学Ⅰ	2		
					文化人類学Ⅰ	2	データサイエンス概論 現代社会とサイエンス	2									
展開科目 (74単位以上)	基盤リテラシー科目 (基礎含め8単位以上)									統計学入門	2			ビジュアルプログラミング	2	数学の方法 メディアアート史	2
	多言語情報理解科目 (基礎含め8単位以上)									機械翻訳実践（英語読解・作文）		2					2
	世界理解科目 (基礎含め26単位以上)					AI社会の歩き方			2	コンテンツ産業論	2	スタートアップ	2	企業経営と会計	2	企業経営とファイナンス	2
						リテラシーと応用のための物語理論	2	意思決定の能力開発	2	世界が変わる編集力	2	デジタル・マーケティング	2		マルクス経済学	2	
	社会接続科目 (10単位を上限)	ネット情報発信概論			2							キャリアデザインⅠ（自己理解）	2	ソーシャルイノベーション概論			2
	卒業プロジェクト科目 (4単位)																
履修単位数			8		8		8		8		9		9		7		9
32										34							

		3年次								4年次								合計単位数
		3Q		4Q		1Q		2Q		3Q		4Q		1Q		2Q		
		授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	
導入科目 (14単位)																		
基礎科目 (12単位以上)		社会学Ⅰ	2	地域課題の解決と イノベーション	2			法学Ⅰ	2			地域アントレプレ ナーシップ	2					
展開科目 (74単位以上)	基盤リテラシー科目 (基礎含め8単位以上)			Pythonプログラ ミング	2			逆さ科学史	2							Webユーザーエク スぺリエンス	2	
	多言語情報理解科目 (基礎含め8単位以上)	機械翻訳実践（日本研究）			2	機械翻訳実践（情報）			2									
	世界理解科目 (基礎含め26単位以上)	戦後日本史Ⅰ	2	ミクロ経済学	2	IT産業史	2	日本文学Ⅱ	2	認知神経科学	2	アニメ産業史	2	メディア論	2	交渉・合意形成概 論	2	
				日本科学史	2	日本大衆文化史	2	経済言説史	2	情報社会論	2	公共哲学	2	ジェンダー論	2	農業とデジタルテ クノロジー	2	
	社会接続科目 (10単位を上限)	キャリアデザイン Ⅱ（仕事理解）	2											ネットワーク産業論			2	
卒業プロジェクト科目 (4単位)										プロジェクト実践								4
履修単位数			7		9		7		7		5		7		8		8	
30										28								

履修モデル⑥

人材像 予算管理や倫理視点も合わせた問題解決能力を身につけ、多様な視点や意見を取り入れつつ、現実世界の問題をデジタルクリエイティブで解決する能力を持つ。文理の幅広い学問を基に、個々の興味や価値観に基づいたキャリアパスを構築可能な人材像を目指す（Webデザイナー、Webクリエイターなど）。

10月入学生

		1年次										2年次							
		3Q		4Q		1Q		2Q		3Q		4Q		1Q		2Q			
		授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数		
導入科目 (14単位)	人工知能活用実践			2	現代社会と数学		2												
	アカデミックリテラシー	2	経済入門	2															
	ITリテラシー	2	デジタルツールの使い方	2															
	人文社会入門	2																	
基礎科目 (12単位以上)				心理学	2	多言語ITコミュニケーション		2			情報倫理と法	2	伝わる論理とコミュニケーション	2					
				データサイエンス概論	2	情報セキュリティ概論	2	地域課題の解決とイノベーション	2			数学史	2						
展開科目 (74単位以上)	基盤リテラシー科目 (基礎含め8単位以上)	ビジュアルプログラミング	2		Webアプリケーション開発1	2	Webアプリケーション開発2 Webユーザーエクスペリエンス	2	インターネット概論 Linux概論 コンピューターサイエンス概論	2 2 2	情報処理概論 Pythonプログラミング	2 2	プロジェクトマネジメント概論	2	コンピュータ概論	2			
					機械翻訳実践（英語読解・作文）			2				機械翻訳実践（情報）			2				
	多言語情報理解科目 (基礎含め8単位以上)				世界が変わる編集力			2	日本のゲーム産業史	2	IT産業史	2	交渉・合意形成概論	2	科学哲学	2	日本科学史 マンガ絵コンテから学ぶ視覚表現	2	
	世界理解科目 (基礎含め26単位以上)																		
		社会接続科目 (10単位を上限)	デジタル画像技法論Ⅰ デジタル画像技法論Ⅱ	1 1	デジタル画像技法論Ⅲ	1				ネット情報発信概論 デジタル画像創作論Ⅰ		2 1	デジタル画像創作論Ⅱ	1			デジタル画像創作論Ⅲ	1	
	卒業プロジェクト科目 (4単位)																		
履修単位数			11		10		10		10		10		10		9		8		
		41								37									

		3年次								4年次								合計単位数								
		3Q		4Q		1Q		2Q		3Q		4Q		1Q		2Q										
		授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数									
導入科目 (14単位)																										
基礎科目 (12単位以上)											地域アントレプレナーシップ	2														
展開科目 (74単位以上)	基盤リテラシー科目 (基礎含め8単位以上)	クラウドコンピューティング技術	2	JavaScriptによる自動化、効率化	2			画像処理論	2																	
	多言語情報理解科目 (基礎含め8単位以上)	機械翻訳実践（異文化理解）			2																					
	世界理解科目 (基礎含め26単位以上)	二次創作の歴史から見るネット文化				2	マンガ産業史	2	デジタル・マーケティング	2	企業経営と会計	2	マルクス経済学	2	異文化理解	2	文化人類学Ⅱ	2								
		コンテンツ産業論	2	スタートアップ	2	リテラシーと応用のための物語理論	2	近・現代アート概論	2	企業経営と会計	2	マルクス経済学	2	異文化理解 情報社会論	2	芸術と文化資本Ⅰ	2									
		公共哲学	2			科学技術と社会	2																			
	社会接続科目 (10単位を上限)								デジタル画像活用Ⅰ										1	デジタル画像活用Ⅱ	1					
卒業プロジェクト科目 (4単位)																			プロジェクト実践							
履修単位数			8		6		6		6		4		6		5		5									
26										20																

数理系科目を中心に学習し、社会を動かしているロジックと技術を深く理解する。同時にデータサイエンス、経済・経営の基礎知識、また数理科学に関連する哲学を幅広く履修することで、数理系のコアスキルをそれらの領域に敷衍させ、これからの知能情報社会を主体的に創造していく発想を持つ。論理を形にし、社会に貢献してゆくことができる人材像を目指す（プロダクトの開発者や金融機関勤務、コンサルタントなど）。

10月入学生

		1年次										2年次									
		3Q		4Q		1Q		2Q		3Q		4Q		1Q		2Q					
		授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数				
導入科目 (14単位)	人工知能活用実践			2	経済入門	2	デジタルツールの 使い方	2													
	アカデミックリテラシー	2	2																		
	人文社会入門	2	2																		
	ITリテラシー	2																			
	現代社会と数学	2																			
基礎科目 (12単位以上)				データサイエンス 概論	2	多言語ITコミュニケーション			2	伝わる論理とコ ミュニケーション	2					心理学	2				
						数学史	2	数学的思考とは何 か 企業経営	2												
								2													
展開科目 (74単位以上)	基盤リテラシー科目 (基礎含め8単位以上)	線形代数1	2	解析学1 Pythonプログラ ミング	2	線形代数2	2	解析学2	2	解析学3	2	数理構造の発見と 活用 日常に現れる物理 学	2	距離空間	2	記号論理	2				
					初等代数概論	2	グラフ理論		2		集合と論理 機械学習概論		2		複素解析			2	逆さ科学史	2	
					統計学入門	2							力学 ディープラーニン グ1					2			
	多言語情報理解科目 (基礎含め8単位以上)							機械翻訳実践（自然科学）			2										
	世界理解科目 (基礎含め26単位以上)										デジタル・マーケ ティング 哲学概論	2	AI社会の歩き方				2				
												2			スタートアップ	2					
社会接続科目 (10単位を上限)																					
卒業プロジェクト科目 (4単位)																					
履修単位数			11		11		9		9		9		9		9		9				
		40								36											

		3年次								4年次								合計単位数
		3Q		4Q		1Q		2Q		3Q		4Q		1Q		2Q		
		授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	
導入科目 (14単位)																		
基礎科目 (12単位以上)																		
展開科目 (74単位以上)	基盤リテラシー科目 (基礎含め8単位以上)	群論	2	位相空間	2	圏論	2	多様体	2	ビッグデータ分析 概論	2			データサイエンス 実践Ⅲ（時系列）	2			
		電磁気学	2	数理統計	2	暗号技術とその応 用	2	熱統計力学	2									
		ディープラーニン グ2	2	量子力学	2	オートマトンと形 式言語理論	2	論理回路概論	2									
	多言語情報理解科目 (基礎含め8単位以上)	機械翻訳実践（異文化理解）			2						機械翻訳実践（情報）			2				
	世界理解科目 (基礎含め26単位以上)				IT産業史	2	ミクロ経済学	2	科学哲学	2	交渉・合意形成概 論 日本科学史	2	統計学を哲学する	2				
	社会接続科目 (10単位を上限)																	
卒業プロジェクト科目 (4単位)										プロジェクト実践								4
履修単位数			7	30			8		8		5		5		6		2	
		30								18								

履修モデル⑧

データサイエンス領域を重点的に学び、それを支える数理学やコンピュータサイエンスを履修する。より数理における専門性を深めるとともにビジネス、経営の視点も重点的に養い、起業者の発想を持った新しい価値を生み出すデータサイエンティストを育成する。単なるデータ分析者に留まらず、分析を基に新たなビジネスや価値観を生み出すことができる人材像を目指す（データサイエンティスト、AIビジネス起業家など）。

人材像

10月入学生

				1年次				2年次												
				3Q		4Q		1Q		2Q		3Q		4Q		1Q		2Q		
				授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	
導入科目 (14単位)				人工知能活用実践		2	人文社会入門	2												
				アカデミックリテラシー	2	経済入門	2													
				ITリテラシー	2	デジタルツールの使い方	2													
				現代社会と数学	2															
基礎科目 (12単位以上)				データサイエンス概論	2	多言語ITコミュニケーション			2			心理学	2				地域課題の解決とイノベーション	2		
						伝わる論理とコミュニケーション	2	企業経営 数学的思考とは何か	2											
									2											
展開科目 (74単位以上)	基礎リテラシー科目 (基礎含め8単位以上)	線形代数1	2	解析学1 Pythonプログラミング	2	線形代数2	2	解析学2	2	AIアルゴリズム実践		2	統計学展望					2		
				2	統計学入門	2	グラフ理論	2	機械学習概論	2	R言語プログラミング	2	集合と論理	2						
								計算機実験で学ぶ確率とモンテカルロ法	2			ビッグデータ分析概論	2							
								Webアプリケーション開発1	2			コンピュータサイエンス概論 Webアプリケーション開発2	2							
	多言語情報理解科目 (基礎含め8単位以上)								機械翻訳実践（自然科学）		2									
	世界理解科目 (基礎含め26単位以上)								企業経営と会計	2	企業経営とファイナンス	2				農業とデジタルテクノロジー スタートアップ	2	2		
社会接続科目 (10単位を上限)																				
卒業プロジェクト科目 (4単位)																				
履修単位数					9		11		9		9		10		8		9		7	
				38						34										

		3年次								4年次								合計単位数
		3Q		4Q		1Q		2Q		3Q		4Q		1Q		2Q		
		授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	
導入科目 (14単位)																		
基礎科目 (12単位以上)																		
展開科目 (74単位以上)	基礎リテラシー科目 (基礎含め8単位以上)	マーケティング×データサイエンス			2	ゼミ（AIデータサイエンス価値創造ゼミⅠ）						4	データサイエンス 実践Ⅱ（モデリン グ）	2	データサイエンス 実践Ⅲ（時系列）	2	導入科目：14単位 基礎科目：14単位 基礎リテラシー科目：70単位 多言語情報理解科目：8単位 世界理解科目：28単位 社会接続科目：0単位 展開科目：96単位 卒業プロジェクト科目：4単位 合計履修単位数：124単位	
		データサイエンス 実践Ⅰ（アンケー ト）	2	数理統計	2	Wolfram言語で学ぶ科学計算		2	統計数理の方法			2	2					
		ビッグデータ分析 実践	2	日常に現れる物理 学	2	自然言語処理の方法		2	ディープラーニン グ3	2								
		ディープラーニン グ1	2		ディープラーニン グ2	2	クラウドコン ピューティング技 術	2										
	多言語情報理解科目 (基礎含め8単位以上)							機械翻訳実践（異文化理解）			2	機械翻訳実践（情報）			2			
	世界理解科目 (基礎含め26単位以上)	IT産業史	2	ミクロ経済学	2	AI社会の歩き方			2	スタートアップ実践			2	統計学を哲学する	2			
						デジタル・マーケ ティング			2									
		社会接続科目 (10単位を上限)																
卒業プロジェクト科目 (4単位)										プロジェクト実践								4
履修単位数			9		7		8		6		7		5		6		4	
		30								22								

編入学生

履修モデル①

人材像

短期大学卒業後、地方で働きながら地域の町おこしに取り組むため、経済・経営的な観点を身につけるとともに、社会や世界を形作る多様な学問分野を学び、俯瞰した視点に基づき地域の課題を分析し、デジタルツールを使って自らの活動を展開することを目指す人材像。

		3年次								4年次								履修単位数	
		1Q		2Q		3Q		4Q		1Q		2Q		3Q		4Q			
		授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数		
導入科目 ・アカデミックリテラシー ・人工知能活用実践		人工知能活用実践		2	ITリテラシー	2											8		
		アカデミックリテラシー	2	デジタルツールの使い方	2														
基礎科目 ・多言語ITコミュニケーション		多言語ITコミュニケーション			2	伝わる論理とコミュニケーション	2	企業経営	2	文化人類学Ⅰ	2						12		
				現代社会とサイエンス心理学	2														
展開科目	基盤リテラシー科目													統計学入門	2	逆さ科学史	2	4	
	多言語情報理解科目									機械翻訳実践（法学）		2	機械翻訳実践（異文化）			2	4		
	世界理解科目	AI社会の歩き方			2	コンテンツ産業論	2	意思決定の能力開発	2	IT産業史	2	アニメ産業史	2	科学哲学	2	交渉・合意形成概論	2	38	
		世界が変わる編集力	2		異文化理解	2	デジタル・マーケティング	2	ジェンダー論	2	文化人類学Ⅱ	2	メディア論	2	公共哲学	2			
					マクロ経済	2	ミクロ経済学	2		2	近・現代アート概論	2	認知神経科学	2	共創地球論	2			
社会接続科目	キャリアデザインⅡ（仕事理解）	2	キャリアデザインⅢ（就活実践）	2		対人コミュニケーション論	2										6		
卒業プロジェクト科目										プロジェクト実践								4	4
履修単位数		9		11		10		10		8		8		10		10		76	
		40								36									

編入学生

履修モデル②
人材像 専修学校卒業後、IT企業への転職を意識して、IT技術を基礎から学び技術力を身につけるとともに、幅広い学びにより多様な視点や意見を取り入れ、情報技術と現実世界を結びつけながら活躍することを目指す人材像。

		3年次								4年次								履修単位数	
		1Q		2Q		3Q		4Q		1Q		2Q		3Q		4Q			
		授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数		
導入科目 ・アカデミックリテラシー ・人工知能活用実践		人工知能活用実践		2													14		
		アカデミックリテラシー	2	経済入門														2	
		ITリテラシー	2	デジタルツールの使い方														2	
		人文社会入門	2																
		現代社会と数学	2																
基礎科目 ・多言語ITコミュニケーション				心理学	2	多言語ITコミュニケーション		2			情報倫理と法	2	伝わる論理とコミュニケーション	2			12		
				情報セキュリティ概論	2	データサイエンス概論	2												
展開科目	基盤リテラシー科目	ビジュアルプログラミング	2	メディアアート史	2	Webアプリケーション開発1	2	Webアプリケーション開発2 Webユーザーエクスペリエンス	2	Webアプリケーション開発3 インターネット概論 Linux概論	2 2 2	Webアプリケーション開発4	2	機械学習概論 コンピューターサイエンス概論	2 2	JavaScriptによる自動化、効率化 コンピュータ概論	2 2	28	
		多言語情報理解科目				機械翻訳実践（英語読解・作文）		2	機械翻訳実践（情報）		2					4			
	世界理解科目					世界が変わる編集力 IT産業史	2 2					交渉・合意形成概論	2	科学技術と社会	2	スタートアップ	2	10	
		社会接続科目					ネット情報発信概論		2										2
	卒業プロジェクト科目										プロジェクト実践								4
履修単位数			11		11		11		9		8		8		9		7	74	
42									32										

編入学生

履修モデル③
人材像 専修学校卒業後、一般企業で働きながらクリエイティブな分野でのキャリアのステップアップを意識し、デジタル産業や人文領域での学びを深めつつ、基礎的なIT技術も身につけ、多様な視点をもって幅広く活躍することを目指す人材像。

		3年次								4年次								履修単位数	
		1Q		2Q		3Q		4Q		1Q		2Q		3Q		4Q			
		授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数		
導入科目 ・アカデミックリテラシー ・人工知能活用実践		人工知能活用実践		2	デジタルツールの 使い方													10	
		アカデミックリテラシー	2																
		人文社会入門	2																
		現代社会と数学	2																
基礎科目 ・多言語ITコミュニケーション		多言語ITコミュニケーション			2	文化人類学Ⅰ	2	心理学	2								10		
		日本文学Ⅰ	2	データサイエンス 概論	2														
展開科目	基盤リテラシー科目					ビジュアルプログラミング Webアプリケーション開発1	2 2	Webアプリケーション開発2	2	Webアプリケーション開発3	2	Webアプリケーション開発4	2			Webユーザーエクスペリエンス メディアアート史	2 2	14	
	多言語情報理解科目					機械翻訳実践（日本研究）		2									2		
	世界理解科目	世界が変わる編集力	2	近・現代アート概論 日本文学Ⅱ	2 2	リテラシーと応用のための物語理論	2	マンガ絵コンテから学ぶ視覚表現 哲学概論	2 2	AI社会の歩き方		2	民俗学 日本大衆文化史 メディア論 ジェンダー論	2 2 2 2	文化人類学Ⅱ 日本のゲーム産業史	2 2			
										マンガ産業史		2					芸術と文化資本Ⅰ		2
	社会接続科目					デジタル画像技法論Ⅰ	1			クリエイティブ現場論		2					4		
										デジタル画像創作論Ⅰ	1								
	卒業プロジェクト科目										プロジェクト実践								4
履修単位数			12		10		10		9		8		7		9		9	74	
		41								33									

編入学生

履修モデル④

人材像 4年生大学卒業後、データ分析を基に新たなビジネスや価値観を生み出すため、データサイエンスに重点をおきつつも経済・経営分野を学び、数理における専門性を身につけるとともに、ビジネス、経営の視点も身に付けて活躍することを目指す人材像。

		3年次								4年次								履修単位数	
		1Q		2Q		3Q		4Q		1Q		2Q		3Q		4Q			
		授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数		
導入科目 ・アカデミックリテラシー ・人工知能活用実践		人工知能活用実践		2														4	
		アカデミックリテラシー	2																
基礎科目 ・多言語ITコミュニケーション				企業経営		2		多言語ITコミュニケーション		2								4	
展開科目	基盤リテラシー科目	集合と論理	2	アプリケーション開発1	2	距離空間	2	論理回路概論	2	確率とモンテカルロシミュレーション	2	数理統計	2	ディープラーニング3	2			40	
		機械学習概論	2			データサイエンス実践Ⅰ（アンケート）	2	Webアプリケーション開発4	2	データサイエンス実践Ⅱ（モデリング）	2	データサイエンス実践Ⅲ（時系列）	2	オートマトンと形式言語理論	2				
		コンピューターサイエンス概論	2			ディープラーニング1	2			ディープラーニング2	2			クラウドコンピューティング技術	2				
		Webアプリケーション開発1	2			暗号技術とその応用	2												
					Webアプリケーション開発3	2													
		多言語情報理解科目									機械翻訳実践（情報）		2	機械翻訳実践（自然科学）			2	4	
	世界理解科目			ミクロ経済学	2			交渉・合意形成概論	2			アニメ産業史	2	統計学を哲学する	2	農業とデジタルテクノロジー 日本のゲーム産業史 スタートアップ	2 2 2	18	
	社会接続科目																	0	
卒業プロジェクト科目										プロジェクト実践								4	4
履修単位数				11		9		11		9		8		8		10		8	74
		40								34									

資料37 単位認定試験システム機能概要

タイトル	機能概要
事前挙動チェック環境	本人認証含めた試験環境が正しく機能し受験が問題なく行えることを、試験前に学生が確認できる機能を設ける。
受験要件の認識齟齬防止	学生が受験科目の要件を満たしているかシステム上で確認でき、受験可能な科目についても受験開始前に注意事項を明示的に確認して同意のもと受験できる。
試験実施	学生は科目ごとに用意された問題から出題される問題に解答できる。試験時間も科目ごとに設定でき、学生は残りの試験時間を確認できる。試験時間を過ぎると強制的に試験終了となり、その時点の解答が自動的に提出される。
受験本人認証と不正検知	学生本人が試験を受けていることをWebカメラを用いて判定・記録し、また試験中の挙動も一定範囲記録することで、試験後に教職員が不正有無の確認と学生指導を行う。また学生がいつでも本人認証機能が正しく動作することを確認できる機能を設け、本人認証の精度を保つことができる。
試験トラブル対応	試験中のトラブル発生時に遅滞なくかつ不正行為に見誤られずに試験官とコミュニケーションをとれるよう、試験システム上でテキストチャットにより試験官にトラブル連絡・やり取りができる。

資料38 学修成績管理システム機能概要

タイトル	機能概要
学修・学校行事参加データ 保持閲覧	本学の学修環境であるZENStudy、ビデオ会議システム、Webクラス管理サービス、単位認定試験システム等のシステム上にある本学学生の学修データ、また学生指導に関するイベントの参加情報を集約保持し、教職員が学生支援に必要な範囲で確認閲覧できる。
データに基づく学生向け通知	学修状況や学生支援イベント参加状況に応じたアラートの対象学生への通知ができる。
データに基づく教職員向け通知	担当学生の学修状況や学生支援イベント参加状況に応じたアドバイザーへのアラート通知ができる。

資料39 正職員（教員）就業規則

第11章 退職・解雇

（定年）

第79条 教員の定年は満70歳とし、その定年に達した日以後における最初の3月31日に退職するものとする。

- 2 教育研究又は法人運営における特別な事情があると理事長が認める場合は、前項に規定する定年によらないことができる。

資料40 法人教職員の定年の特例に関する規程

(趣旨)

第1条 この規程は、学校法人日本財団ドワンゴ学園正職員（教員）就業規則第79条第2項および学校法人日本財団ドワンゴ学園正職員（事務）就業規則(以下「就業規則」という。)第80条第2項の規定に基づき、職員の定年の特例について必要な事項を定めるものとする。

(定年の特例)

第2条 理事長は、次の各号のいずれかに該当する場合は、その対象となる職員の定年については、正職員（教員）就業規則79条第2項もしくは正職員（事務）就業規則第80条第2項に規定する定年によらず、当該各号に掲げる年齢とすることができる。

- ① 学部、大学院研究科等の新設又は再編に伴い、その設置認可申請等に際し教員審査の対象となる教員を教授として採用する場合、完成年度（学部、大学院研究科等の開設後、学年進行が終了する年度をいう。以下同じ。）の末日におけるその者の年齢
- ② 学部、大学院研究科等の新設又は再編に伴い、法人に在職している教員をその設置認可申請等に際し教員審査の対象となる教員とする場合、完成年度の末日におけるその者の年齢
- ③ その他教育研究又は法人運営における特別な事情があると理事長が認める場合、理事長が認める年齢

- 2 前項第2号に該当し、同項の規定により定年の特例措置を講ずる場合は、定年の変更に関する労働契約を締結しなければならない。

(その他)

第3条 この規程の実施について必要な事項は、理事長が別に定める。